

**「名寄市総合計画(第3次)」策定に向けた
アンケート調査報告書**

《一般市民向け》

**令和8年1月
名寄市**

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の概要.....	1
2. 調査票の回収結果.....	1
3. 集計結果の表し方.....	1
II アンケート集計結果	2
1. 回答者の属性.....	2
2. 名寄市への愛着度と定住意向などについて.....	4
3. 結婚・子育てについて（配偶者のいる方）.....	28
4. 結婚・子育てについて（現在独身の方）.....	31
5. 市が進める施策の満足度と今後の重要度について.....	36
6. 市が進めるべき施策について.....	71

I 調査の概要

1. 調査の概要

本調査は「名寄市総合計画(第3次)」を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	名寄市に在住する全市民(約24,200人)
調査期間	令和7年11月
調査方法	広報別冊(URL/二次元バーコード掲載)の配布(12,156世帯及び公共施設等)/Webによる回答

2. 調査票の回収結果

年齢	回答数(人)	割合(%)
全 体	767	100
20歳未満	24	3.1
20代	64	8.3
30代	126	16.4
40代	164	21.4
50代	179	23.3
60代	123	16.0
70代	75	9.8
80代	11	1.4
90歳以上	1	0.1

3. 集計結果の表し方

調査結果の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。

百分率による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出し、本文及び図の数字に関しては、すべて小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

クロス集計(男女別の集計など)の表については、分析軸の項目の後に(n)として、各項目の回答者数を表記しています。

クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の合計が一致しない場合があります。

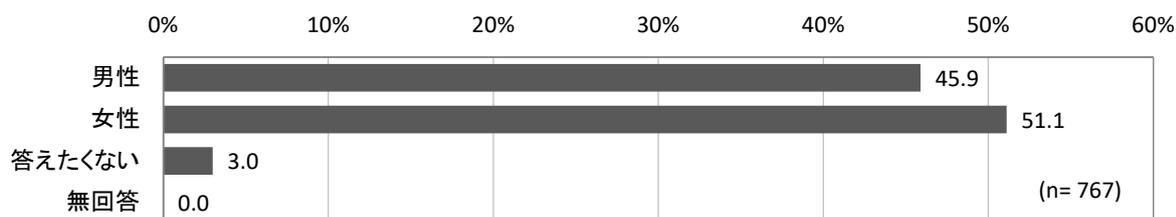
II アンケート集計結果

1. 回答者の属性

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目にあてはまる番号を選んでください。
(それぞれ1つに○印)

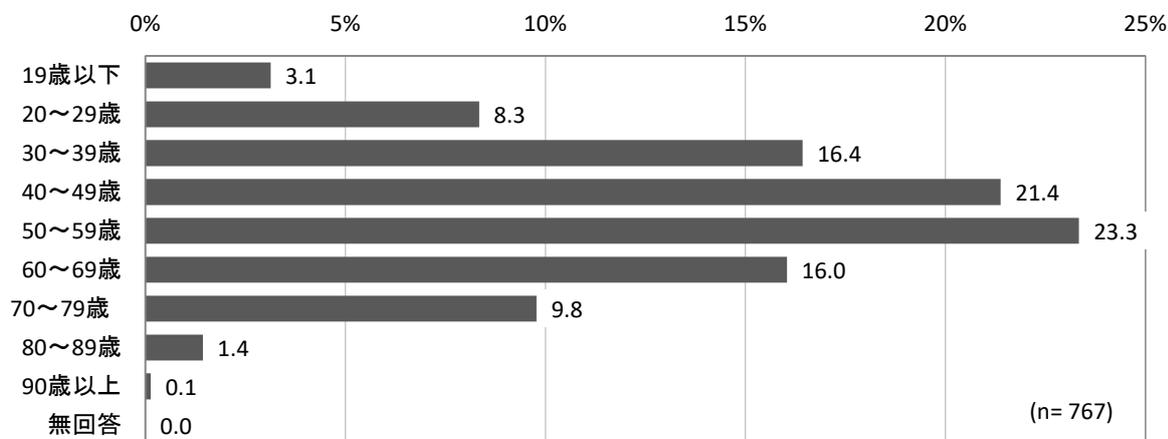
(1)性別

性別は、「男性」が45.9%、「女性」が51.1%となっています。



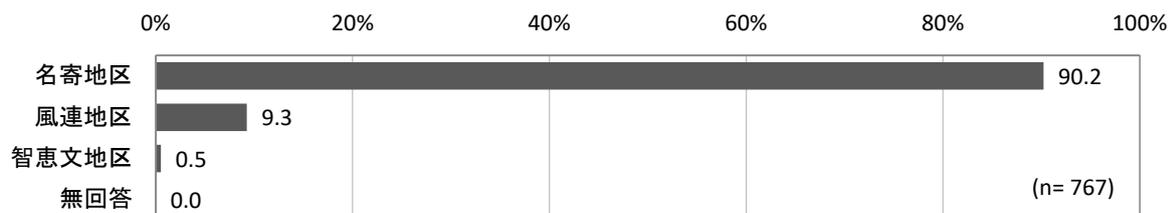
(2)年齢

年齢は、「50～59歳」が23.3%で最も多く、次いで「40～49歳」(21.4%)、「30～39歳」(16.4%)、「60～69歳」(16.0%)が続いています。



(3)居住地区

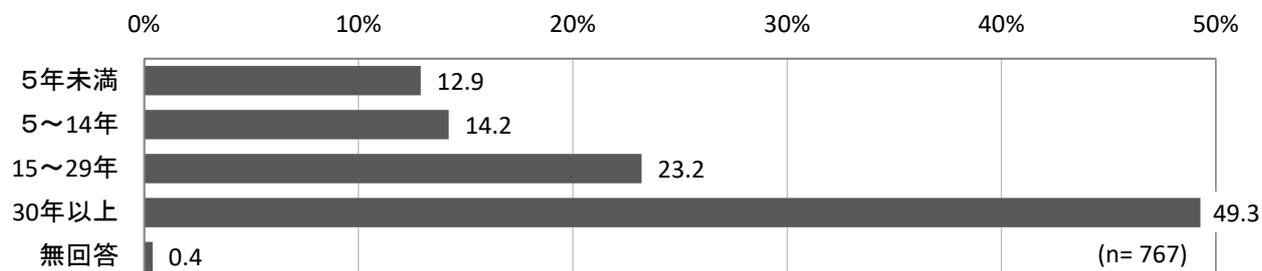
居住地区は、「名寄地区」が90.2%、「風連地区」が9.3%、「智恵文地区」が0.5%となっています。



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、以降のクロス集計ではコメントの記載を省略しています。

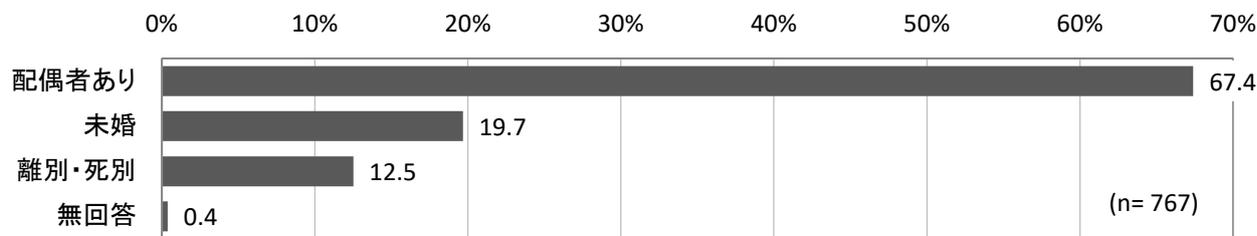
(4) 居住年数

居住年数は、「30年以上」が49.3%で最も多く、次いで「15～29年」(23.2%)、「5～14年」(14.2%)、「5年未満」(12.9%)となっています。



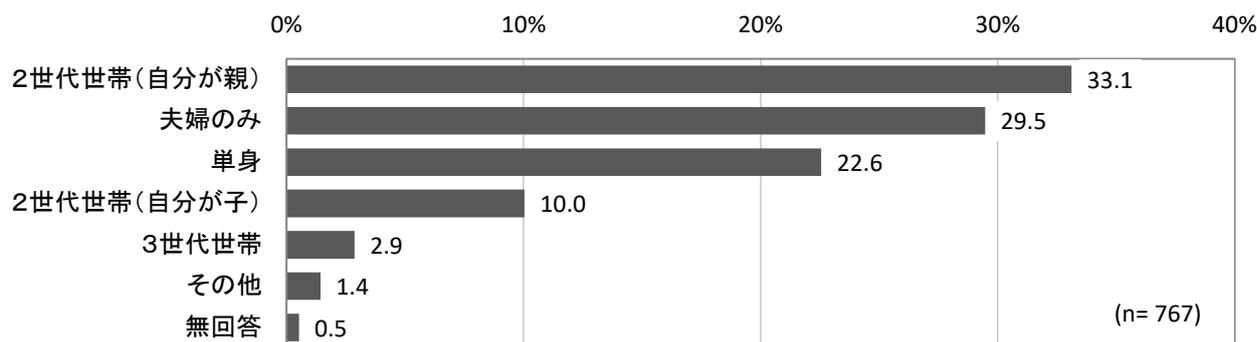
(5) 配偶者の有無

配偶者の有無は、「配偶者あり」が67.4%、「未婚」が19.7%、「離別・死別」が12.5%となっています。



(6) 世帯構成

世帯構成は、「2世代世帯(自分が親)」が33.1%で最も多く、次いで「夫婦のみ」(29.5%)、「単身」(22.6%)が続いています。

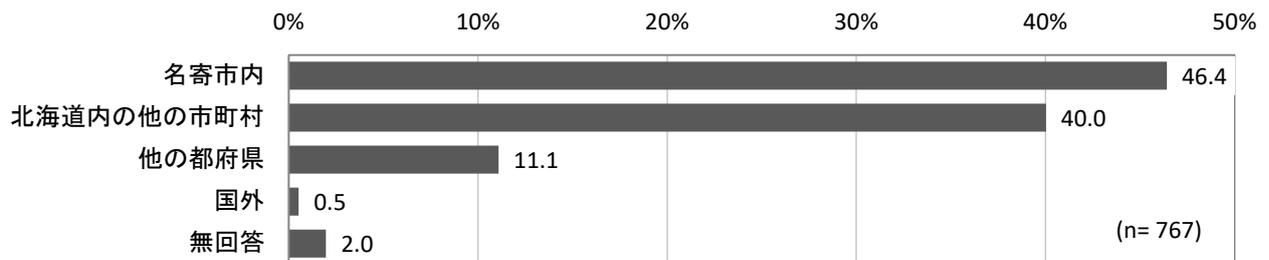


2. 名寄市への愛着度と定住意向などについて

(1) 生まれた場所

生まれた場所は、「名寄市内」が46.4%で最も多く、次いで「北海道内の市町村」(40.0%)、「他の都府県」(11.1%)、「国外」(0.5%)となっています。

問2 あなたが生まれた場所(病院や出産のための里帰り先ではなく、当時、親が普段住んでいた所)を教えてください。(1つに○印)

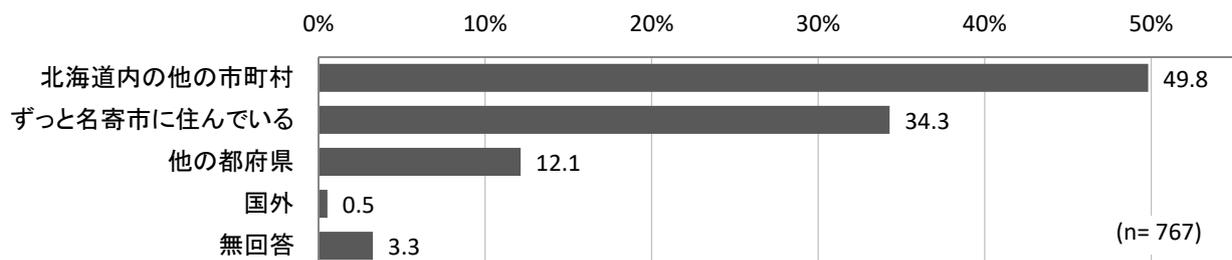


《北海道内の他の市町村》	《他の都府県》
旭川市41人／札幌市33人／士別市27人 下川町15人／美深町 8人／稚内市 8人 帯広市 7人 など	愛知県 8人／青森県 7人／宮城県 6人 東京都 6人／岩手県 4人／福島県 4人 神奈川県 4人／鹿児島県 4人 など

(2) 名寄市に移住する前に住んでいた場所

以前に住んでいた場所は、「北海道内の他の市町村」が49.8%で最も多く、次いで「ずっと名寄市に住んでいる」(34.3%)、「他の都府県」(12.1%)、「国外」(0.5%)となっています。

問3 あなたが名寄市に移住する前に住んでいた場所を教えてください。(1つに○印)



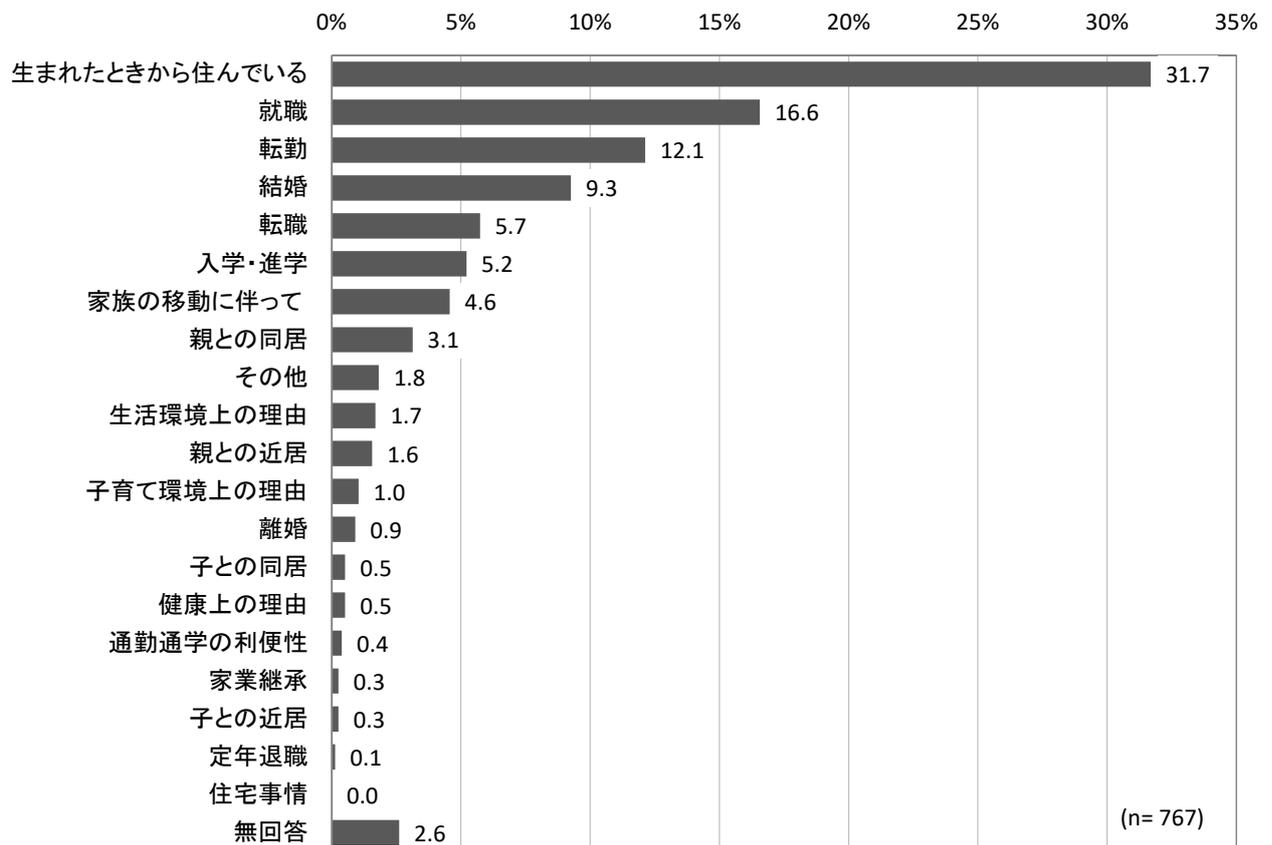
《北海道内の他の市町村》	《他の都府県》
札幌市74人／旭川市68人／士別市29人 下川町17人／美深町15人／帯広市10人 北見市 8人／稚内市 8人など	東京都12人／神奈川県10人／静岡県 7人 愛知県 6人／青森県 5人／宮城県 5人 福島県 5人／埼玉県 5人 など

(3)名寄市に住むようになったきっかけ

① 全体の集計結果

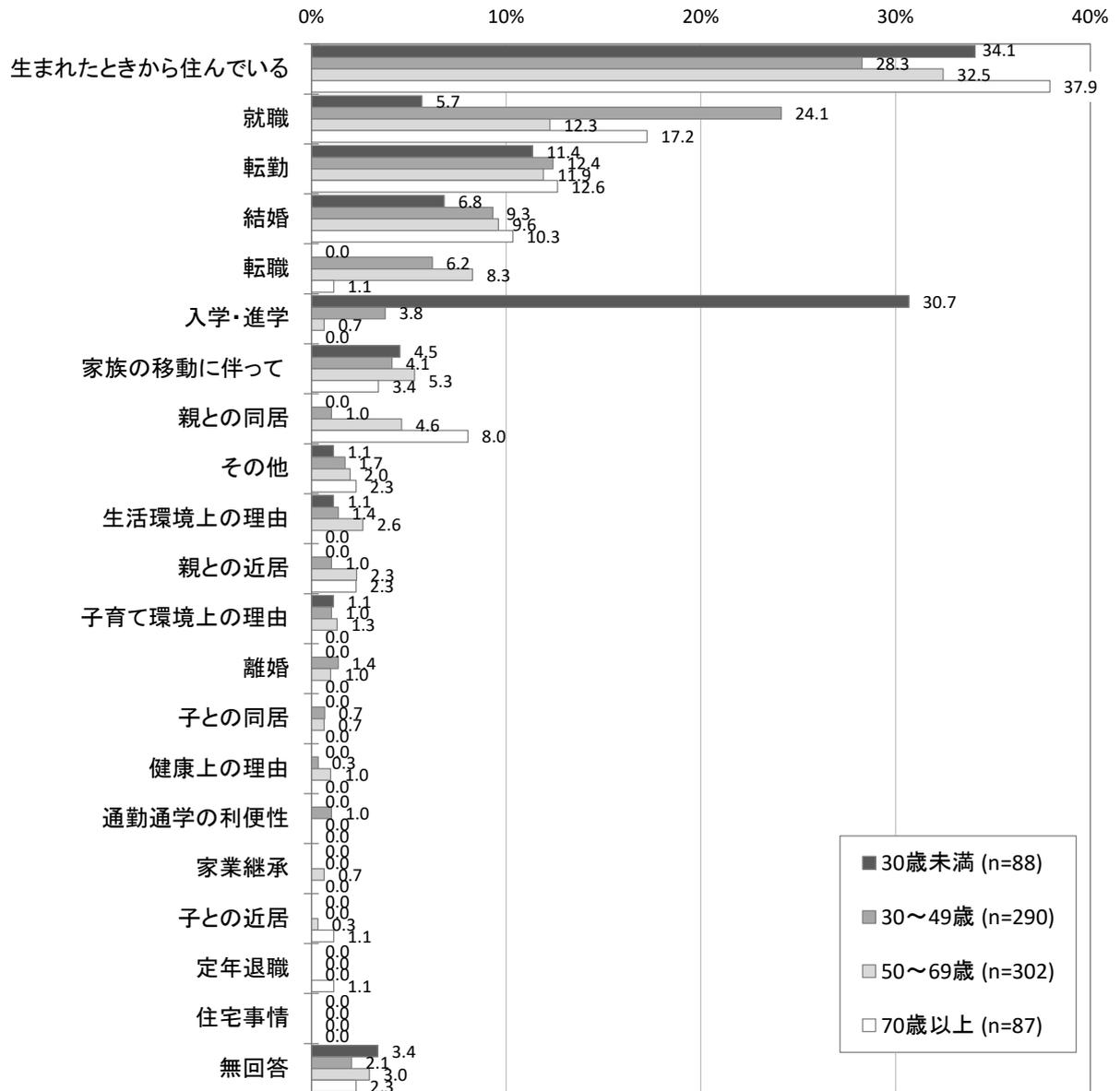
名寄市に住むようになったきっかけは、「生まれたときから住んでいる」が31.7%で最も多く、次いで「就職」(16.6%)、「転勤」(12.1%)が続いています。

問4 あなたが、名寄市に住むようになったきっかけは何ですか。あてはまるきっかけのうち最も優先順位が高いものを1つ選んでください。(1つに○印)



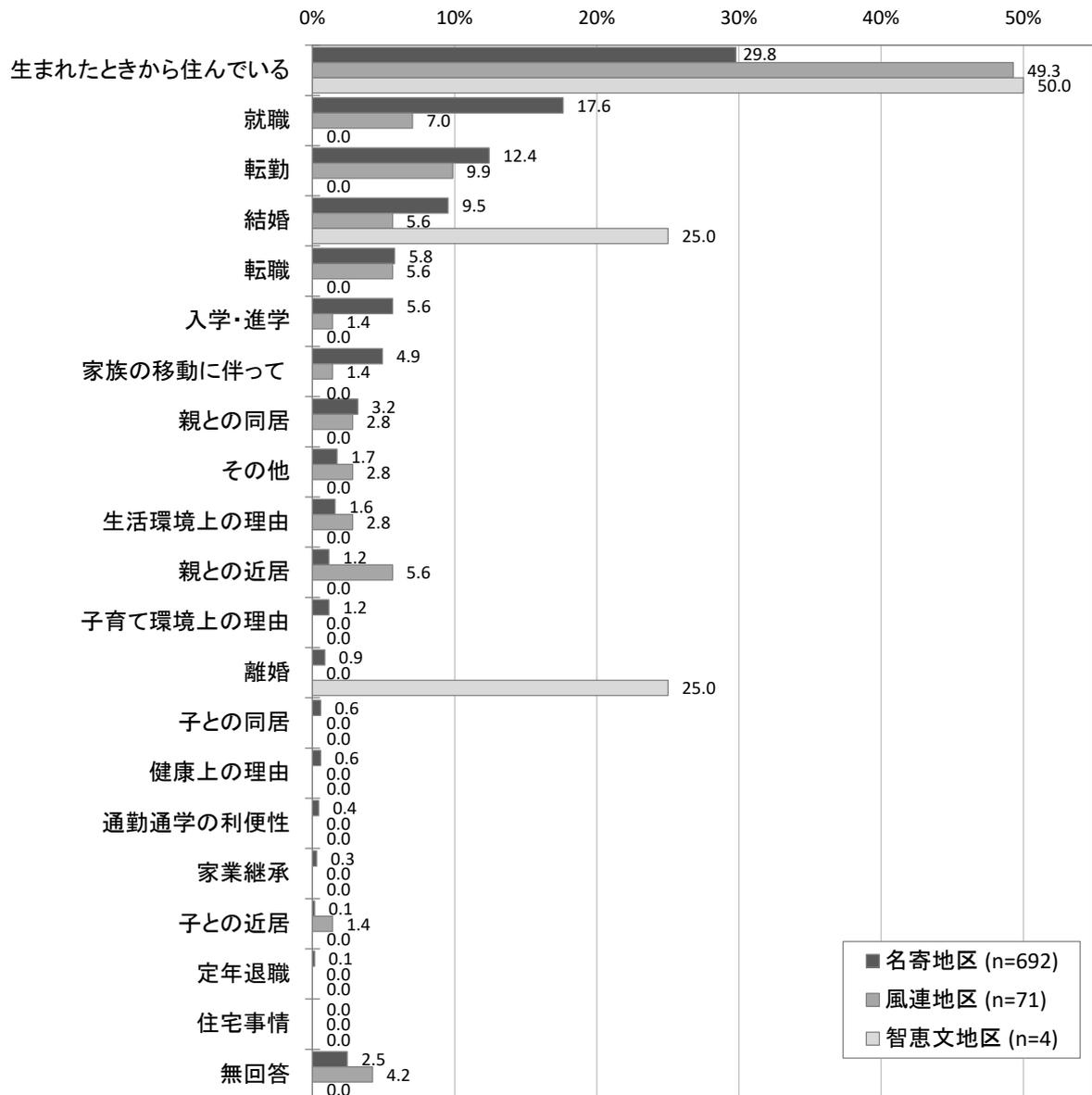
② 年齢階級別の集計結果

年齢階級別にみると、いずれの年齢も「生まれたときから住んでいる」が最も多く、30歳代は「入学・進学」(30.7%)、30～49歳は「就職」(24.1%)も多くなっています。



③ 居住地区別の集計結果

居住地区別にみると、名寄地区は「生まれたときから住んでいる」(29.8%)、「就職」(17.6%)が多くなっています。風連地区は「生まれたときから住んでいる」が49.3%と半数を占めています。



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

(4)名寄市に対する愛着度

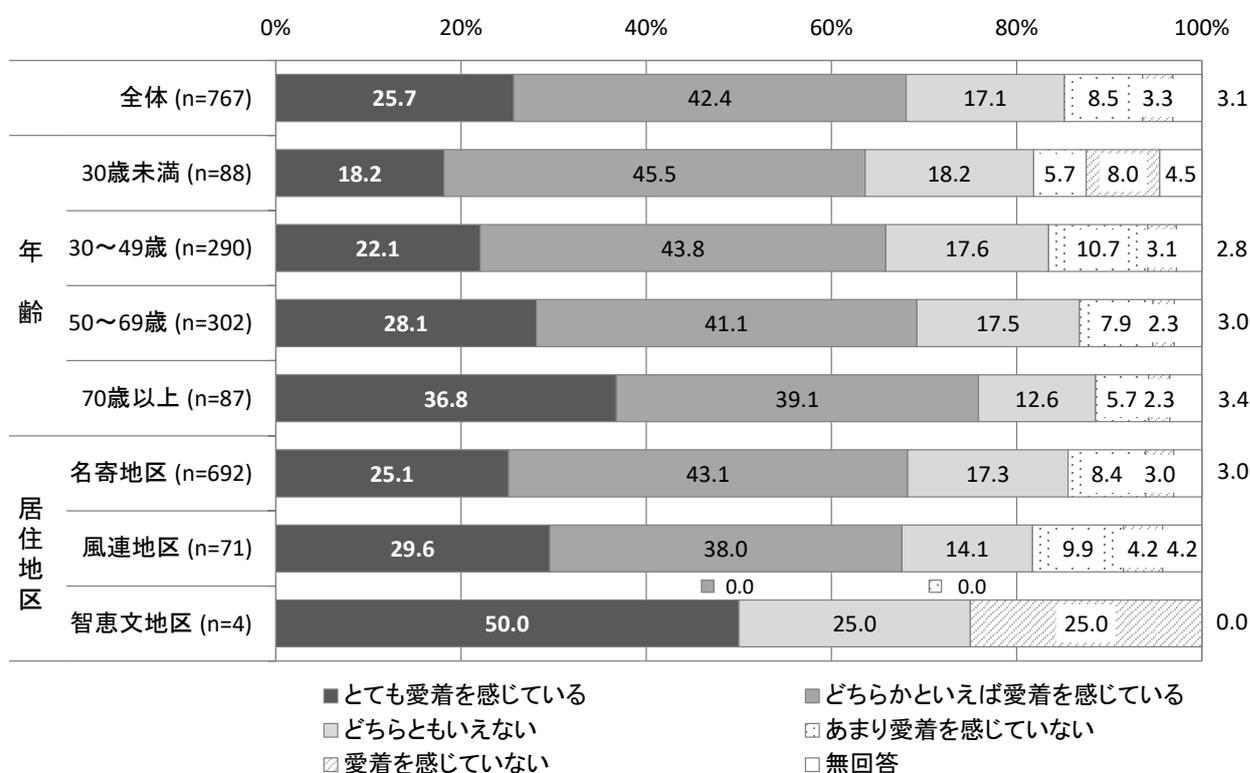
名寄市への愛着度は、「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」の合計が68.1%となっており、多くの方が市に愛着を持っていることがわかります。一方で、「あまり愛着を感じていない」「愛着を感じていない」の合計は11.8%となっています。

年齢階級別にみると、「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」の合計はいずれの年齢も60%を超え、また年齢が高くなるにつれて多くなり、70歳以上では75.9%となっています。

居住地区別にみると、「とても愛着を感じている」「どちらかといえば愛着を感じている」の合計は名寄地区、風連地区ともに約70%となっています。

問5 あなたは、名寄市に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

(1つに○印)



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

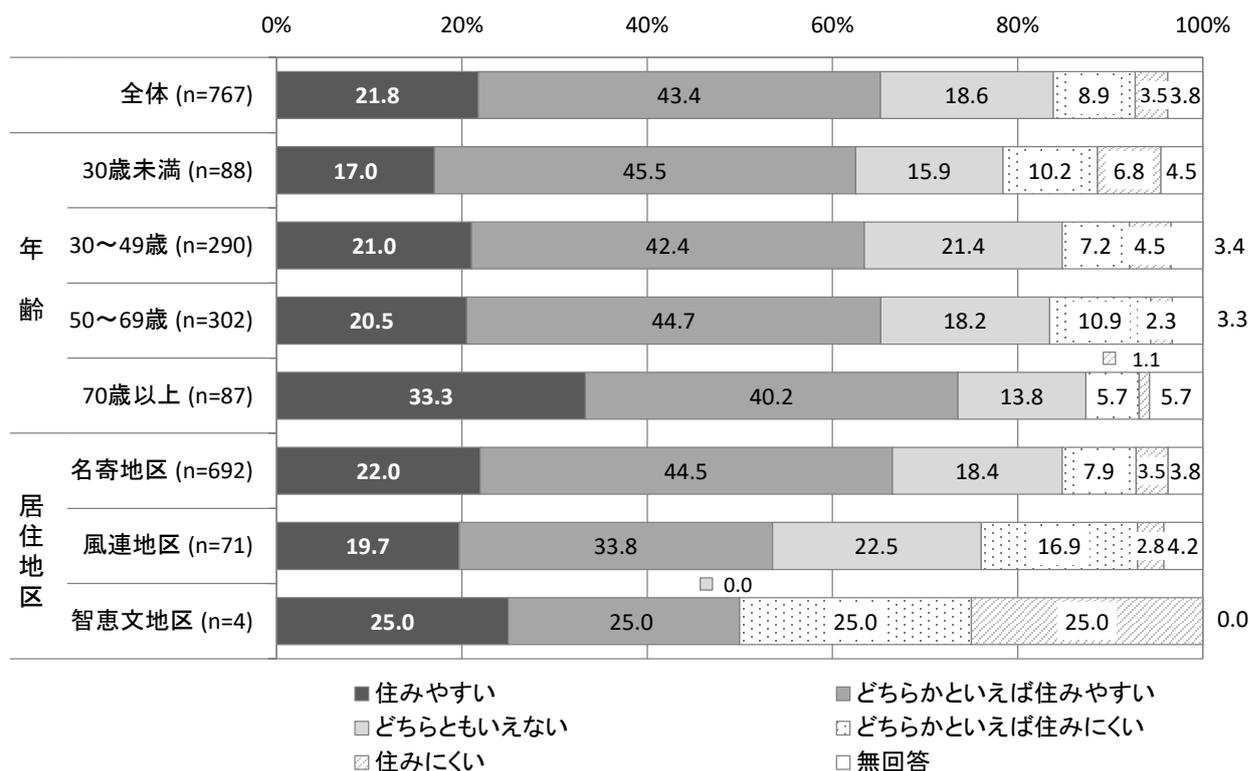
(5)名寄市の住みやすさ

名寄市の住みやすさは、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が65.2%となっています。一方で、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」の合計は12.4%となっています。

年齢階級別にみると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計はいずれの年齢も60%を超え、また年齢が高くなるにつれて多くなり、70歳以上では73.5%となっています。

居住地区別にみると、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計は名寄地区が66.5%、風連地区は53.5%となっています。

問6 名寄市は住みやすいと感じますか。 (1つに○印)



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

(6) 今後の居留意向

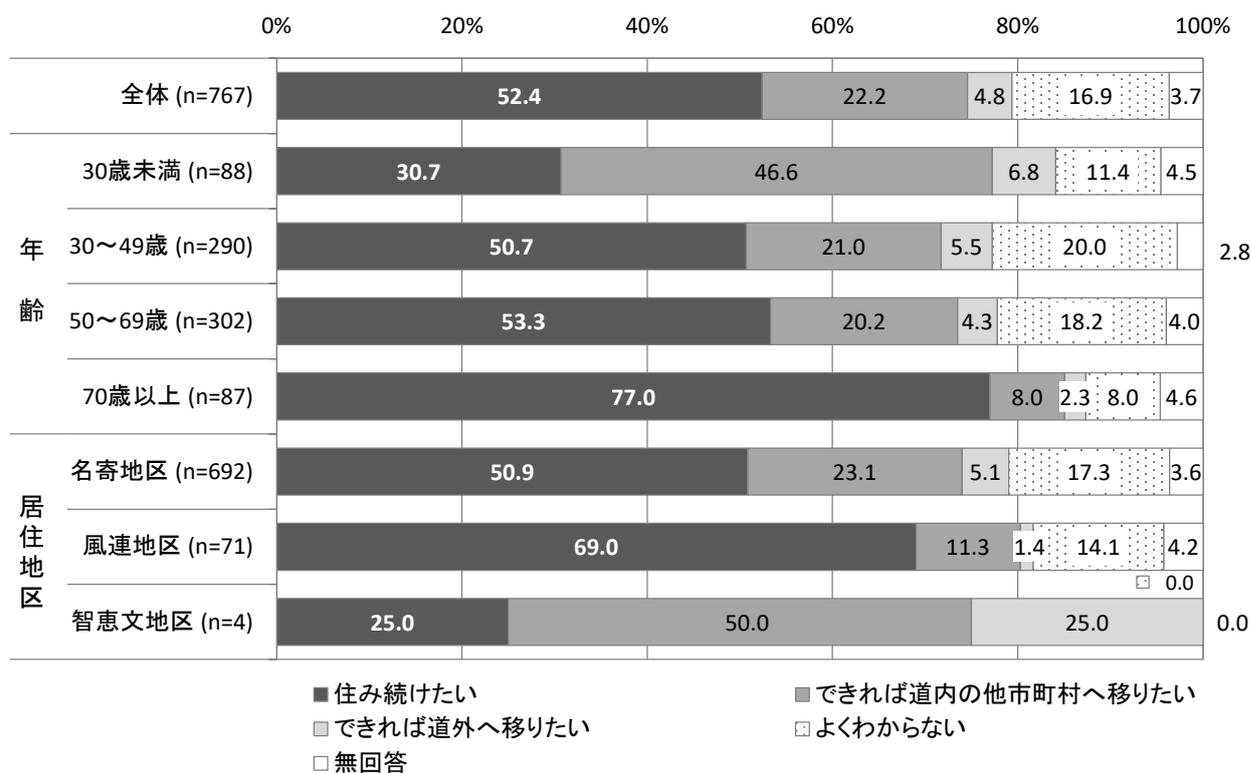
今後の居留意向は、「住み続けたい」が52.4%と半数を超えています。一方で、「できれば道内の他市町村へ移りたい」(22.2%)と「できれば道外へ移りたい」(4.8%)の合計は27.0%で、約4人に1人が市外への移転を希望しています。また、「よくわからない」は16.9%となっています。

年齢階級別にみると、30歳未満は「住み続けたい」30.7%で他の年齢と比べて最も少なく、「できれば道内の他市町村へ移りたい」と「できれば道外へ移りたい」の合計が53.4%となっています。

30～49歳、50～69歳は「住み続けたい」が約50%、70歳以上は77.0%となっています。

居住地区別にみると、「住み続けたい」は風連地区(69.0%)が名寄地区(50.9%)を18.1ポイント上回っています。

問7 あなたは、これからも名寄市に住み続けたいと思いますか。 (1つに○印)



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

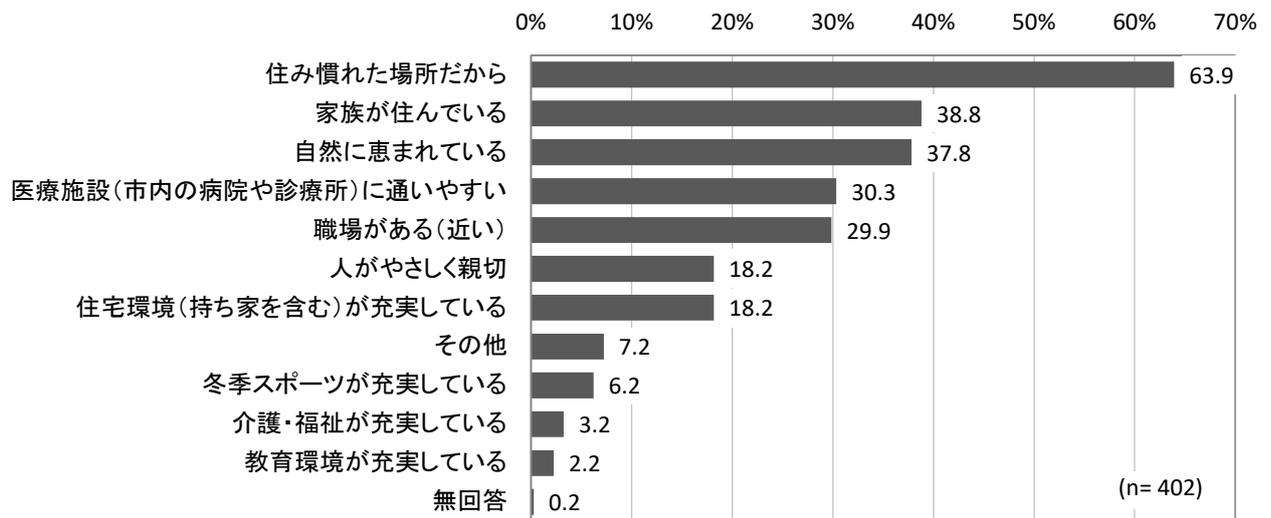
(7)名寄市に住み続けたいと思う理由【複数回答】

① 全体の集計結果

名寄市に住み続けたいと思う理由は、「住み慣れた場所だから」が63.9%で最も多く、次いで「家族が住んでいる」(38.8%)、「自然に恵まれている」(37.8%)が続いています。

問7-1 住み続けたいと思う主な理由は何ですか。

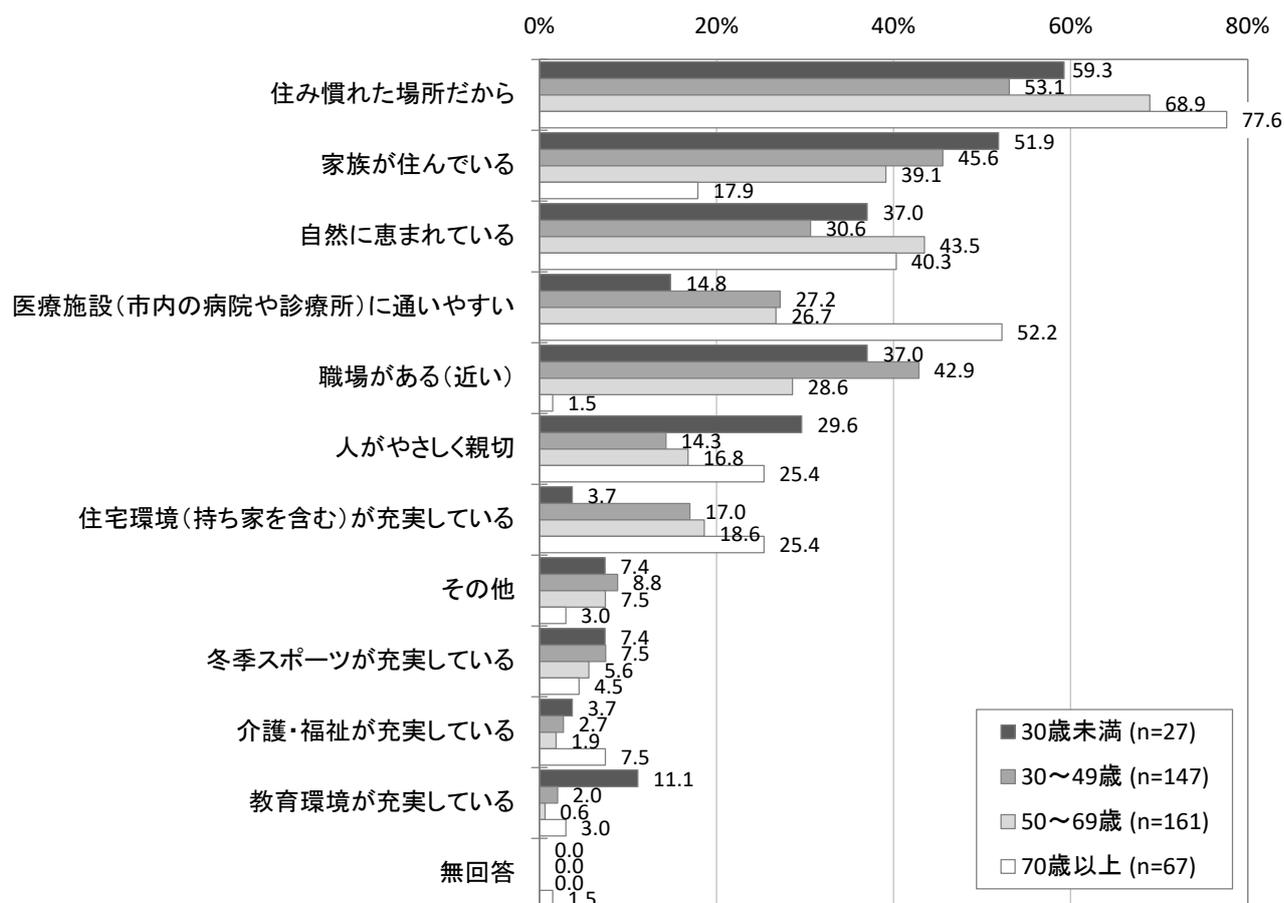
(3つまで○印)



② 年齢階級別の集計結果

年齢階級別にみると、いずれの年齢も「住み慣れた場所だから」が50%を超え最も多く、特に50～69歳(68.9%)、70歳以上(77.6%)が多くなっています。

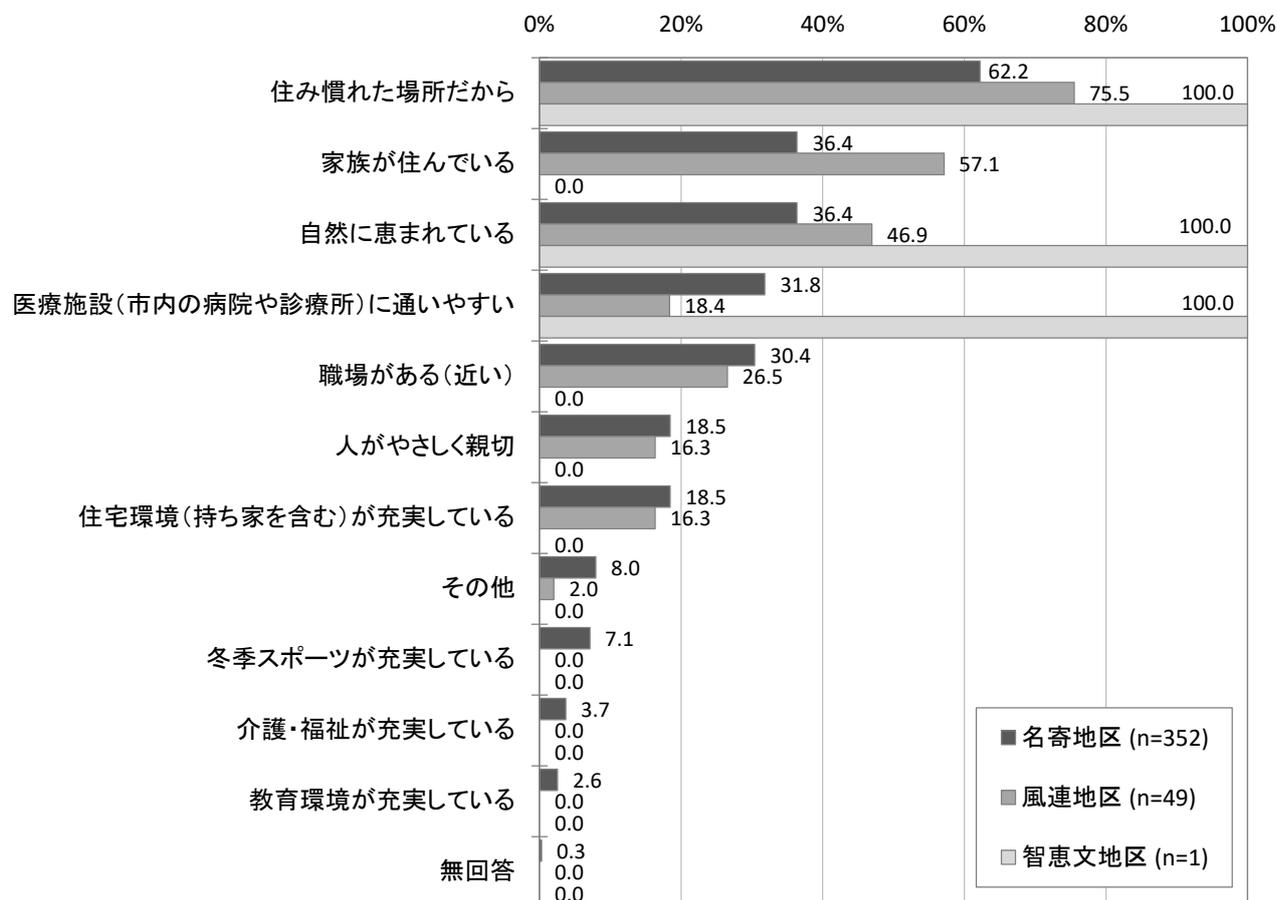
次いで30歳未満は「家族が住んでいるから」(51.9%)、「自然に恵まれている」「職場がある(近い)」(ともに37.0%)が続いており、特に「家族が住んでいるから」は他の年齢と比べて多くなっています。30～49歳は「家族が住んでいるから」(45.6%)、「職場がある(近い)」(42.9%)、50～69歳は「自然に恵まれている」(43.5%)、70歳以上は「医療施設(市内の病院や診療所)に通いやすい」(52.2%)、「自然に恵まれている」(40.3%)が続いています。



③ 居住地区別の集計結果

居住地区別にみると、名寄地区、風連地区ともに「住み慣れた場所だから」が最も多く、次いで名寄地区は「家族が住んでいる」「自然に恵まれている」(ともに36.4%)が続いています。

風連地区も「家族が住んでいる」「自然に恵まれている」が続いていますが、その割合はいずれも名寄地区を上回っています。



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

(8)名寄市から移転したいと思う理由【複数回答】

① 全体の集計結果

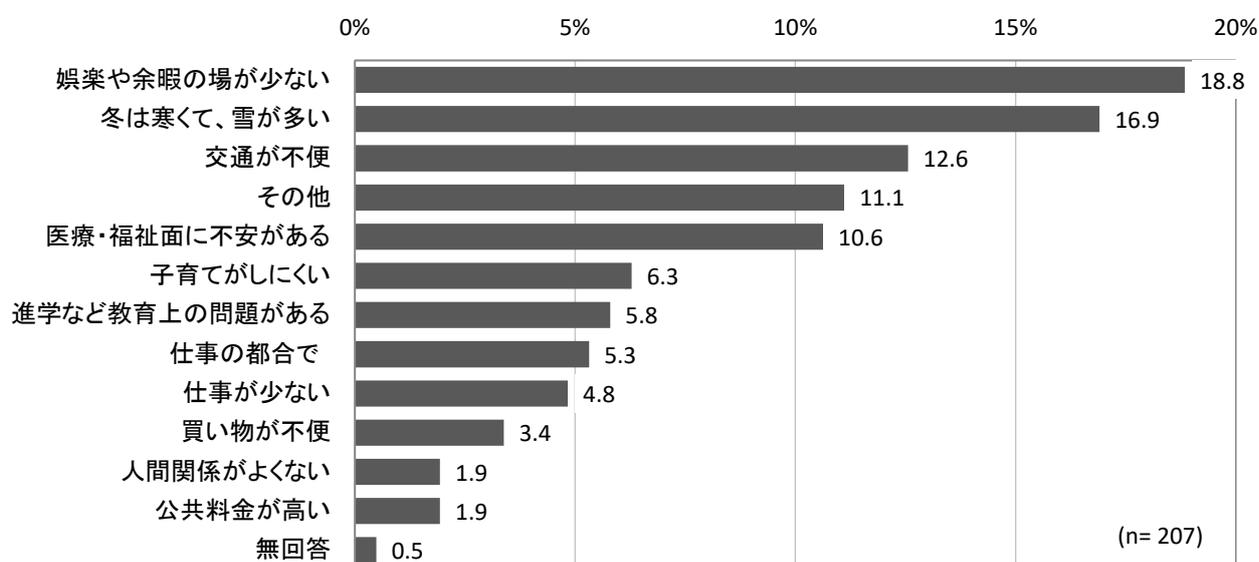
名寄市から移転したいと思う理由について、優先度1位の項目は「娯楽や余暇の場が少ない」(18.8%)が最も多く、次いで「冬は寒くて、雪が多い」(16.9%)が続いています。

優先度2位は「交通が不便」(16.4%)、「医療・福祉面に不安がある」(14.5%)、「娯楽や余暇の場が少ない」(14.0%)が多くなっています。

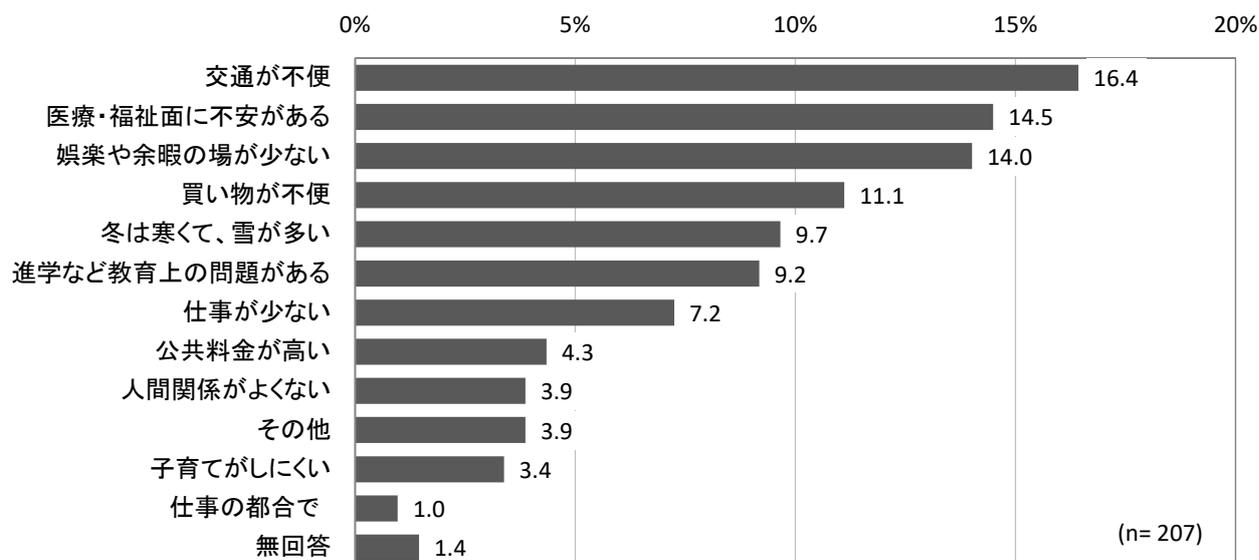
優先度3位は「娯楽や余暇の場が少ない」(16.9%)、「交通が不便」(14.0%)、「買い物が不便」(13.5%)が多くなっています。

問7-2 移転したいと思う主な理由は何ですか。優先度が高い順に該当する番号を記入してください。

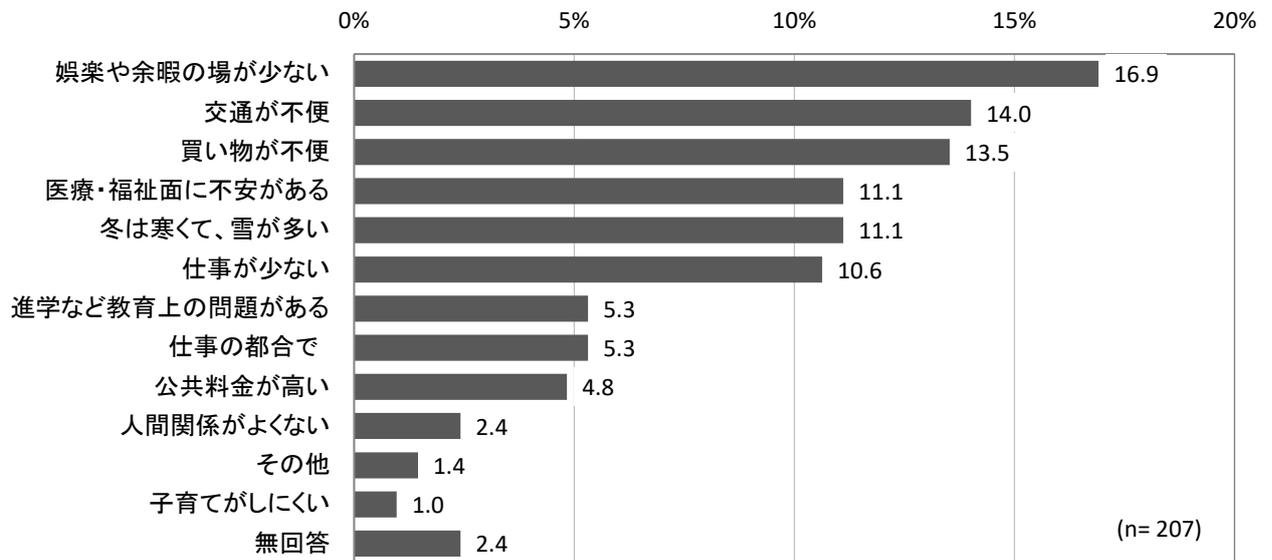
≪ 優先度1位 ≫



≪ 優先度2位 ≫



《 優先度3位 》



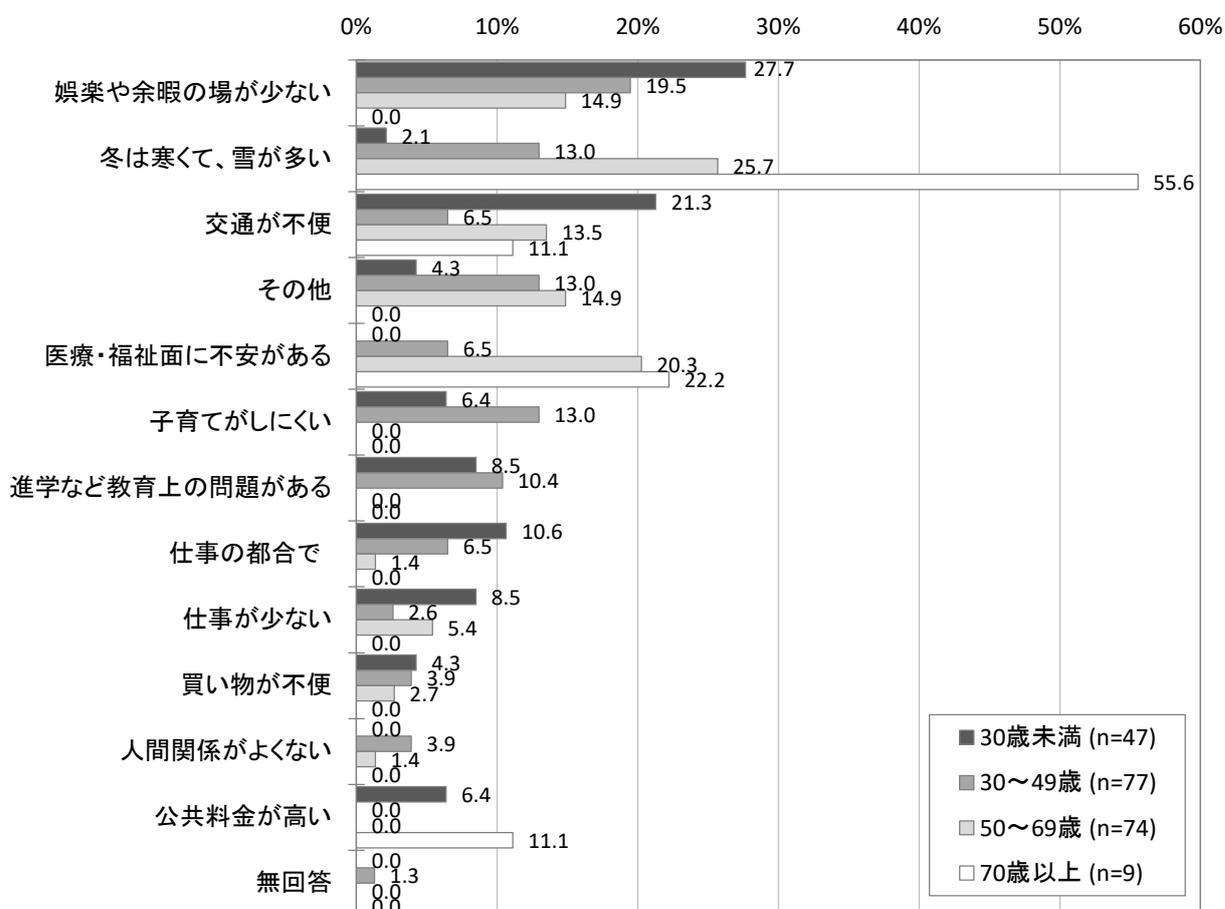
② 年齢階級別の集計結果

年齢階級別に優先度1位をみると、30歳未満は「娯楽や余暇の場が少ない」(27.7%)が最も多く、次いで「交通が不便」(21.3%)、「仕事の都合で」(10.6%)が続いています。特に「娯楽や余暇の場が少ない」は他の年齢と比べて多くなっています。

30～49歳は「娯楽や余暇の場が少ない」(19.5%)が最も多く、次いで「冬は寒くて、雪が多い」「その他」「子育てがしにくい」(それぞれ13.0%)が続いています。

50～69歳は「冬は寒くて、雪が多い」(25.7%)が最も多く、次いで「医療・福祉面に不安がある」(20.3%)が続いており、特に「医療・福祉面に不安がある」は他の年齢と比べて多くなっています。

≪ 優先度1位 ≫



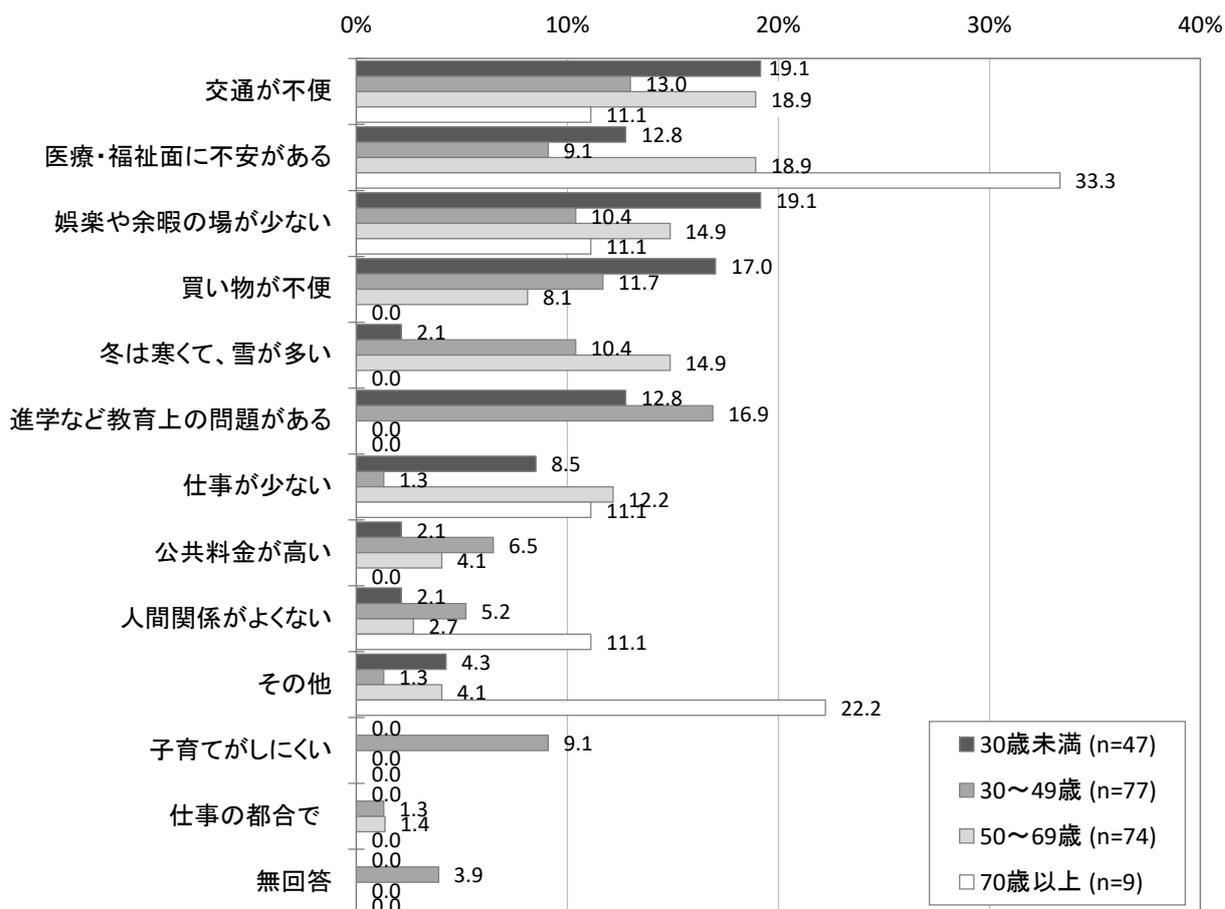
※70歳以上は回答者数が少ない(n=9)ため、コメントの記載を省略しています。

年齢階級別に優先度2位をみると、30歳未満は「交通が不便」「娯楽や余暇の場が少ない」(ともに19.1%)が最も多く、次いで「買い物が不便」(17.0%)が続いています。

30～49歳は「進学など教育上の問題がある」(16.9%)が最も多く、次いで「交通が不便」(13.0%)が続いています。

50～69歳は「交通が不便」「医療・福祉面に不安がある」(ともに18.9%)が最も多く、次いで「娯楽や余暇の場が少ない」「冬は寒くて、雪が多い」(ともに14.9%)が続いています。

《 優先度2位 》



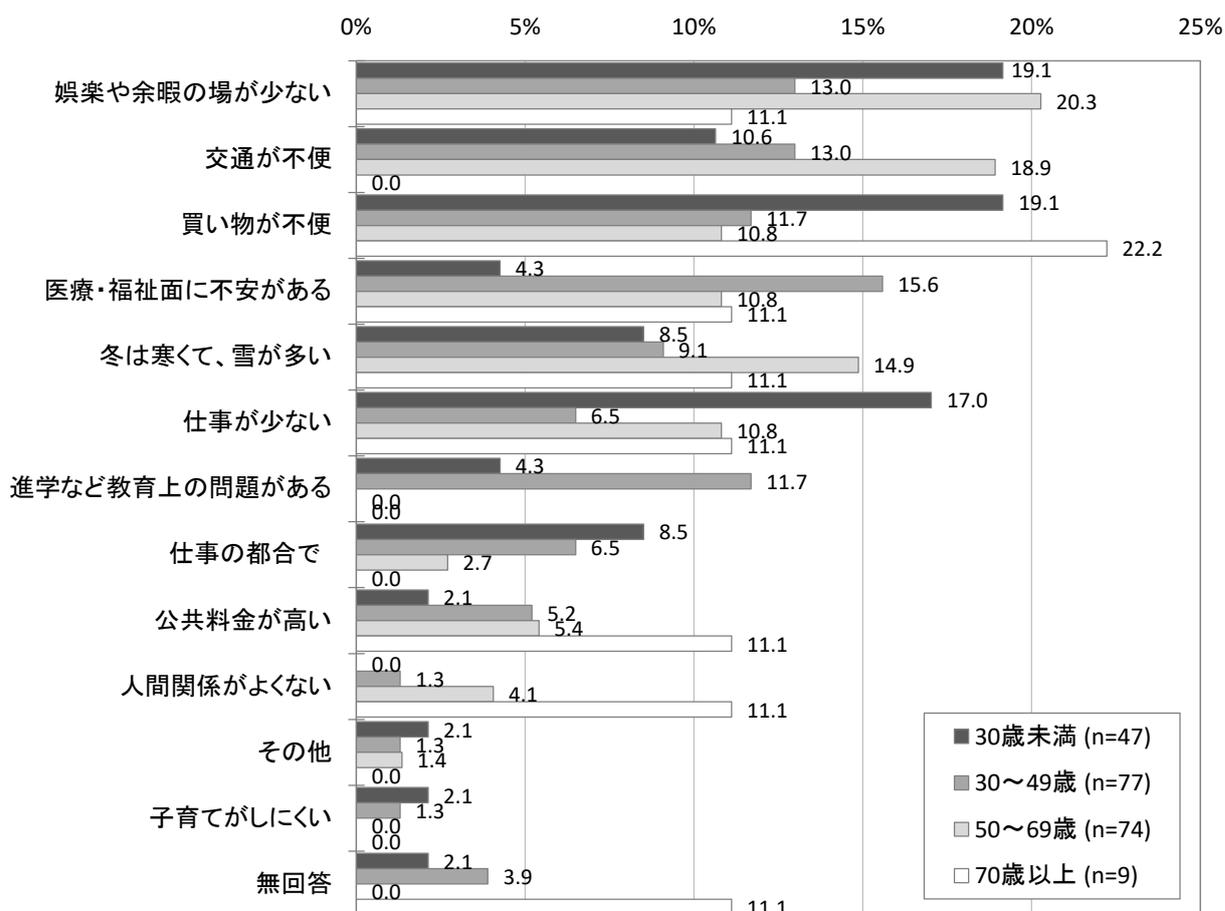
※70歳以上は回答者数が少ない(n=9)ため、コメントの記載を省略しています。

年齢階級別に優先度3位をみると、30歳未満は「娯楽や余暇の場が少ない」「買い物が不便」(ともに19.1%)が最も多く、次いで「仕事が少ない」(17.0%)が続いています。

30～49歳は「医療・福祉面に不安がある」(15.6%)が最も多く、次いで「娯楽や余暇の場が少ない」「交通が不便」(ともに13.0%)が続いています。

50～69歳は「娯楽や余暇の場が少ない」(20.3%)が最も多く、次いで「交通が不便」(18.9%)が続いています。

《 優先度3位 》



※70歳以上は回答者数が少ない(n=9)ため、コメントの記載を省略しています。

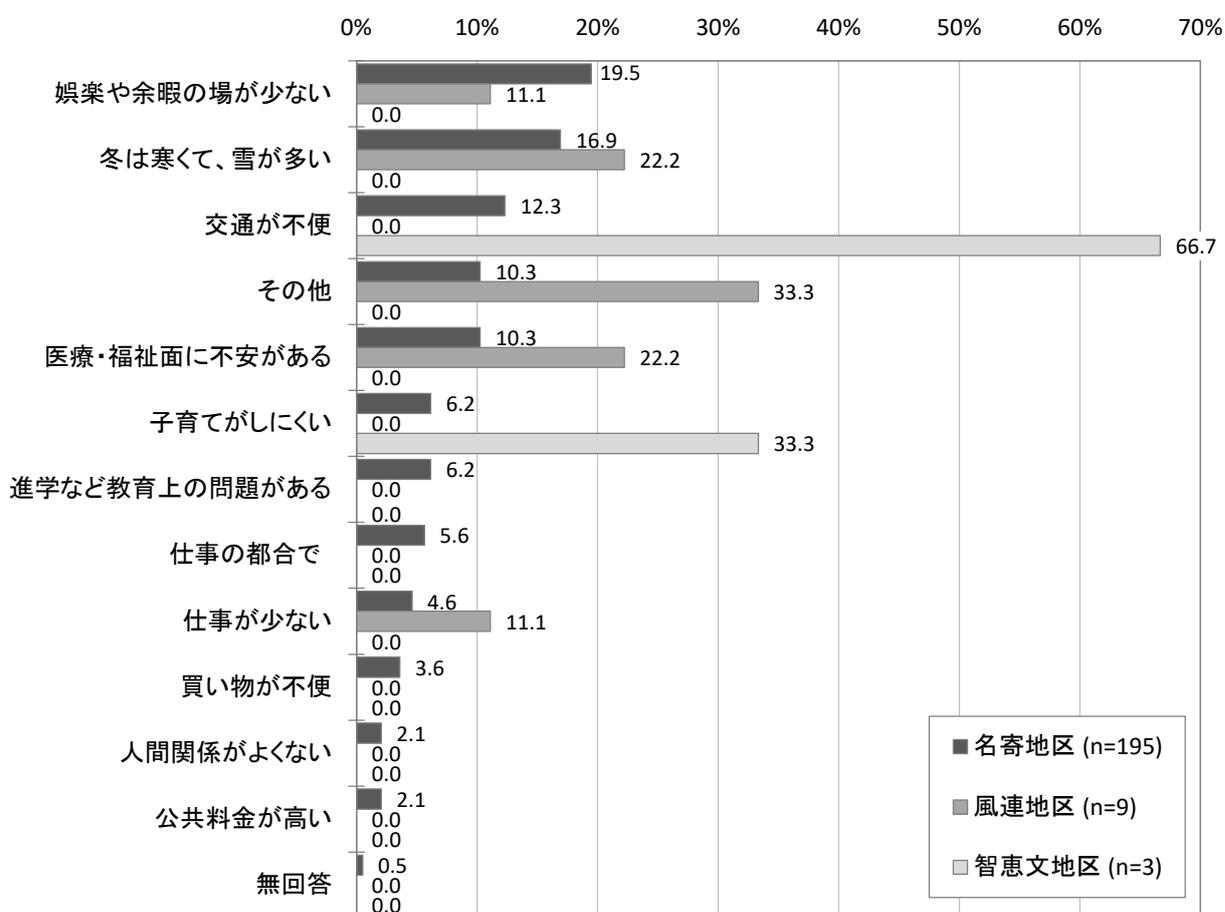
③ 居住地区別の集計結果

居住地区別にみると、名寄地区は優先度1位で「娯楽や余暇の場が少ない」(19.5%)、「冬は寒くて、雪が多い」(16.9%)、「交通が不便」(12.3%)が多くなっています。

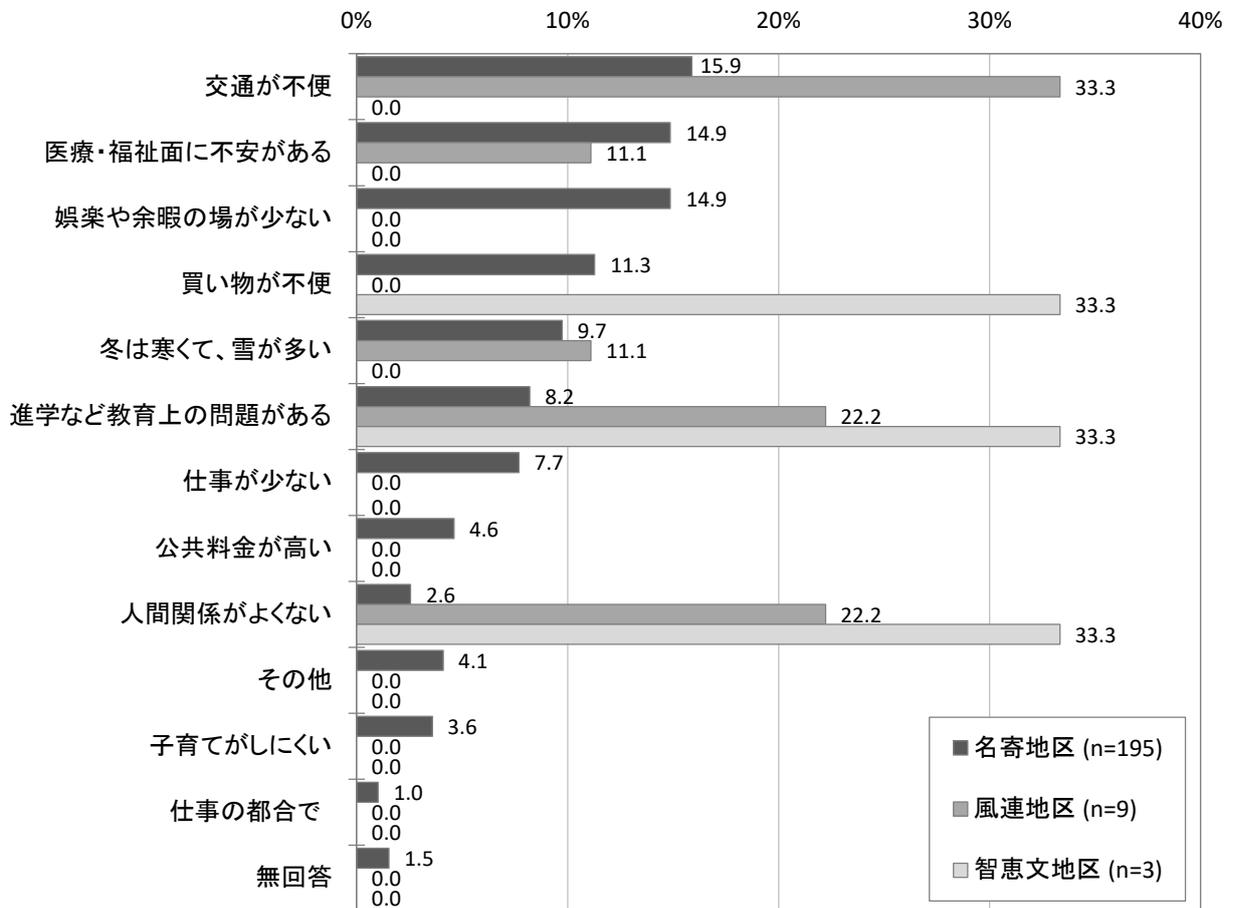
優先度2位では「交通が不便」(15.9%)、「医療・福祉面に不安がある」(14.9%)、「娯楽や余暇の場が少ない」(14.9%)が多くなっています。

優先度3位では「娯楽や余暇の場が少ない」(16.4%)、「買い物が不便」(13.8%)、「交通が不便」(12.8%)が多くなっています。

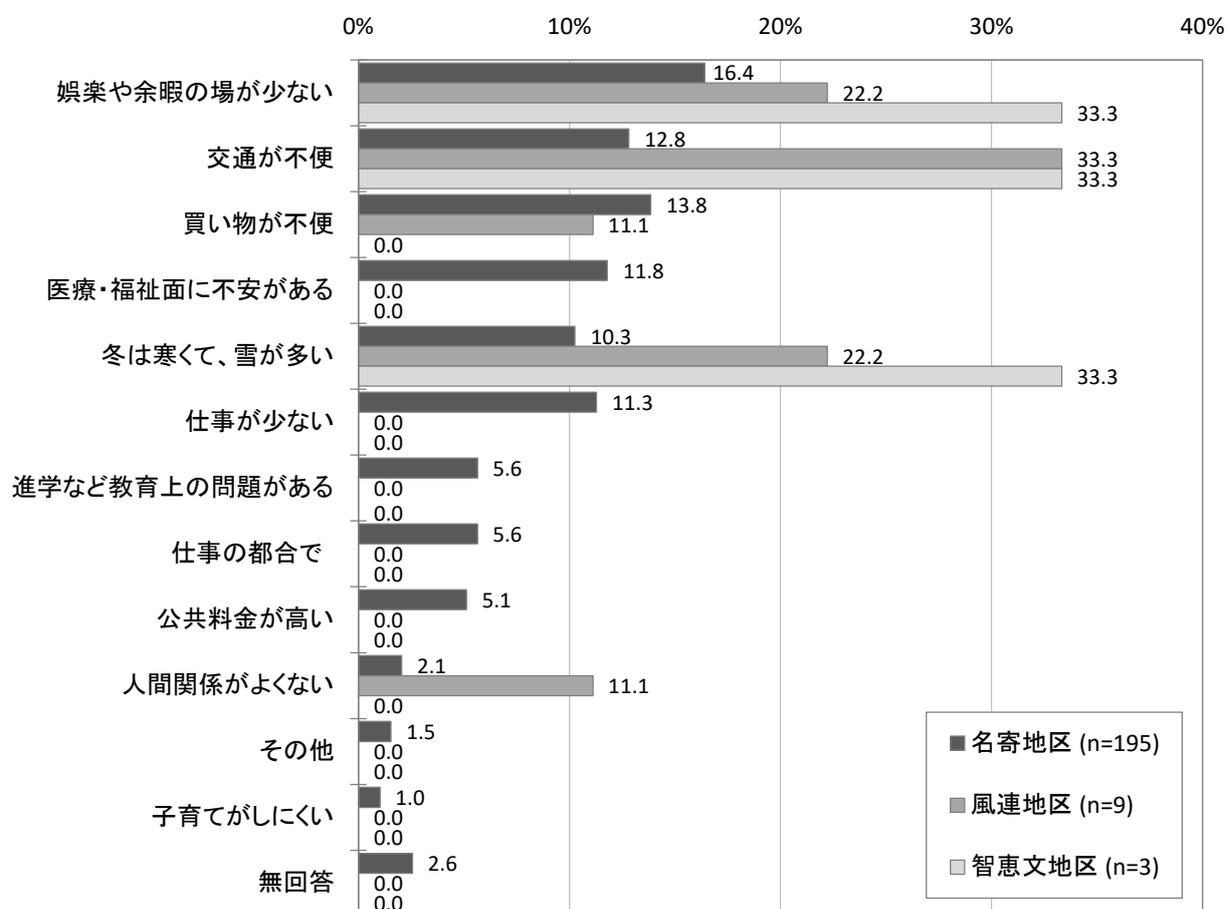
《 優先度1位 》



≪ 優先度2位 ≫



《 優先度3位 》

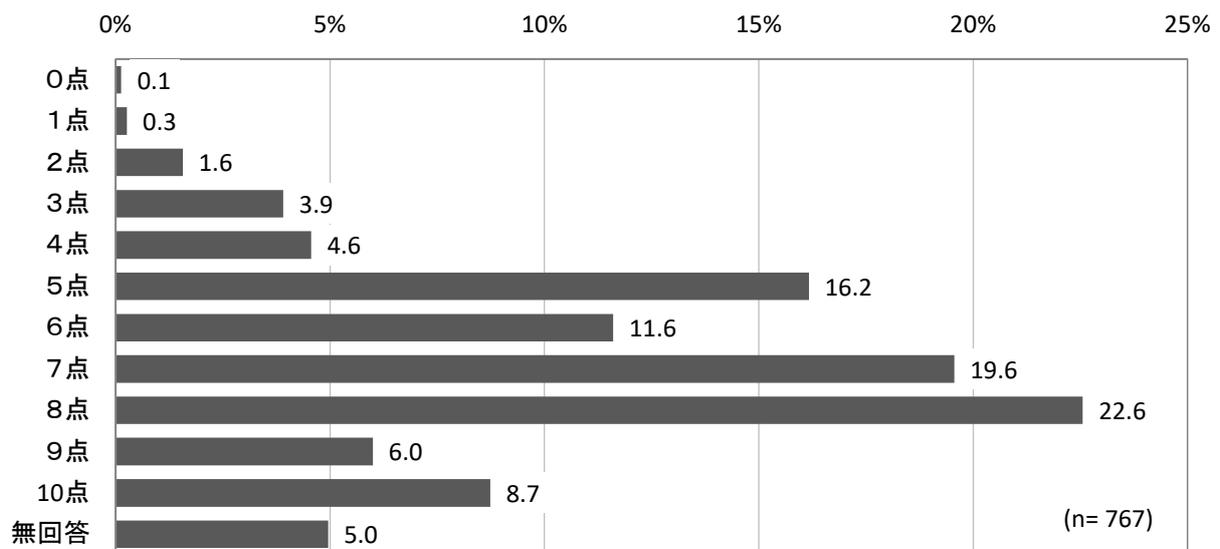


(9)現在の幸福度

① 全体の集計結果

現在の幸福度は、「8点」が22.6%で最も多く、次いで「7点」(19.6%)、「5点」(16.2%)が続いています。平均は約6.4点で、7点以上の合計は56.9%と半数を超えており、多くの方が比較的高い幸福度を感じています。一方、4点以下の合計は10.5%となっています。

問8 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)



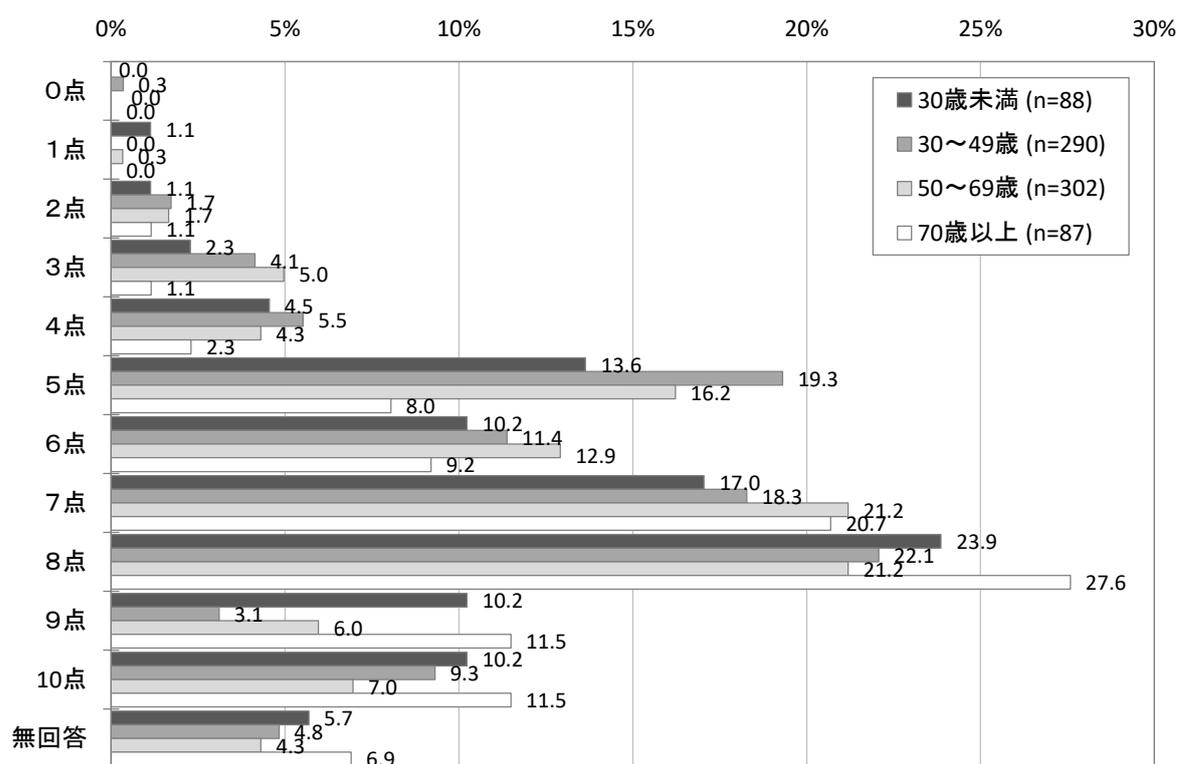
② 年齢階級別の集計結果

年齢階級別にみると、50～69歳は「7点」「8点」(ともに21.2%)、その他の年齢はすべて「8点」が最も多くなっています。

7点以上の合計は、30歳未満(61.3%)と70歳以上(71.3%)で60%を超えており、若年層と高齢層で高い傾向にあります。

一方、4点以下の合計は、30～49歳と50～69歳で約11.0%が最も多く、30歳未満(9.0%)と70歳以上(4.5%)は最も低く1割未満となっています。

平均点は30歳未満が約6.6点、30～49歳は約6.3点、50～69歳は約6.4点、70歳以上は約6.9点となっています。

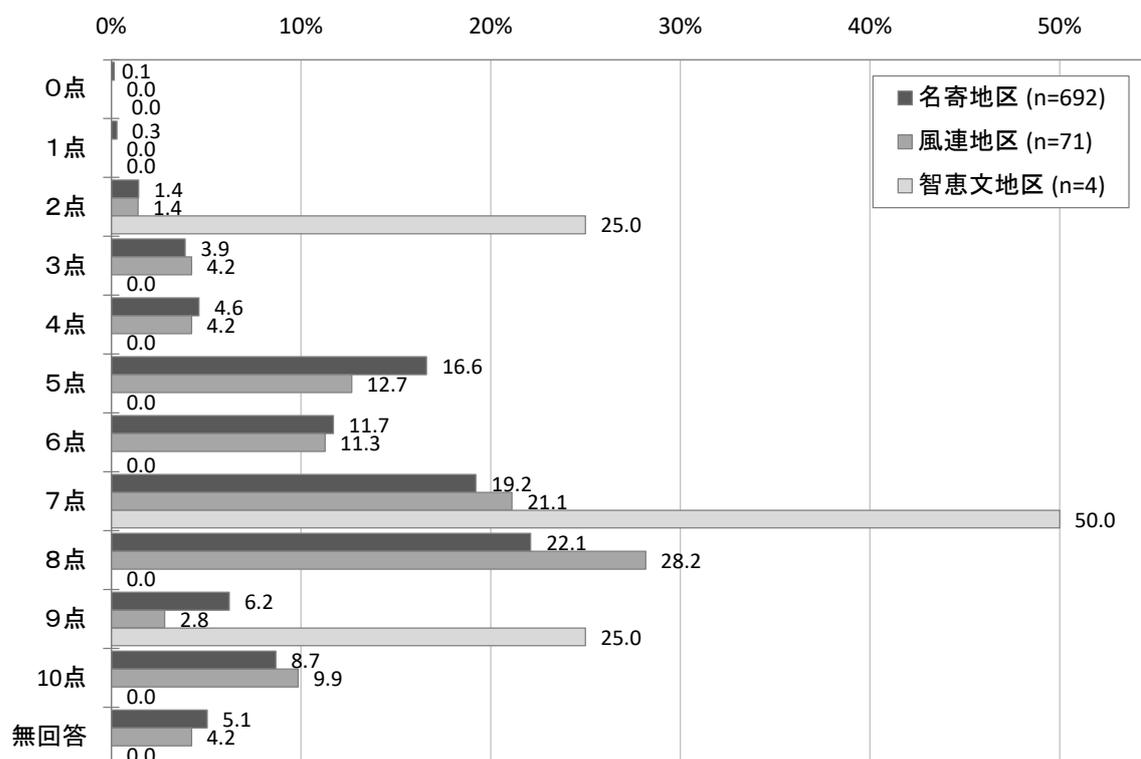


③ 居住地区別の集計結果

居住地区別にみると、名寄地区、風連地区ともに「8点」が最も多く、7点以上の合計は風連地区（62.0%）が名寄地区（56.2%）を5.8ポイント上回っています。

平均点は、名寄地区が約6.4点、風連地区は約6.6点となっています。

一方、幸福度が4点以下の合計は、名寄地区が10.3%、風連地区が9.8%となっており、両地区ともに約9割の住民が5点以上の幸福度を感じています。

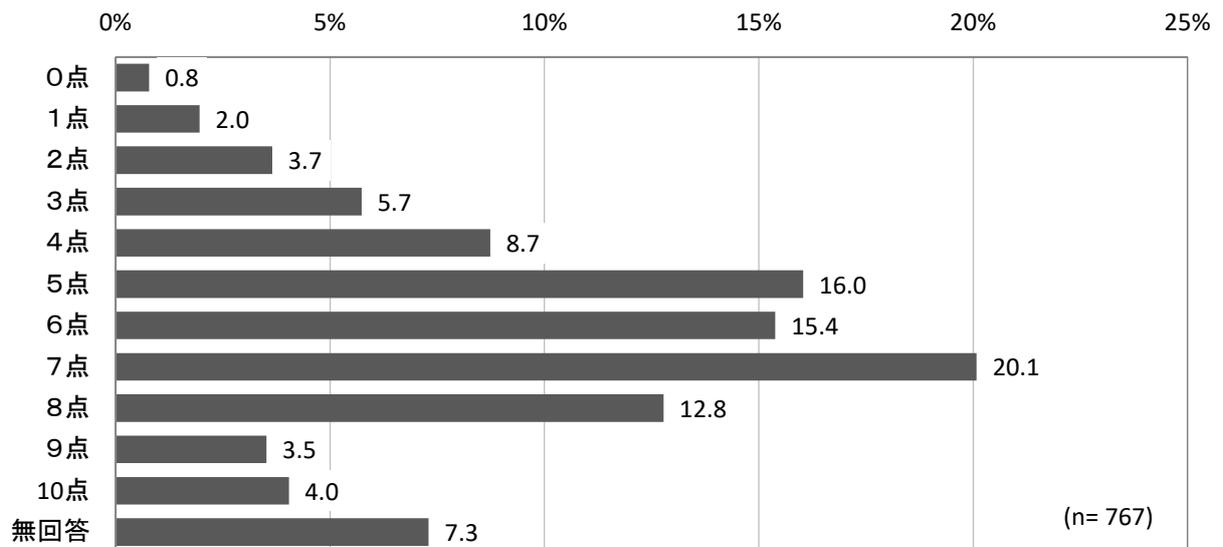


(10)現在の暮らしの満足度

① 全体の集計結果

現在の暮らしの満足度は、「7点」が20.1%で最も多く、次いで「5点」(16.0%)、「6点」(15.4%)が続いています。平均は約5.5点で、7点以上の合計は40.4%となっています。一方、4点以下の合計は20.9%となっています。

問9 現在、名寄市の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。(1つに○印)



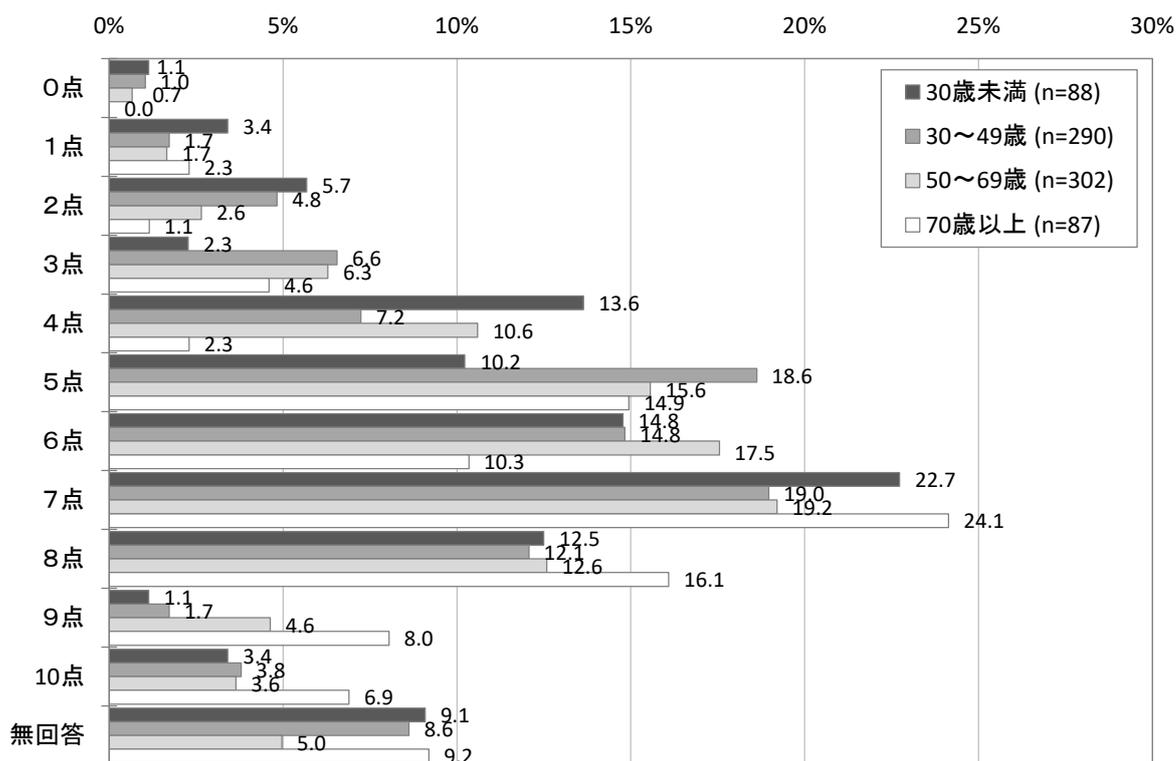
② 年齢階級別の集計結果

年齢階級別にみると、いずれの年齢も「7点」が最も多くなっていますが、30～49歳は「7点」(19.0%)と次点の「5点」(18.6%)が僅差で、回答が分散する傾向がみられます。

7点以上の合計は、70歳以上が55.1%と半数を超えましたが、その他の年齢は40%前後となっています。

平均点は、70歳以上が約6.0点で最も多く、次いで50～69歳(約5.6点)、30歳未満と30～49歳は(ともに約5.2点)となっています。

一方、4点以下の合計は、30歳未満(26.1%)が最も多く、これに対して、70歳以上は10.3%と最も少なくなっています。

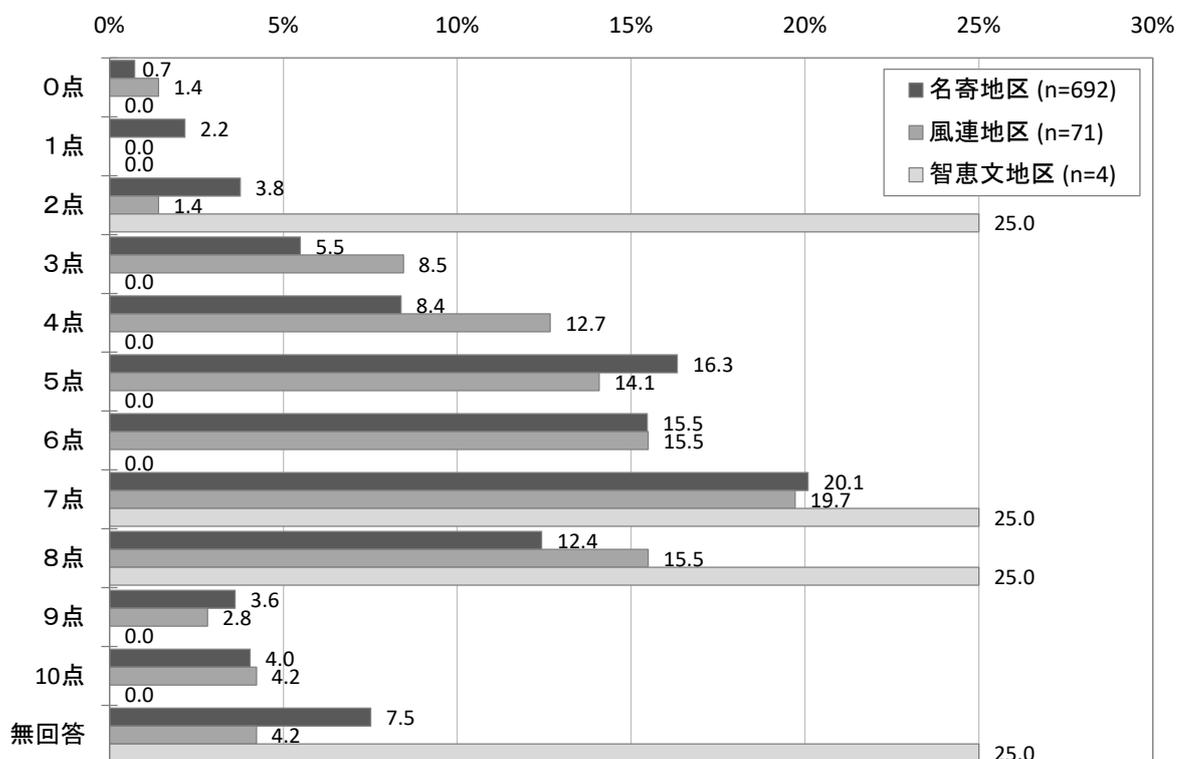


③ 居住地区別の集計結果

居住地区別にみると、名寄地区、風連地区ともに「7点」が最も多く約20%となっています。

7点以上の合計は、風連地区(42.2%)が名寄地区(40.1%)をやや上回っており、平均点も風連地区が約5.7点、名寄地区が約5.5点と、風連地区の満足度がわずかに高い傾向にあります。

一方、4点以下の合計は、名寄地区が20.6%、風連地区が24.0%となっています。



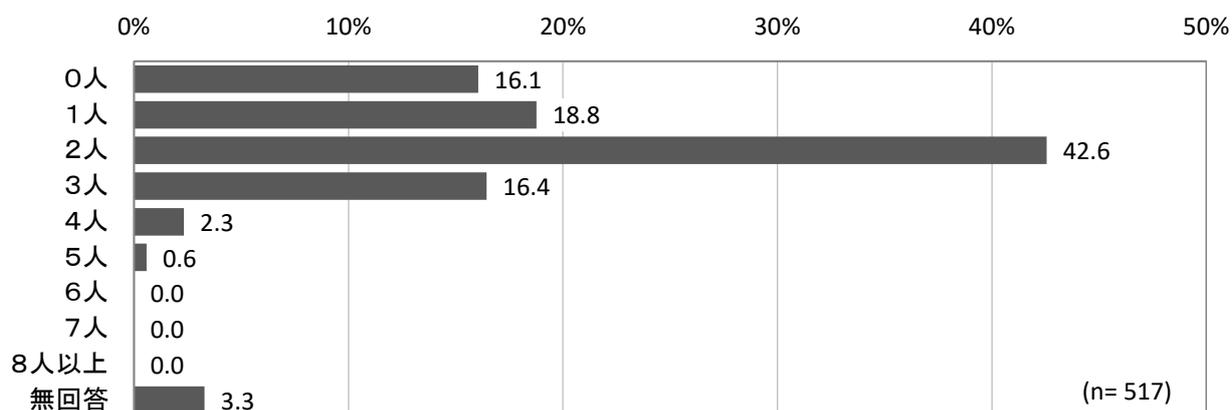
※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

3. 結婚・子育てについて（配偶者のいる方）

(1) 現在のお子さんの人数

現在のお子さんの人数は、「2人」が42.6%で最も多く、次いで「1人」(18.8%)、「3人」(16.4%)が続いています。また、「0人」は16.1%となっています。

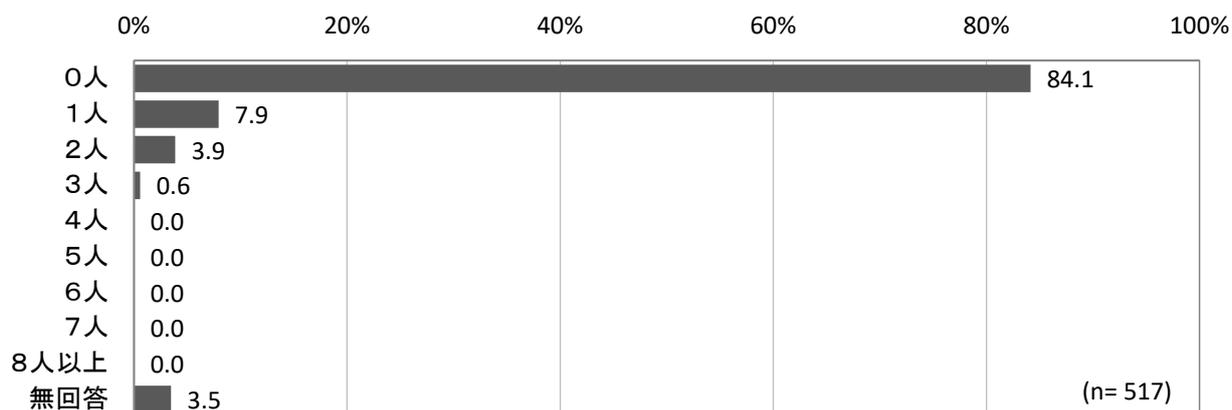
問10 現在のお子さんの人数をご回答ください。（1つに○印）



(2) 今後持つ予定のお子さんの人数

今いるお子さんに加えて、今後持つ予定のお子さんの人数は、「0人」が84.1%と大半を占めており、「1人」は7.9%、「2人」は3.9%、「3人」は0.6%となっています。

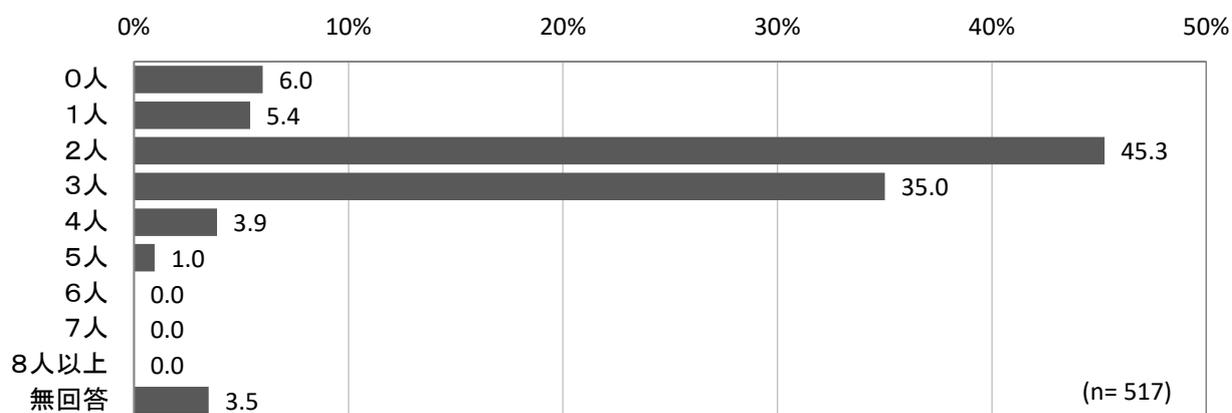
問11 今いるお子さんに加えて、今後持つ予定のお子さんの人数をご回答ください。（1つに○印）



(3)理想なお子さんの人数

理想なお子さんの人数は、「2人」(45.3%)、「3人」(35.0%)が多く、合わせて80.3%を占めており、大多数が2～3人を理想としています。一方、「0人」(子どもを持つことを望まない)は6.0%となっています。

問12 あなたにとって理想なお子さんの人数は何人ですか。 (1つに○印)



(4)持つつもりのお子さんの数が理想なお子さんの数より少ない理由【複数回答】

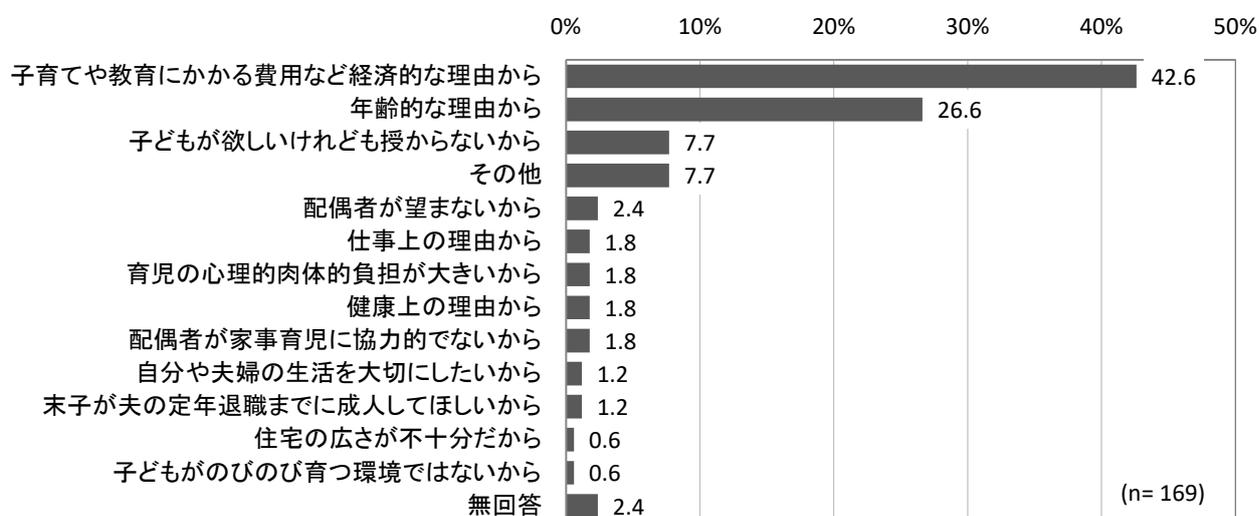
理想なお子さんの数より持つつもりのお子さんの数が少ない理由について、重要度1位の項目は「子育てや教育にかかる費用など経済的な理由から」(42.6%)が最も多く、次いで「年齢的な理由から」(26.6%)が続いています。

重要度2位は「年齢的な理由から」(24.3%)、「子育てや教育にかかる費用など経済的な理由から」(16.0%)が多くなっています。

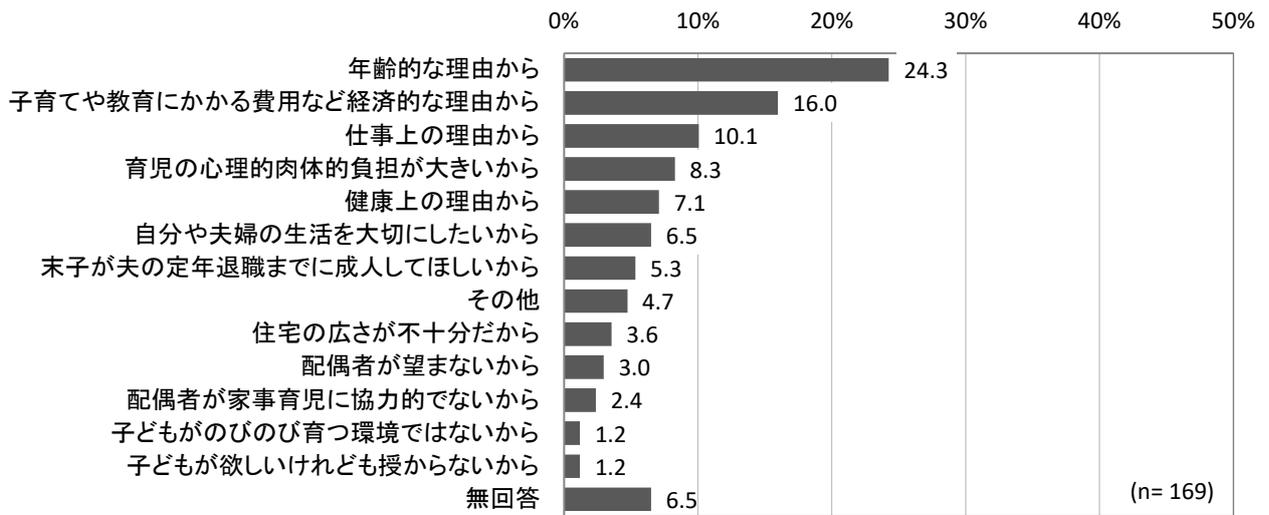
重要度3位は「育児の心理的肉体的負担が大きいから」(12.4%)、「年齢的な理由から」(11.2%)が多くなっています。

問12-1 持つつもりのお子さんの数が理想なお子さんの数より少ないこと理由としてあてはまるものを最も重要な順に3つまでご回答ください。

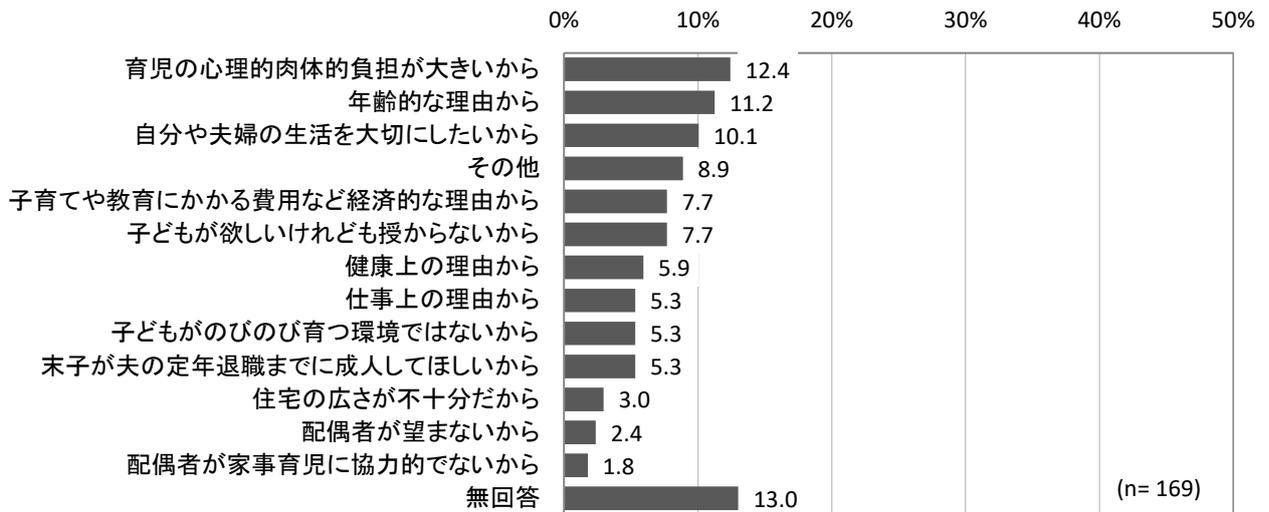
◀ 重要度1位 ▶



《 重要度2位 》



《 重要度3位 》



4. 結婚・子育てについて（現在独身の方）

(1) 現在独身でいる理由【複数回答】

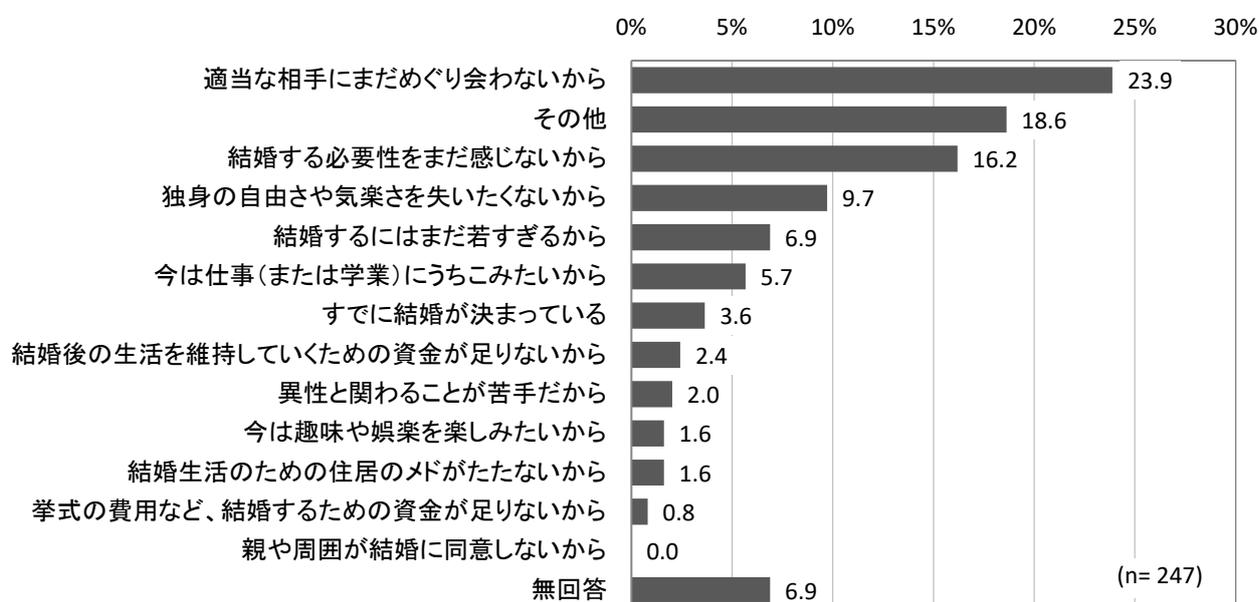
独身でいる理由について、重要度1位の項目は「適当な相手にまだめぐり会わないから」が23.9%で最も多く、次いで「その他」(18.6%)、「結婚する必要性をまだ感じないから」(16.2%)が続いています。

重要度2位は「結婚する必要性をまだ感じないから」(16.6%)、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(16.2%)、「適当な相手にまだめぐり会わないから」(12.1%)が多くなっています。

重要度3位は「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(14.6%)、「今は趣味や娯楽を楽しみたいから」(13.0%)、「結婚する必要性をまだ感じないから」(11.7%)が多くなっています。

問13 あなたが現在独身でいる理由は何ですか。最も重要な理由の順に3つまでご回答ください(すでに結婚が決まっている場合は13に○を付けてください)。

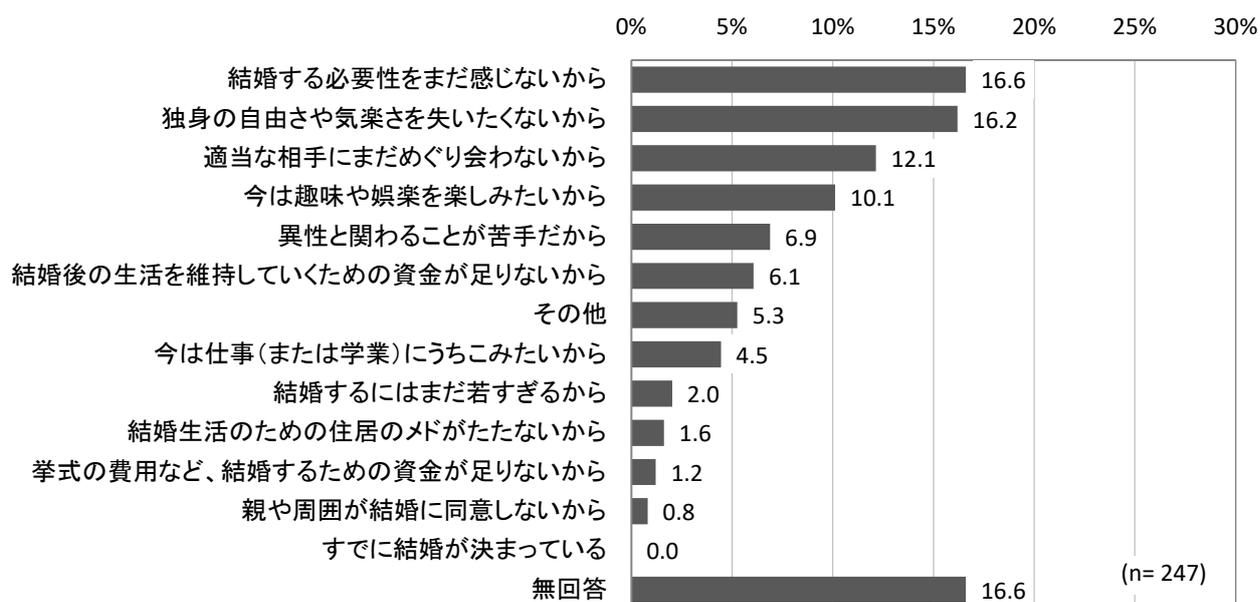
《 重要度1位 》



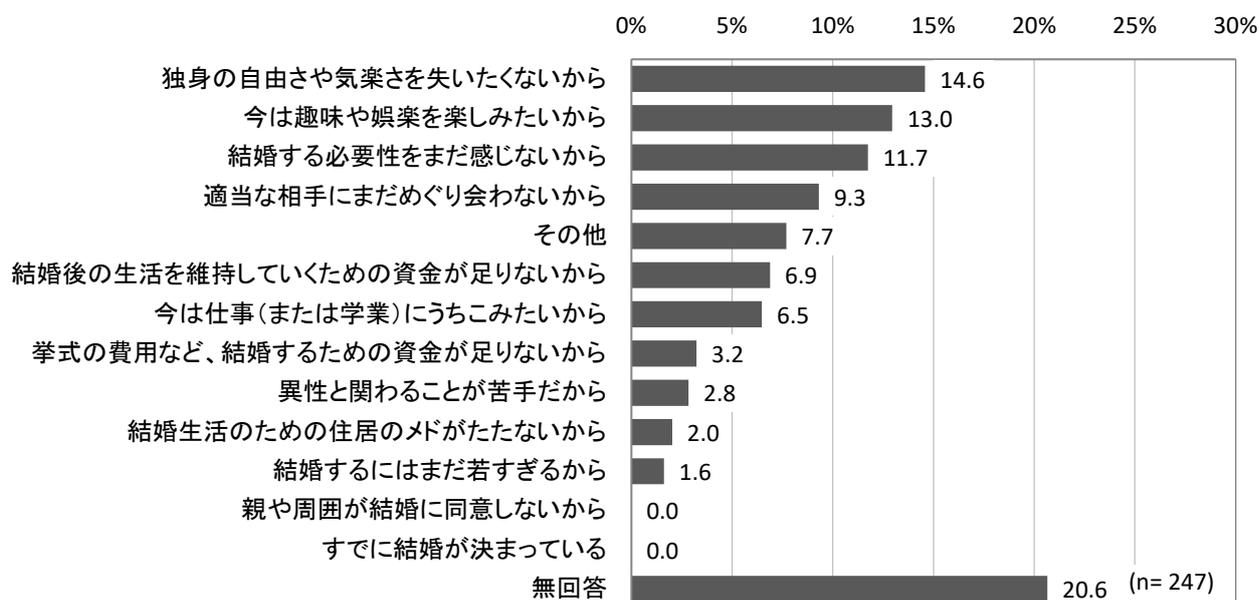
《 「その他」の内容 》

- ・結婚に対する否定的な意見・離婚（12名）
離婚の後は特に必要性を感じていないから／結婚に興味がないから／結婚は地獄だから など
- ・死別（7名）
死別して日が浅く、結婚は考えられない／妻と死別したが、再婚の考えはない など
- ・親、家族の介護や世話（6名）
高齢親(母)と知的障がい(弟)の生活サポートをしている／親の面倒が大変でそれどころではないため／親の介護が終わらない など
- ・他人との生活が苦手（5名）
他人と生活することに向いていないから／人と深く関わりたくない など
- ・年齢的な理由（3名）
年齢的に無理／年齢的に必要ないし出会いもない／高齢者なので相手がない

《 重要度2位 》



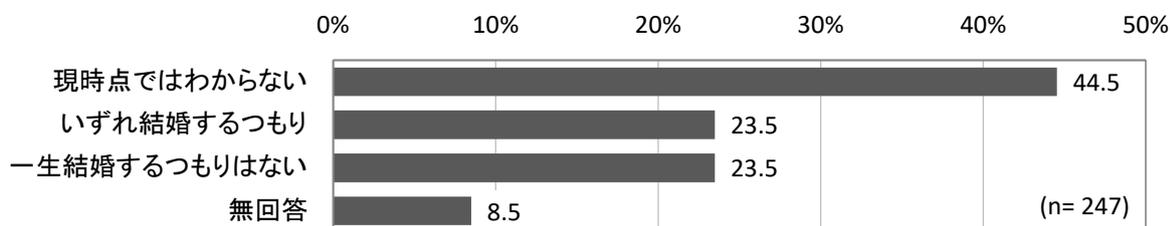
《 重要度3位 》



(2) 今後の結婚に対する考え

今後の結婚に対する考えは、「現時点ではわからない」が44.5%で最も多く、次いで「いずれ結婚するつもり」「一生結婚するつもりはない」がともに23.5%となっています。

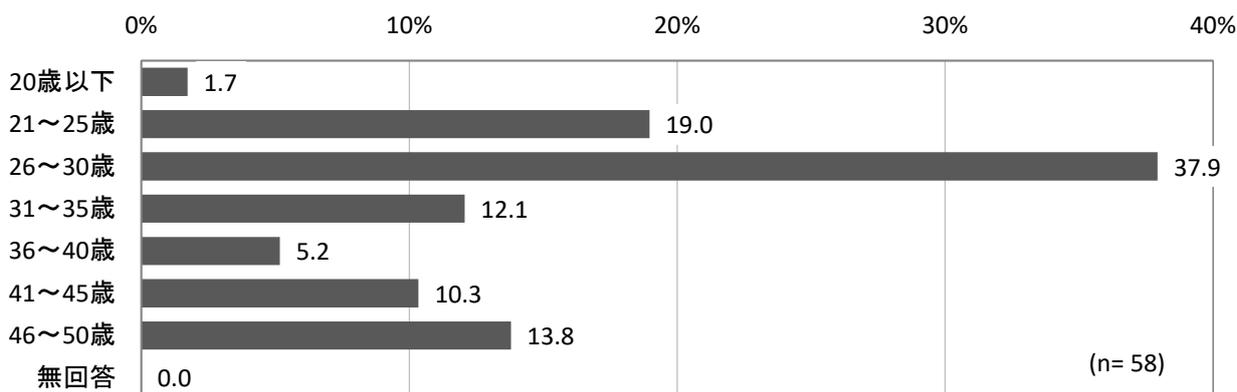
問14 自分の今後を考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどれですか。(1つに○印)



(3) 結婚したい年齢

「いずれ結婚するつもり」と回答した方が結婚したいと思う年齢は、「26～30歳」が37.9%で最も多く、次いで「21～25歳」(19.0%)、「46～50歳」(13.8%)が続いています。

問14-1 何歳ぐらいで結婚したいと思いますか。(数値入力)

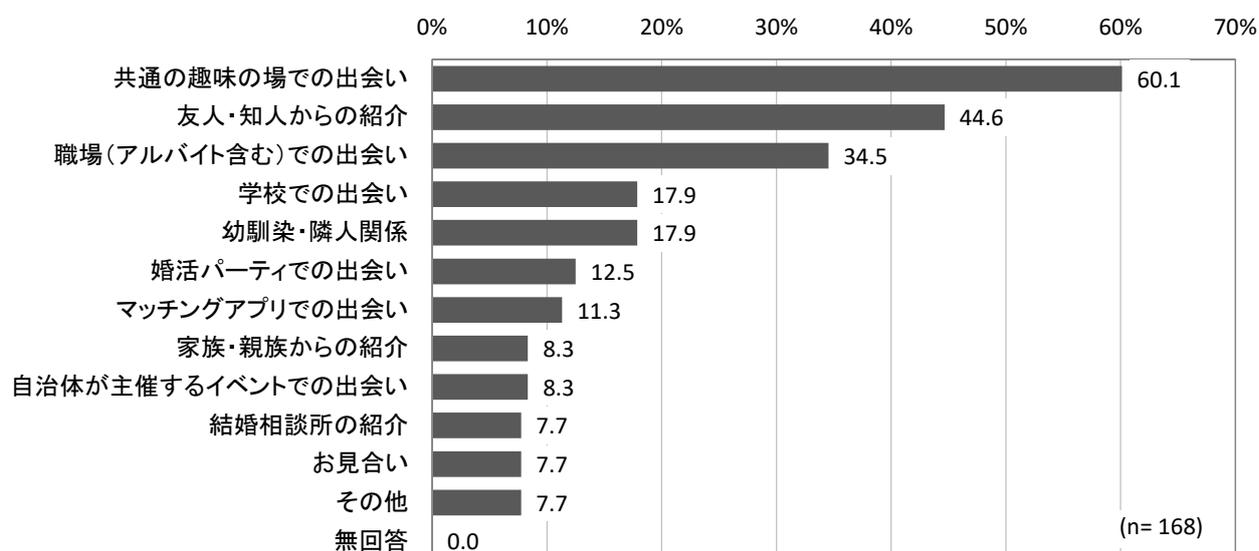


(4)結婚相手との理想の出会い方【複数回答】

「いずれ結婚するつもり」「現時点ではわからない」と回答した方が理想とする結婚相手との出会いは、「共通の趣味の場での出会い」が60.1%で最も多く、次いで「友人・知人からの紹介」(44.6%)、「職場(アルバイト含む)での出会い」(34.5%)が続いています。

問14-2 あなたは結婚相手との出会いはどのようなものかいいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○印)

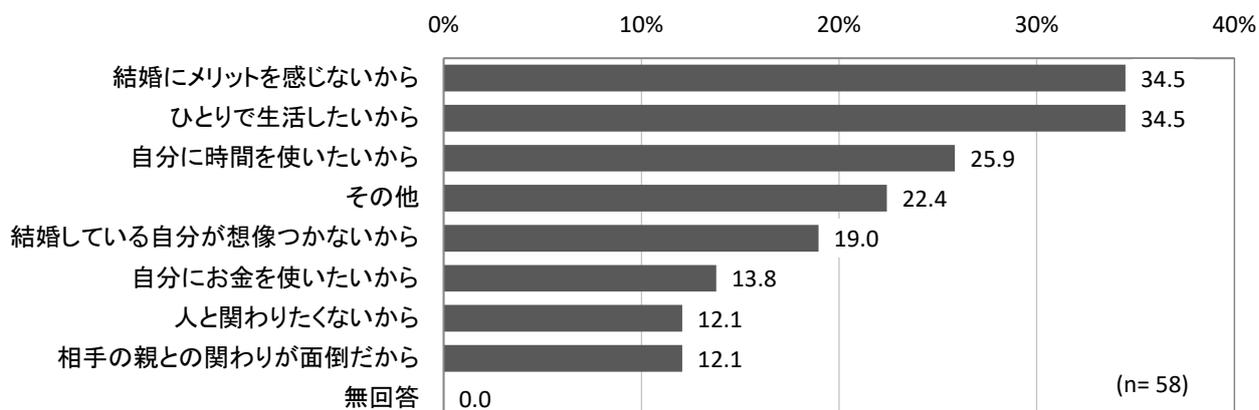


(5)一生結婚するつもりがない理由【複数回答】

一生結婚するつもりがない理由は、「結婚にメリットを感じないから」「ひとりで生活したいから」がともに34.5%で最も多く、次いで「自分に時間を使いたいから」(25.9%)が続いています。

問14-3 一生結婚するつもりはない理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○印)

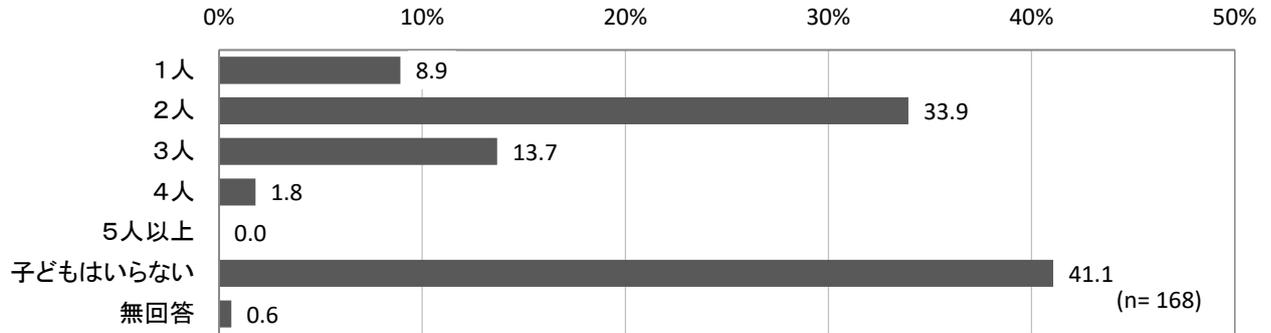


(6)欲しい子どもの人数

「いずれ結婚するつもり」「現時点ではわからない」と回答した方が希望する子どもの人数について、「子どもはいない」が41.1%に達し、全体の中で最も多くなっています。一方で、子どもを希望する方の中では、「2人」が33.9%で最も多く、次いで「3人」が13.7%、「1人」が8.9%、「4人」が1.8%となっています。

問14-4 子どもは何人くらい欲しいですか。

(1つに○印)



5. 市が進める施策の満足度と今後の重要度について

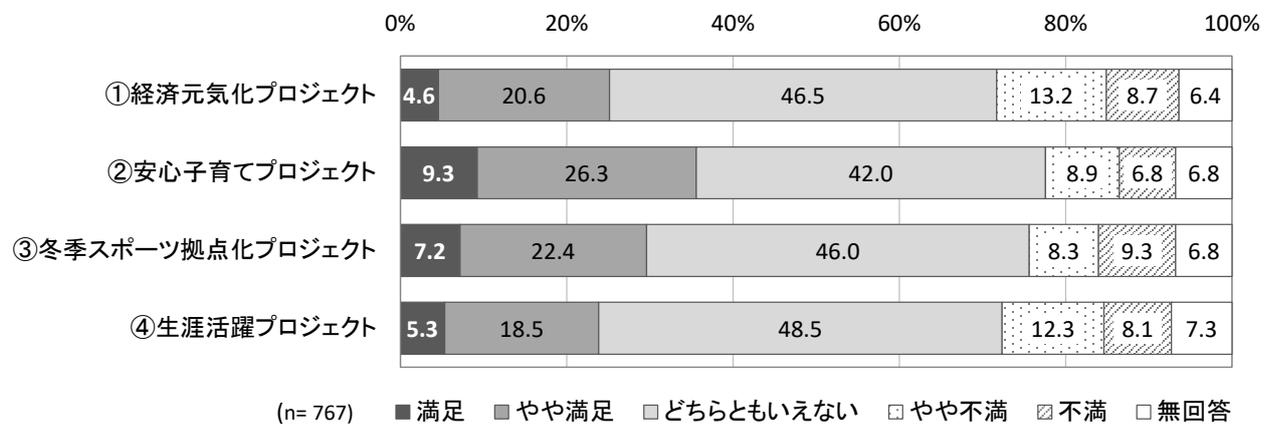
(1)重点プロジェクトについての満足度

問15 名寄市では、これまで名寄市総合計画(第2次)に基づき、下記の重点プロジェクトを推進してきました。

あなたは、下記の重点プロジェクトについて、現在どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号を選んでください。

4つの重点プロジェクトについて「満足」「やや満足」の合計をみると、①経済元気化プロジェクトは25.2%、②安心子育てプロジェクトは35.6%、③冬季スポーツ拠点化プロジェクトは29.6%、④生涯活躍プロジェクトは23.8%となっています。

4事業のうち最も評価が高かったものは、②安心子育てプロジェクト(35.6%)であり、相対的に満足度が高い状況がみられます。一方、その他の3事業はいずれも30%未満となっています。



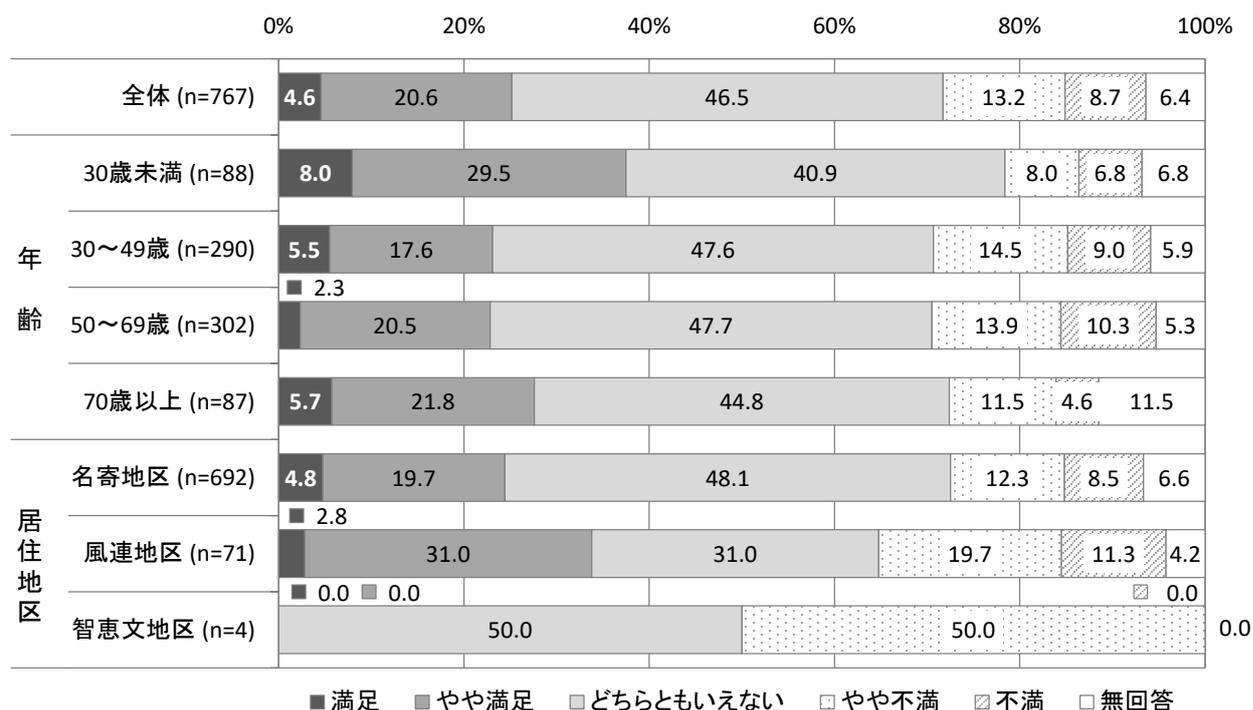
① 経済元気化プロジェクト

全体では、「満足」「やや満足」の合計は25.2%、「やや不満」「不満」の合計は21.9%となっています。

年齢階級別にみると、「満足」「やや満足」の合計は30歳未満が37.5%で最も多く、その他の年齢は30%未満となっています。

また、30～49歳と50～69歳は、「満足」「やや満足」の合計と「やや不満」「不満」の合計がそれぞれ23%前後とほぼ同率となっています。

居住地区別にみると、「満足」「やや満足」の合計は名寄地区が24.5%、風連地区が33.8%となっています。



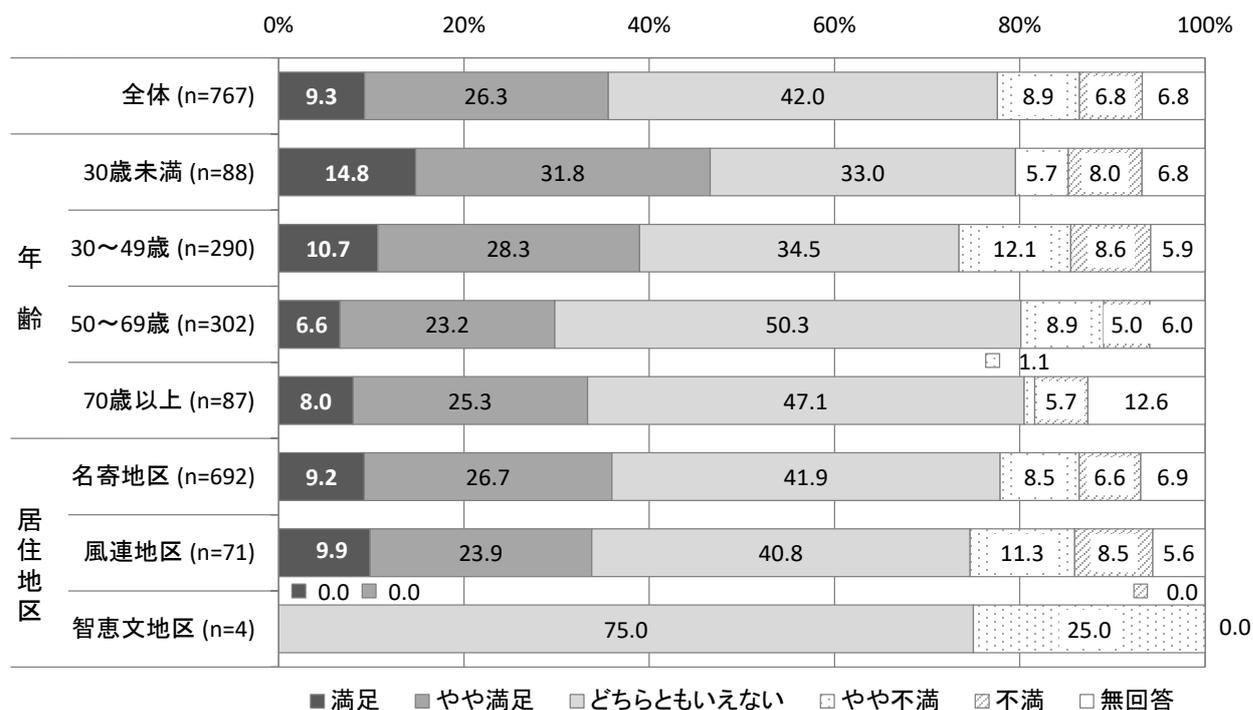
※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

② 安心子育てプロジェクト

全体では、「満足」「やや満足」の合計は35.6%、「やや不満」「不満」の合計は15.7%となっています。

年齢階級別にみると、「満足」「やや満足」の合計は30歳未満が46.6%で最も多く、次いで30～49歳(39.0%)、70歳以上(33.3%)、50～69歳(29.8%)となっています。

居住地区別にみると、「満足」「やや満足」の合計は名寄地区が35.9%、風連地区は33.8%となっています。



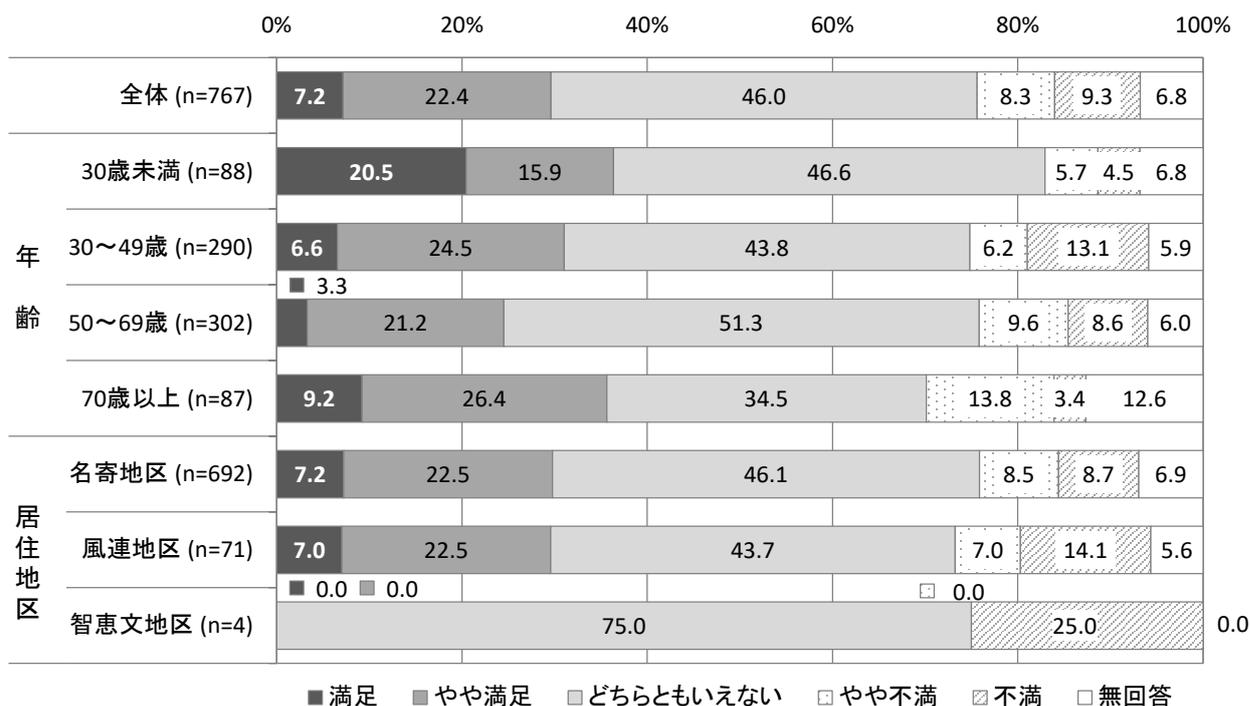
※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

③ 冬季スポーツ拠点プロジェクト

全体では、「満足」「やや満足」の合計は29.6%、「やや不満」「不満」の合計は17.6%となっています。

年齢階級別にみると、「満足」「やや満足」の合計は30歳未満(36.4%)、70歳以上(35.6%)が多く、50～69歳(24.5%)が最も少なくなっています。

居住地区別にみると、「満足」「やや満足」の合計は名寄地区が29.7%、風連地区は29.5%となっています。



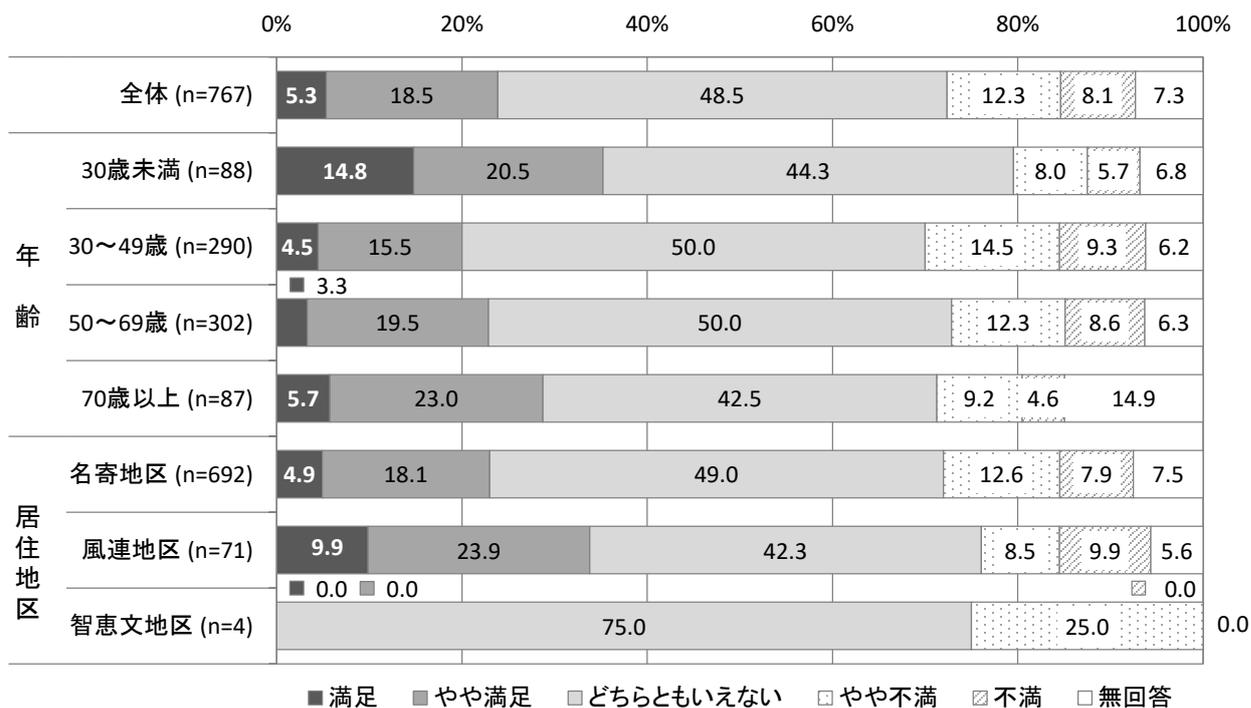
※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

④ 生涯活躍プロジェクト

全体では、「満足」「やや満足」の合計は23.8%、「やや不満」「不満」の合計は20.4%となっています。

年齢階級別にみると、「満足」「やや満足」の合計は30歳未満が35.3%で最も多く、次いで70歳以上(28.7%)、50～69歳(22.8%)、30～49歳(20.0%)となっています。

居住地区別にみると、「満足」「やや満足」の合計は名寄地区が23.0%、風連地区が33.8%となっています。

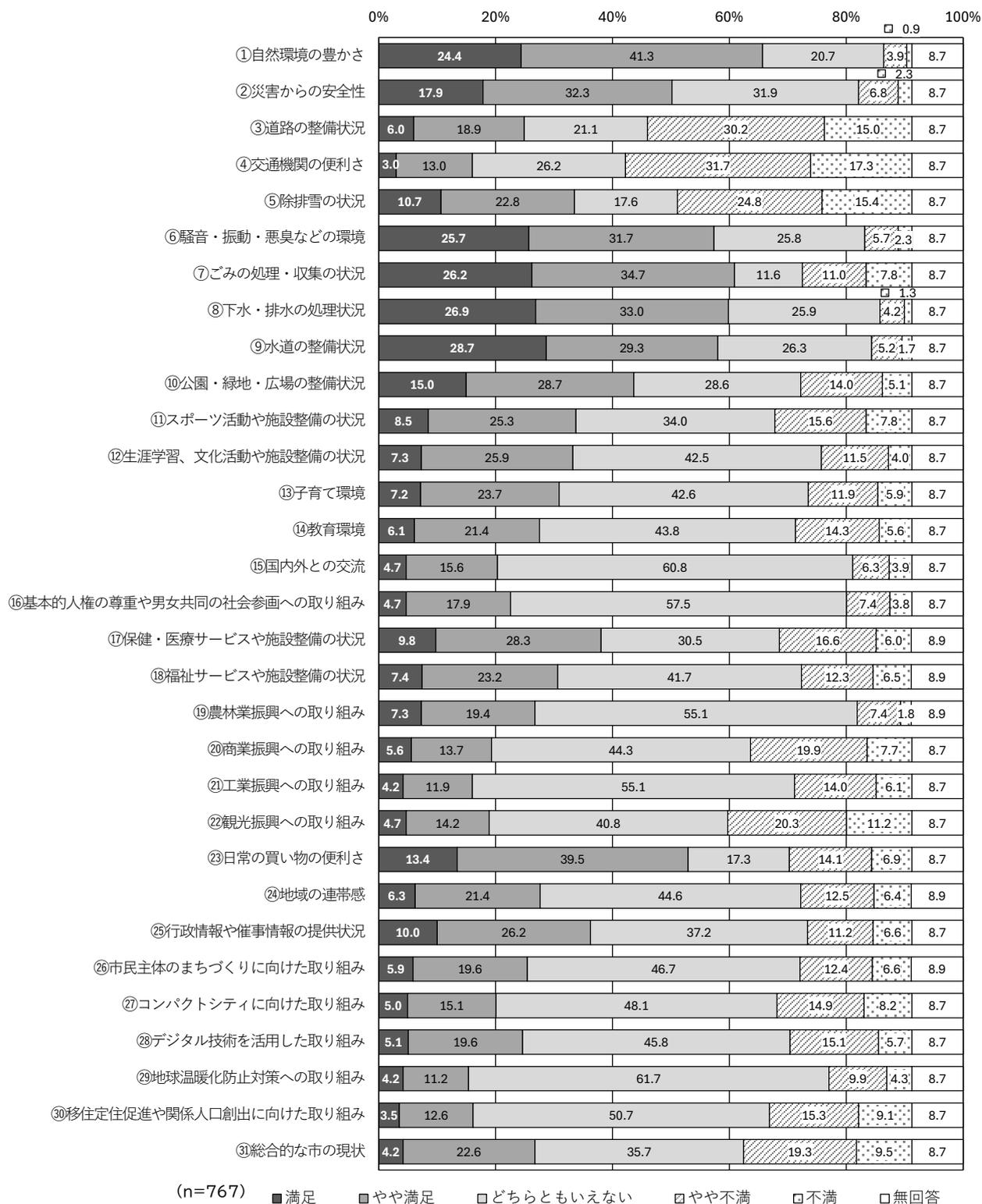


※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

(2) 施策項目別の満足度

問16 名寄市では、これまで名寄市総合計画(第2次)に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目について、現状の満足度と今後の重要度をおたずねします。

あなたは、以下の項目について、どの程度満足していますか。 (それぞれ1つに○印)



① 満足度の高い項目

「満足」と「やや満足」の合計の上位10項目は下表のとおりとなっています。
 「①自然環境の豊かさ」(65.7%)が最も満足度が高く、次いで「⑦ごみの処理・収集の状況」(60.9%)、「⑧下水・排水の処理状況」(59.8%)が続いています。

《満足度の高い 10 項目》

順位	満足度の高い 10 項目	満足度の集計結果(%)		
		満足 (A)	やや満足 (B)	満足の合計 (A)+(B)
1	①自然環境の豊かさ	24.4	41.3	65.7
2	⑦ごみの処理・収集の状況	26.2	34.7	60.9
3	⑧下水・排水の処理状況	26.9	33.0	59.9
4	⑨水道の整備状況	28.7	29.3	58.0
5	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	25.7	31.7	57.4
6	⑬日常の買い物の便利さ	13.4	39.5	52.9
7	②災害からの安全性	17.9	32.3	50.2
8	⑩公園・緑地・広場の整備状況	15.0	28.7	43.7
9	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	9.8	28.3	38.1
10	⑮行政情報や催事情報の提供状況	10.0	26.2	36.2

② 満足度の低い項目

「やや不満」と「不満」の合計の下位10項目は下表のとおりとなっています。
 「④交通機関の便利さ」(49.0%)が最も満足度が低く、次いで「③道路の整備状況」(45.2%)、「⑤除排雪の状況」(40.2%)が続いています。

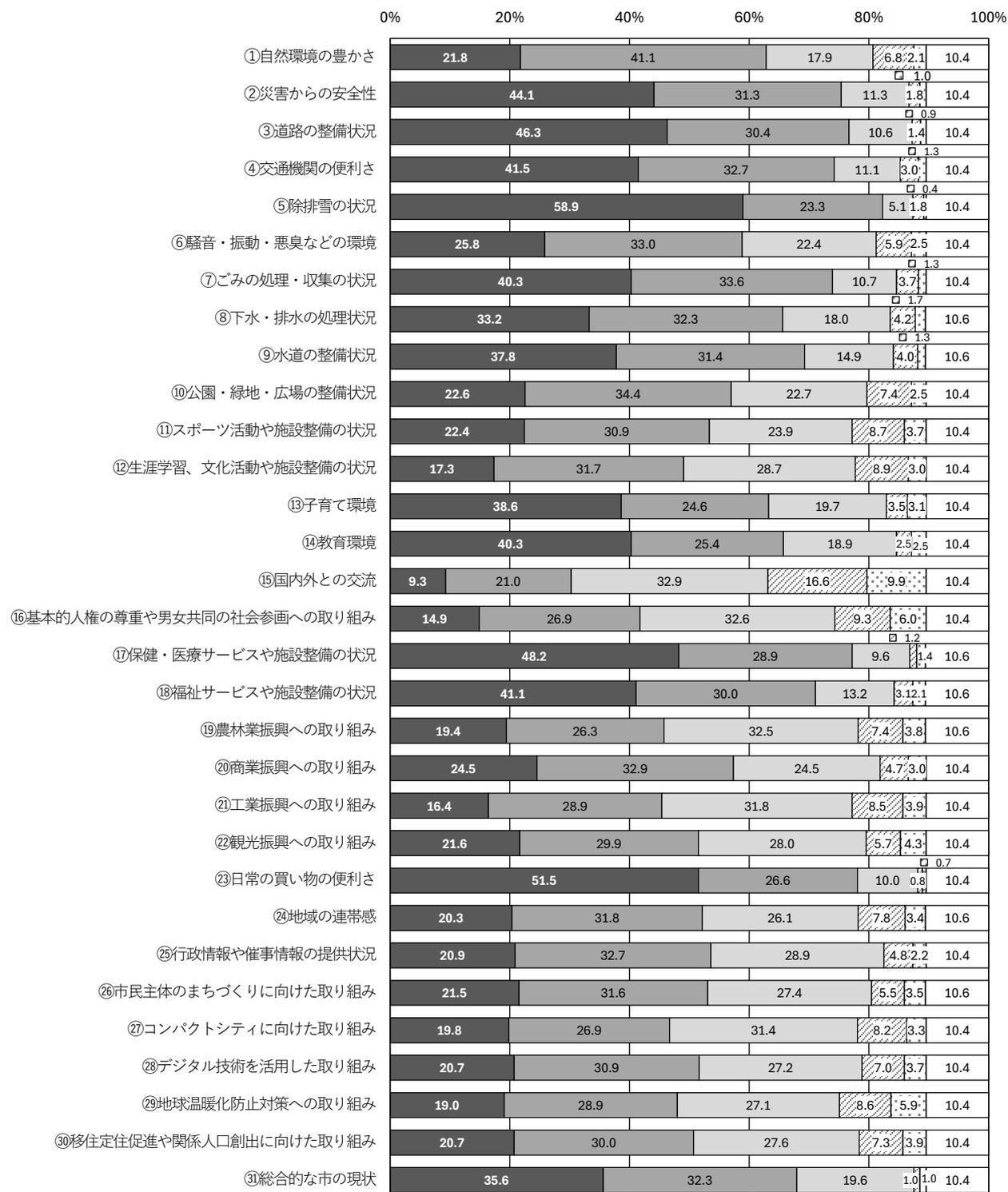
《満足度の低い 10 項目》

順位	満足度の低い 10 項目	満足度の集計結果(%)		
		やや不満 (A)	不満 (B)	不満の合計 (A)+(B)
1	④交通機関の便利さ	31.7	17.3	49.0
2	③道路の整備状況	30.2	15.0	45.2
3	⑤除排雪の状況	24.8	15.4	40.2
4	⑳観光振興への取り組み	20.3	11.2	31.5
5	㉑総合的な市の現状	19.3	9.5	28.8
5	㉒商業振興への取り組み	19.9	7.7	27.6
7	㉓移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	15.3	9.1	24.4
8	⑪スポーツ活動や施設整備の状況	15.6	7.8	23.4
9	㉔コンパクトシティに向けた取り組み	14.9	8.2	23.1
10	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	16.6	6.0	22.6

(3) 施策項目別の重要度

問16 名寄市では、これまで名寄市総合計画(第2次)に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目について、現状の満足度と今後の重要度をおたずねします。

あなたは、以下の項目について、どの程度重視していますか。 (それぞれ1つに○印)



(n=767) ■重視する ■やや重視する □どちらともいえない □あまり重視しない □重視しない □無回答

① 重要度の高い項目

「重視する」と「やや重視する」の合計の上位10項目は下表のとおりとなっています。

「⑤除排雪の状況」が82.3%で最も多く、次いで「③日常の買い物の便利さ」(78.1%)、「⑰保健・医療サービスや施設整備の状況」(77.2%)が続いています。

《重要度の高い 10 項目》

順位	重要度の高い 10 項目	重要度の集計結果(%)		
		重視する (A)	やや重視する (B)	重視する 合計 (A)+(B)
1	⑤除排雪の状況	58.9	23.3	82.2
2	③日常の買い物の便利さ	51.5	26.6	78.1
3	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	48.2	28.9	77.1
4	③道路の整備状況	46.3	30.4	76.7
5	②災害からの安全性	44.1	31.3	75.4
6	④交通機関の便利さ	41.5	32.7	74.2
7	⑦ごみの処理・収集の状況	40.3	33.6	73.9
8	⑱福祉サービスや施設整備の状況	41.1	30.0	71.1
9	⑨水道の整備状況	37.8	31.4	69.2
10	③総合的な市の現状	35.6	32.3	67.9

② 重要度の低い項目

「あまり重視しない」と「重視しない」の合計の下位10項目は下表のとおりとなっています。

「⑮国内外との交流」が26.5%で最も多く、次いで「⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み」(15.3%)、「㉑地球温暖化防止対策への取り組み」(14.5%)が続いています。

《重要度の低い 10 項目》

順位	重要度の低い 10 項目	重要度の集計結果(%)		
		あまり 重視しない (A)	重視しない (B)	重視しない 合計 (A)+(B)
1	⑮国内外との交流	16.6	9.9	26.5
2	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	9.3	6.0	15.3
3	㉑地球温暖化防止対策への取り組み	8.6	5.9	14.5
4	㉒工業振興への取り組み	8.5	3.9	12.4
5	⑪スポーツ活動や施設整備の状況	8.7	3.7	12.4
6	⑫生涯学習、文化活動や施設整備の状況	8.9	3.0	11.9
7	㉓コンパクトシティに向けた取り組み	8.2	3.3	11.5
8	⑲農林業振興への取り組み	7.4	3.8	11.2
9	㉔地域の連帯感	7.8	3.4	11.2
10	⑳移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	7.3	3.9	11.2

(4) 評価点による評価

■ 評価点の計算方法について

問 16 の各項目の満足度及び重要度に関して、評価点での分析を行います。

分野別の各項目に関して、選択肢の回答者数に点数を掛け、その平均値(加重平均)を使用して計算を行います。

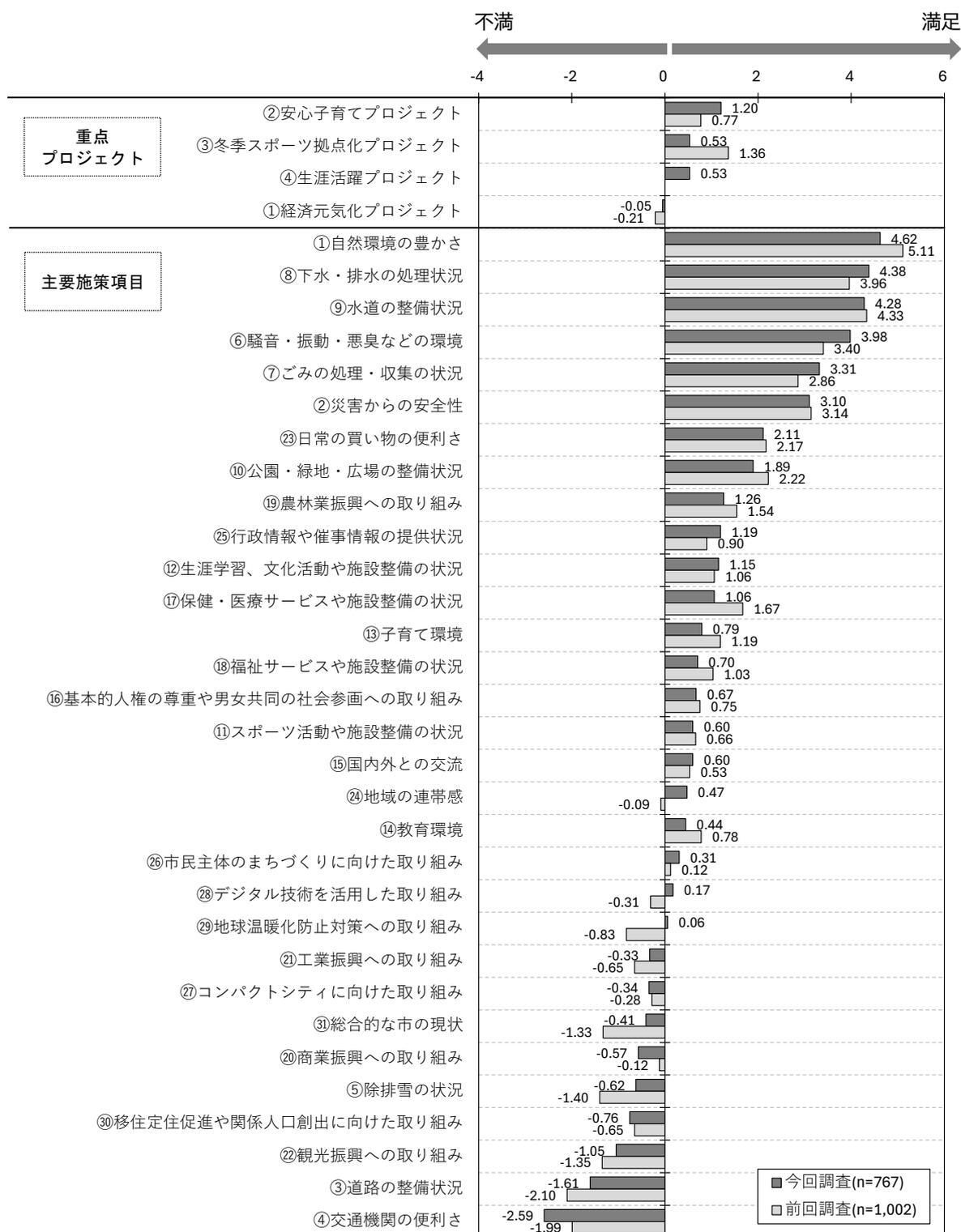
※満足度の評価点(加重平均)の算出方法	
評価点 =	「満足」の回答者数 × 10点
	「やや満足」の回答者数 × 5点
	「どちらともいえない」の回答者数 × 0点
	「やや不満」の回答者数 × -5点
	「不満」の回答者数 × -10点
	÷無回答以外の回答者数

※重要度の評価点(加重平均)の算出方法	
評価点 =	「重視する」の回答者数 × 10点
	「やや重視する」の回答者数 × 5点
	「どちらともいえない」の回答者数 × 0点
	「あまり重視しない」の回答者数 × -5点
	「重視しない」の回答者数 × -10点
	÷無回答以外の回答者数

① 満足度評価（全体）

重点プロジェクトの満足度評価点をみると、「①経済元気化プロジェクト」がわずかにマイナスになっていますが、ほかの3つの重点プロジェクトはプラスとなっています。前回調査と比較すると、「②安心子育てプロジェクト」は評価点が高くなっていますが、「③冬季スポーツ拠点化プロジェクト」は評価点が低い状況です。

主要施策項目の満足度評価点を前回調査と比較すると、「⑩総合的な市の現状」は前回調査と比べて0.92上昇していますが、「⑩保健・医療サービスや施設整備の状況」は0.61下降しています。



② 満足度評価（全体／上位・下位項目）

評価点による満足度において、「①自然環境の豊かさ」が4.62で最も評価点が高く、次いで「⑧下水・排水の処理状況」(4.38)、「⑨水道の整備状況」(4.28)が続いています。

一方、「④交通機関の便利さ」は-2.59で最も評価点が低く、次いで「③道路の整備状況」(-1.61)、「②観光振興への取り組み」(-1.05)が続いています。

≪満足度評価／全体≫

上位10項目		
順位	項目	評価点
1	①自然環境の豊かさ	4.62
2	⑧下水・排水の処理状況	4.38
3	⑨水道の整備状況	4.28
4	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	3.98
5	⑦ごみの処理・収集の状況	3.31
6	②災害からの安全性	3.10
7	③日常の買い物の便利さ	2.11
8	⑩公園・緑地・広場の整備状況	1.89
9	⑱農林業振興への取り組み	1.26
10	⑵行政情報や催事情報の提供状況	1.19

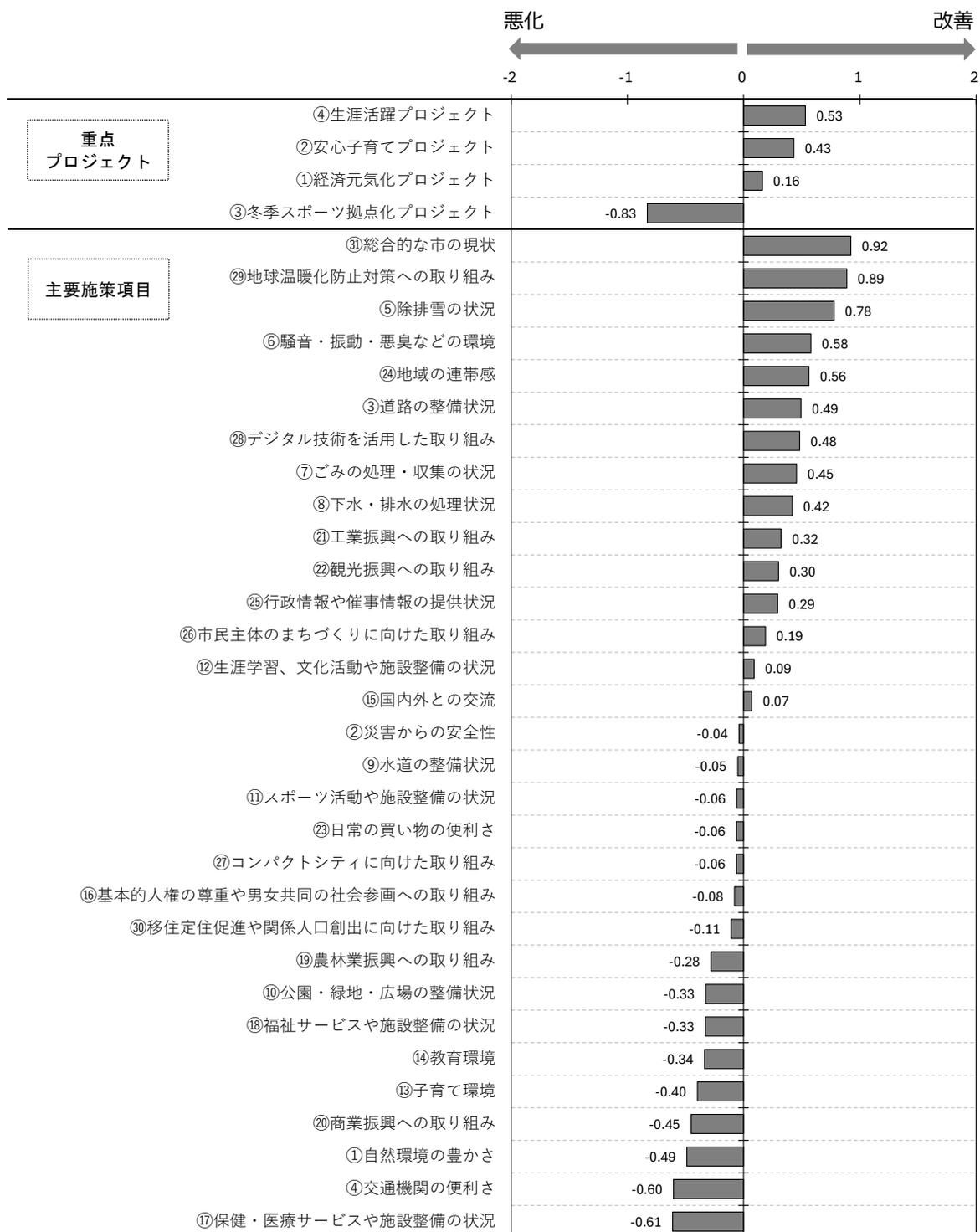
下位10項目		
順位	項目	評価点
1	④交通機関の便利さ	-2.59
2	③道路の整備状況	-1.61
3	②観光振興への取り組み	-1.05
4	⑳移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	-0.76
5	⑤除排雪の状況	-0.62
6	㉑商業振興への取り組み	-0.57
7	㉒総合的な市の現状	-0.41
8	㉓コンパクトシティに向けた取り組み	-0.34
9	㉔工業振興への取り組み	-0.33
10	㉕地球温暖化防止対策への取り組み	0.06

③ 満足度評価の前回調査との比較

満足度の評価点と前回調査(令和3年度に実施)の差異をグラフ化した結果は以下のとおりです。

今回新たに設定した「④生涯活躍プロジェクト」を除くと、重点プロジェクトの中では、「②安心子育てプロジェクト」は0.43ポイント改善されている一方、コロナ禍の影響を背景に「③冬季スポーツ拠点化プロジェクト」は0.83ポイント悪化しています。

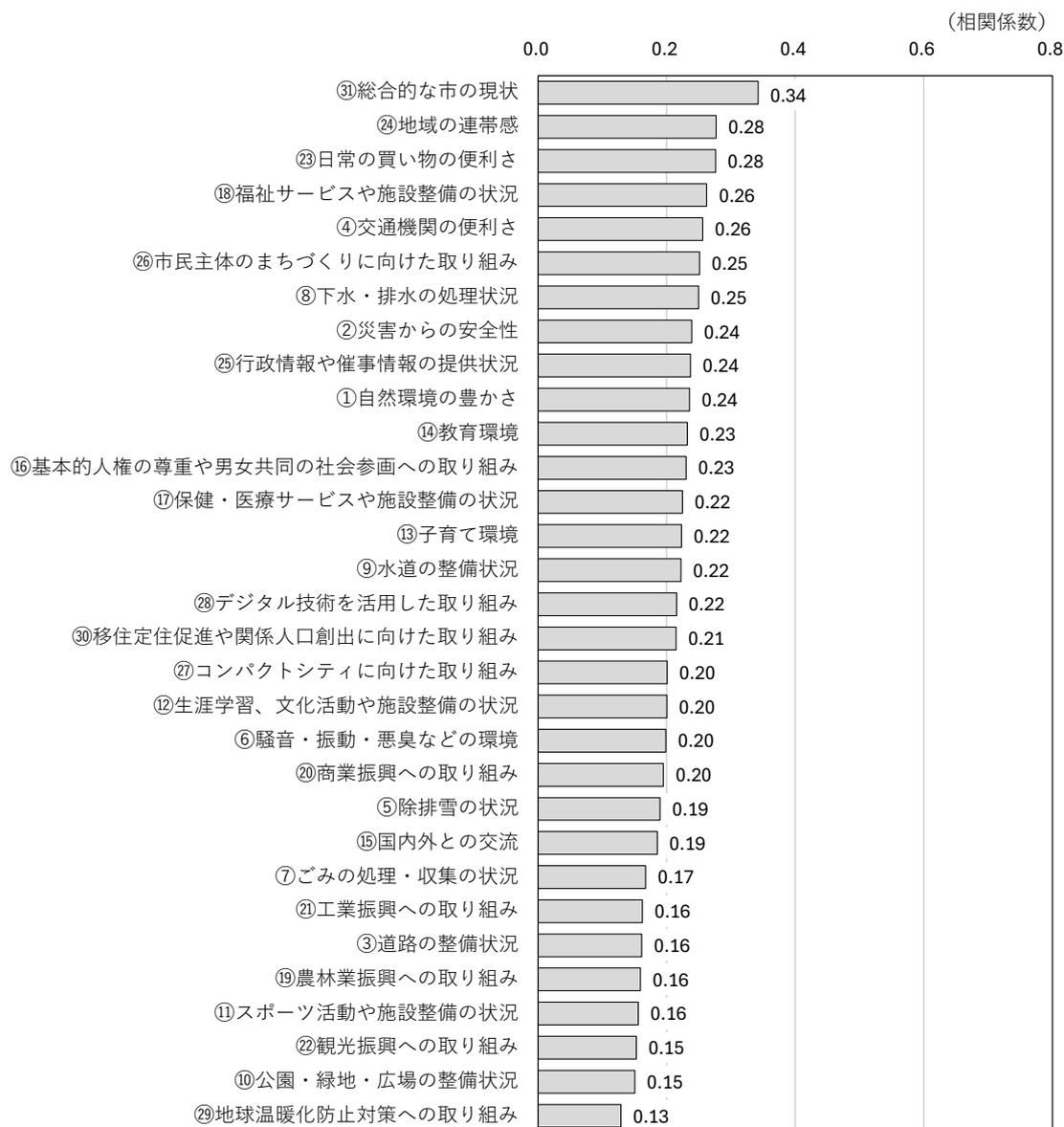
主要施策項目の中では、「⑩総合的な市の現状」「⑨地球温暖化防止対策への取り組み」「⑤除排雪の状況」で0.7ポイント以上の改善がみられますが、「④交通機関の便利さ」「⑩保健・医療サービスや施設整備の状況」は0.6ポイント以上悪化している状況です。



④ 満足度評価と幸福度の相関

「現在の幸福度」と満足度評価との相関分析を行ったところ、いずれの施策項目も弱い相関となりましたが、「③総合的な市の現状」が0.34で最も相関が高く、次いで「④地域の連帯感」「③日常の買い物の便利さ」(ともに0.28)が続いています。

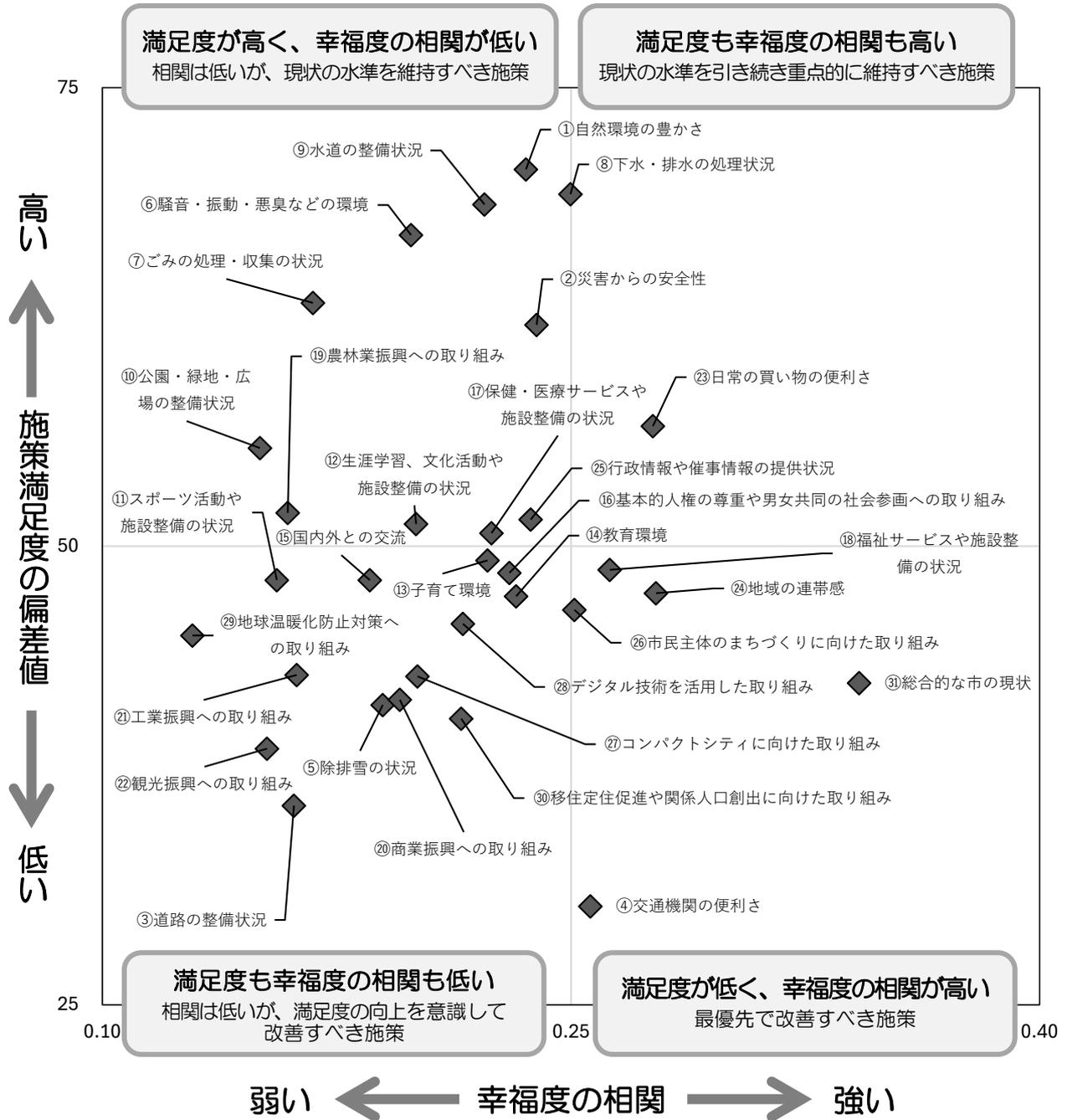
また、相関が最も弱いのが「⑲地球温暖化防止対策への取り組み」の0.13となっています。



※相関係数:0.7 以上は非常に強い相関、0.4 以上 0.7 未満は強い相関、0.4 未満は弱い相関

⑤ 満足度評価と幸福度の相関による分析

満足度評価と「幸福度」の相関を散布図にマッピングした結果が下記のグラフです。
 満足度評価が低く、幸福度の相関が比較的高い施策項目としては「③総合的な市の現状」や「④交通機関の便利さ」が挙げられ、これら施策項目の改善が市民の幸福度上昇につながると考えられます。

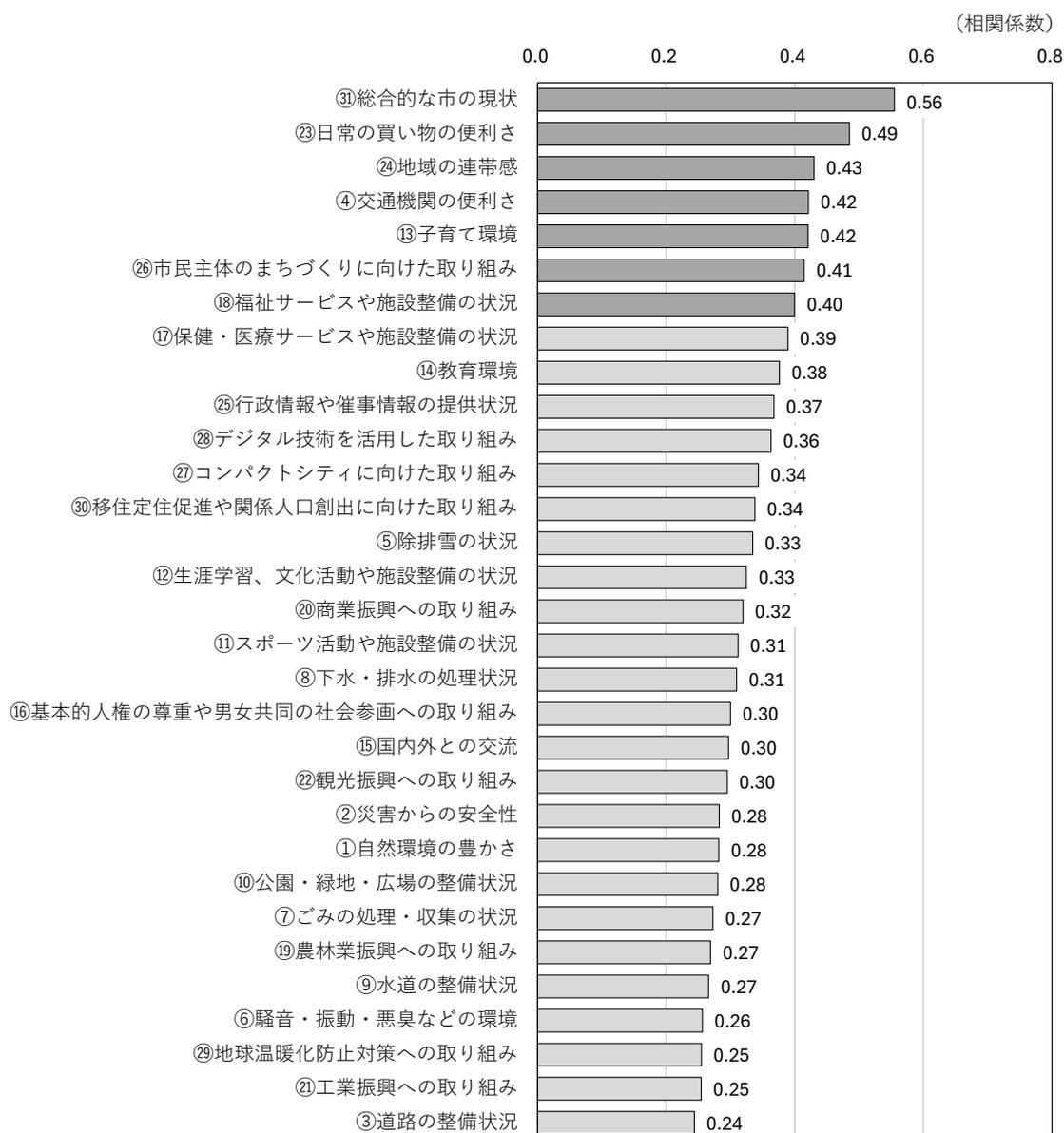


※相関係数:0.7 以上は非常に強い相関、0.4 以上 0.7 未満は強い相関、0.4 未満は弱い相関

⑥ 満足度評価と生活満足度の相関

「生活満足度」と満足度評価との相関分析を行ったところ、7つの施策項目に強い相関がみられ、その中でも「③総合的な市の現状」が0.56で最も相関が高く、次いで「②日常の買い物の便利さ」(0.49)、「④地域の連帯感」(ともに0.43)が続いています。

また、相関が最も弱いのが「③道路の整備状況」の0.24となっています。

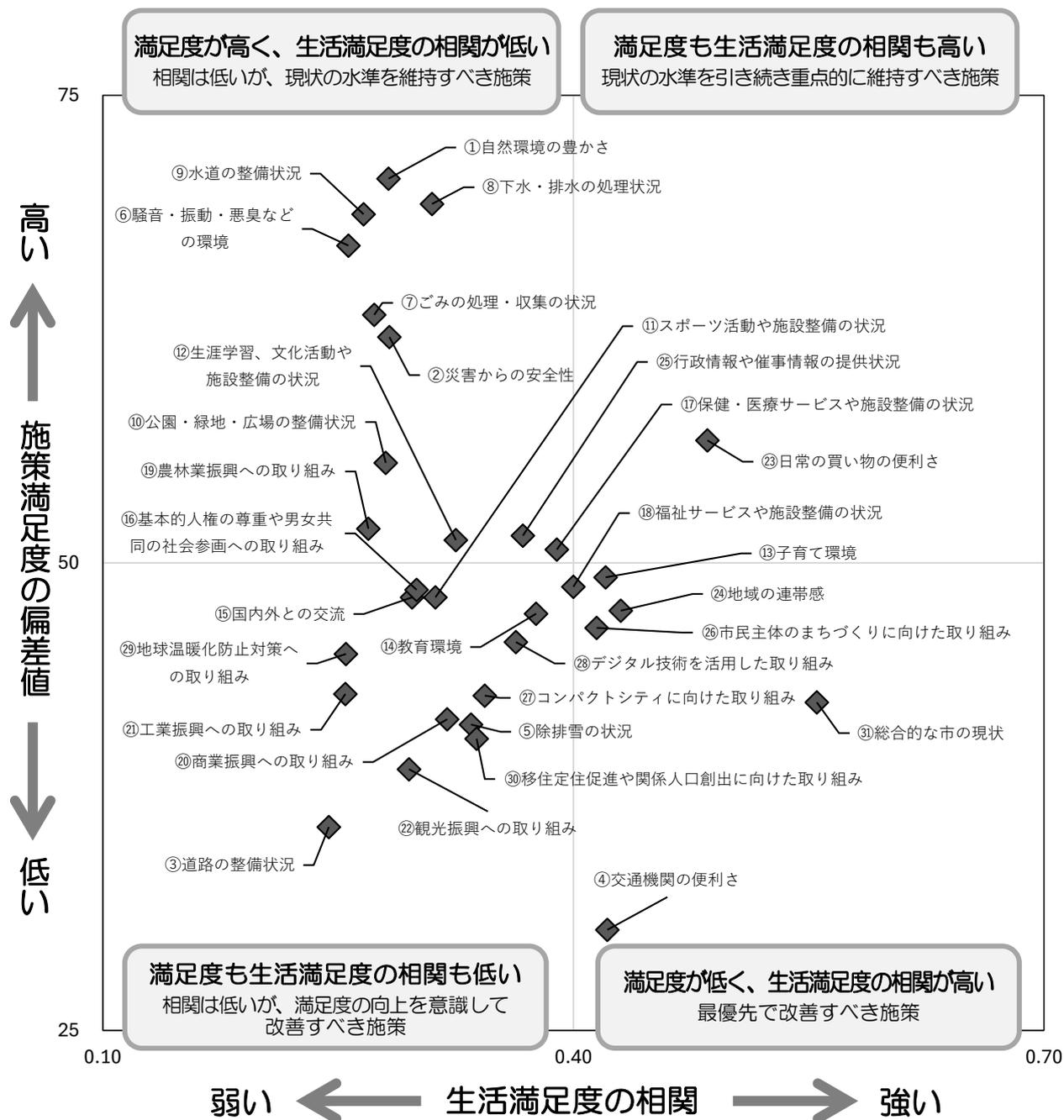


※相関係数:0.7 以上は非常に強い相関、0.4 以上 0.7 未満は強い相関、0.4 未満は弱い相関

⑦ 満足度評価と生活満足度の相関による分析

満足度評価と「生活満足度」の相関を散布図にマッピングした結果が下記のグラフです。

満足度評価が低く、生活満足度の相関が比較的高い施策項目としては「③総合的な市の現状」や「④交通機関の便利さ」が挙げられ、これら施策項目の改善が市民の生活満足度上昇につながると考えられます。

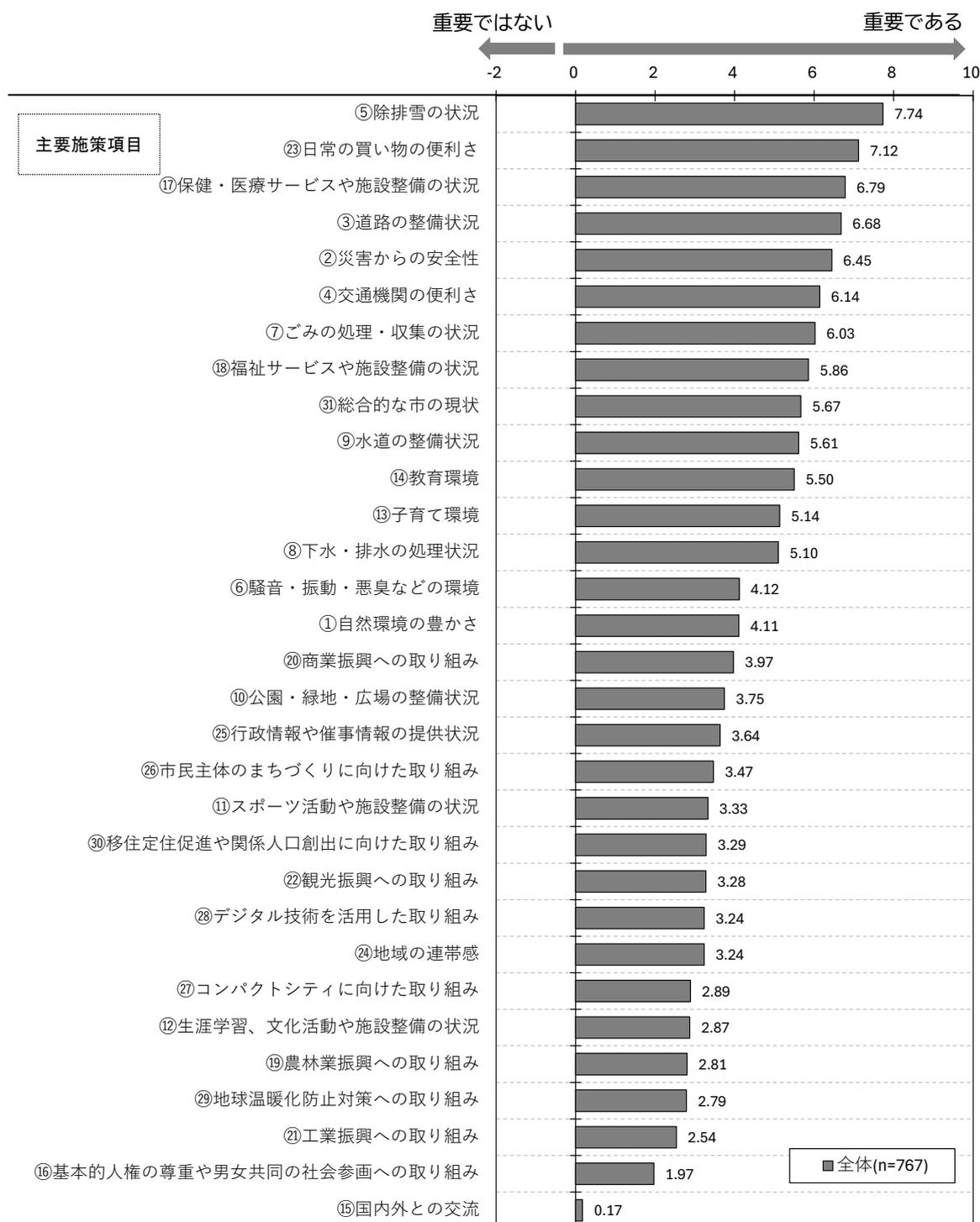


※相関係数: 0.7 以上は非常に強い相関、0.4 以上 0.7 未満は強い相関、0.4 未満は弱い相関

⑧ 重要度評価（全体）

重要度の評価点をみると、「⑤除排雪の状況」が7.74で最も高く、次いで「③日常の買い物の便利さ」が7.12で続いています。

重要度評価点が最も低いのは「⑮国内外との交流」の0.17で、全体の平均は4.36となっています。



⑨ 重要度評価（全体／上位・下位項目）

評価点による重要度においては、「⑤除排雪の状況」が7.74で最も評価点が高く、次いで「③日常の買い物の便利さ」(7.12)、「⑰保健・医療サービスや施設整備の状況」(6.79)が続いています。

一方、「⑮国内外との交流」は0.17で最も評価点が低く、次いで「⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み」(1.97)、「⑳工業振興への取り組み」(2.54)が続いています。

《重要度評価／全体》

上位10項目		
順位	項目	評価点
1	⑤除排雪の状況	7.74
2	③日常の買い物の便利さ	7.12
3	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	6.79
4	③道路の整備状況	6.68
5	②災害からの安全性	6.45
6	④交通機関の便利さ	6.14
7	⑦ごみの処理・収集の状況	6.03
8	⑱福祉サービスや施設整備の状況	5.86
9	③総合的な市の現状	5.67
10	⑨水道の整備状況	5.61

下位10項目		
順位	項目	評価点
1	⑮国内外との交流	0.17
2	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	1.97
3	⑳工業振興への取り組み	2.54
4	㉑地球温暖化防止対策への取り組み	2.79
5	⑲農林業振興への取り組み	2.81
6	⑫生涯学習、文化活動や施設整備の状況	2.87
7	㉒コンパクトシティに向けた取り組み	2.89
8	㉓地域の連帯感	3.24
8	㉔デジタル技術を活用した取り組み	3.24
10	㉕観光振興への取り組み	3.28

⑩ 今後力を入れるべき施策項目

施策項目の満足度と重要度に関して偏差値による分析※を行い、改善度を算出しました。

また、改善度がプラスの項目を“改善の優先度が高いと思われる項目”、マイナスの項目を“改善の優先度が低いと思われる項目”として整理しました。

この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位5項目を抽出しました。全体では「④交通機関の便利さ」「③道路の整備状況」「⑤除排雪の状況」の3項目が特に改善の優先度が高いと考えられます。

《改善の優先度が高い項目（改善度が高い上位5項目）》

地域	改善の優先度が非常に高い項目	改善度
全 体	④交通機関の便利さ	21.05
	③道路の整備状況	19.71
	⑤除排雪の状況	19.34
	③総合的な市の現状	10.53
	⑩保健・医療サービスや施設整備の状況	9.26

※偏差値による分析について

満足度評価と重要度評価それぞれの偏差値を算出し、重要度偏差値を横軸に、満足度偏差値を縦軸にとり、散布図に各項目をプロットします。

改善度は、プロットの原点(満足度偏差値 50 及び重要度偏差値 50 の位置)からの距離×修正指数で算出し、原点からの距離、修正指数は以下の計算式で算出します。

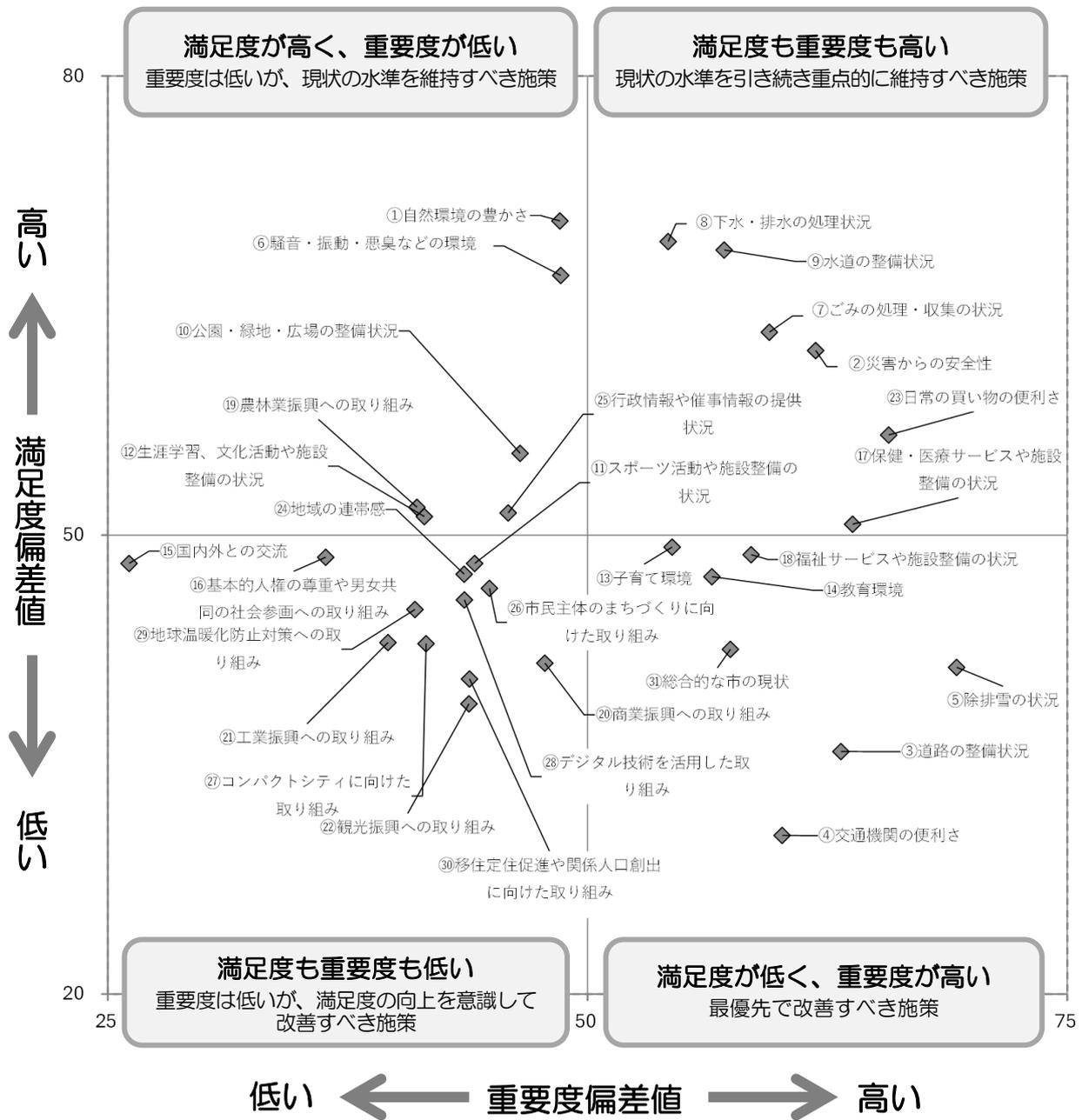
$$\text{距離} = \sqrt{(x - \bar{x})^2 + (y - \bar{y})^2} \quad \text{修正指数 } r = \frac{90 - \text{角度}}{90}$$

満足度偏差値と重要度偏差値（全体）

項目	満足度 偏差値	重要度 偏差値	改善度	改善の 優先順
①自然環境の豊かさ	48.56	70.55	-15.55	30
②災害からの安全性	61.88	62.08	-0.14	13
③道路の整備状況	63.21	35.87	19.34	3
④交通機関の便利さ	60.14	30.38	21.05	1
⑤除排雪の状況	69.23	41.35	19.71	2
⑥騒音・振動・悪臭などの環境	48.60	66.97	-12.99	29
⑦ごみの処理・収集の状況	59.48	63.27	-2.68	18
⑧下水・排水の処理状況	54.20	69.19	-10.60	28
⑨水道の整備状況	57.12	68.64	-8.15	26
⑩公園・緑地・広場の整備状況	46.48	55.35	-6.27	23
⑪スポーツ活動や施設整備の状況	44.12	48.16	-2.86	20
⑫生涯学習、文化活動や施設整備の状況	41.50	51.22	-6.87	24
⑬子育て環境	54.41	49.23	3.66	10
⑭教育環境	56.49	47.28	6.51	7
⑮国内外との交流	26.10	48.16	-15.60	31
⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	36.35	48.55	-8.63	27
⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	63.81	50.71	9.26	5
⑱福祉サービスや施設整備の状況	58.53	48.72	6.94	6
⑲農林業振興への取り組み	41.11	51.82	-7.58	25
⑳商業振興への取り組み	47.77	41.63	4.34	9
㉑工業振興への取り組み	39.59	42.99	-2.40	17
㉒観光振興への取り組み	43.83	38.97	3.43	11
㉓日常の買い物の便利さ	65.70	56.55	6.47	8
㉔地域の連帯感	43.56	47.44	-2.74	19
㉕行政情報や催事情報の提供状況	45.86	51.46	-3.96	22
㉖市民主体のまちづくりに向けた取り組み	44.89	46.53	-1.16	15
㉗コンパクトシティに向けた取り組み	41.58	42.91	-0.93	14
㉘デジタル技術を活用した取り組み	43.58	45.77	-1.55	16
㉙地球温暖化防止対策への取り組み	41.01	45.13	-2.92	21
㉚移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	43.86	40.60	2.30	12
㉛総合的な市の現状	57.45	42.55	10.53	4

《 満足度偏差値と重要度偏差値の相関 》

【全 体】

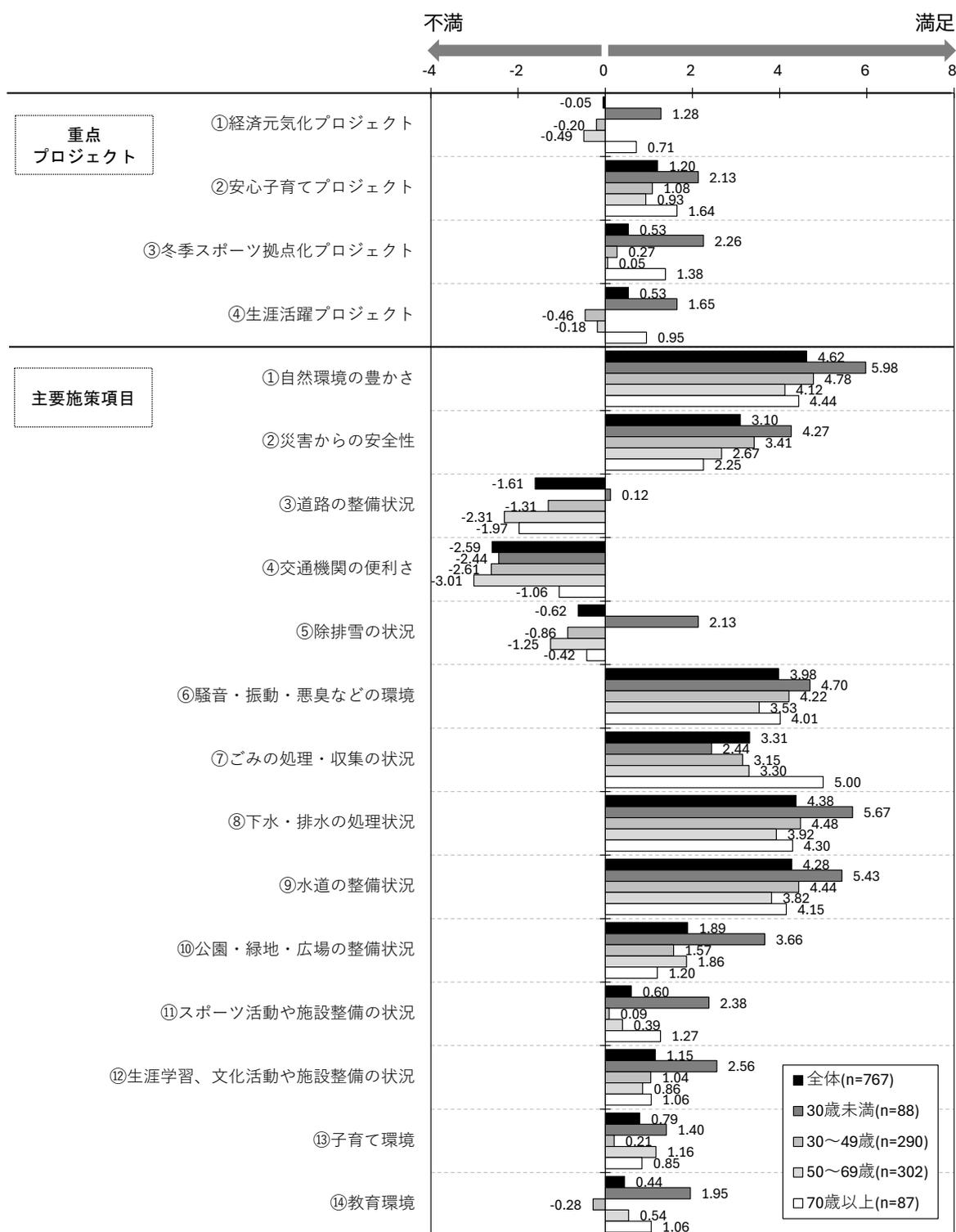


(5) 評価点による評価(年齢階級別)

① 満足度評価

満足度の評価点を年齢階級別で見ると、30歳未満はほかの年齢階級と比べてプラスになっている施策項目が多い状況にあります。

年齢階級別に「③総合的な市の現状」の評価点をみると、30～49歳が-0.52、50～69歳が-0.66と低い状況です。



② 満足度評価の上位・下位項目

評価点による満足度を年代別でも「①自然環境の豊かさ」「⑧下水・排水の処理状況」「⑨水道の整備状況」「⑥騒音・振動・悪臭などの環境」などが上位となっており、自然環境および生活環境に関する項目で満足度が高い状況です。

全体との差異をみると、30歳未満は「①自然環境の豊かさ」「⑧下水・排水の処理状況」などが全体的に高くなっています。70歳以上は「⑦ごみの処理・収集の状況」特に高くなっています。

≪満足度が高い5項目≫

年代	順位	上位 5項目	評価点	全体との差異
全 体	1	①自然環境の豊かさ	4.62	
	2	⑧下水・排水の処理状況	4.38	
	3	⑨水道の整備状況	4.28	
	4	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	3.98	
	5	⑦ごみの処理・収集の状況	3.31	
30歳未満	1	①自然環境の豊かさ	5.98	1.36
	2	⑧下水・排水の処理状況	5.67	1.29
	3	⑨水道の整備状況	5.43	1.15
	4	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	4.70	0.72
	5	②災害からの安全性	4.27	1.17
30～49歳	1	①自然環境の豊かさ	4.78	0.16
	2	⑧下水・排水の処理状況	4.48	0.10
	3	⑨水道の整備状況	4.44	0.16
	4	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	4.22	0.24
	5	②災害からの安全性	3.41	0.31
50～69歳	1	①自然環境の豊かさ	4.12	-0.50
	2	⑧下水・排水の処理状況	3.92	-0.45
	3	⑨水道の整備状況	3.82	-0.46
	4	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	3.53	-0.45
	5	⑦ごみの処理・収集の状況	3.30	-0.01
70歳以上	1	⑦ごみの処理・収集の状況	5.00	1.69
	2	①自然環境の豊かさ	4.44	-0.18
	3	⑧下水・排水の処理状況	4.30	-0.08
	4	⑨水道の整備状況	4.15	-0.13
	5	⑥騒音・振動・悪臭などの環境	4.01	0.03

満足度が低い項目をみると、いずれの年齢も「④交通機関の便利さ」「③道路の整備状況」「②観光振興への取り組み」が下位となっています。

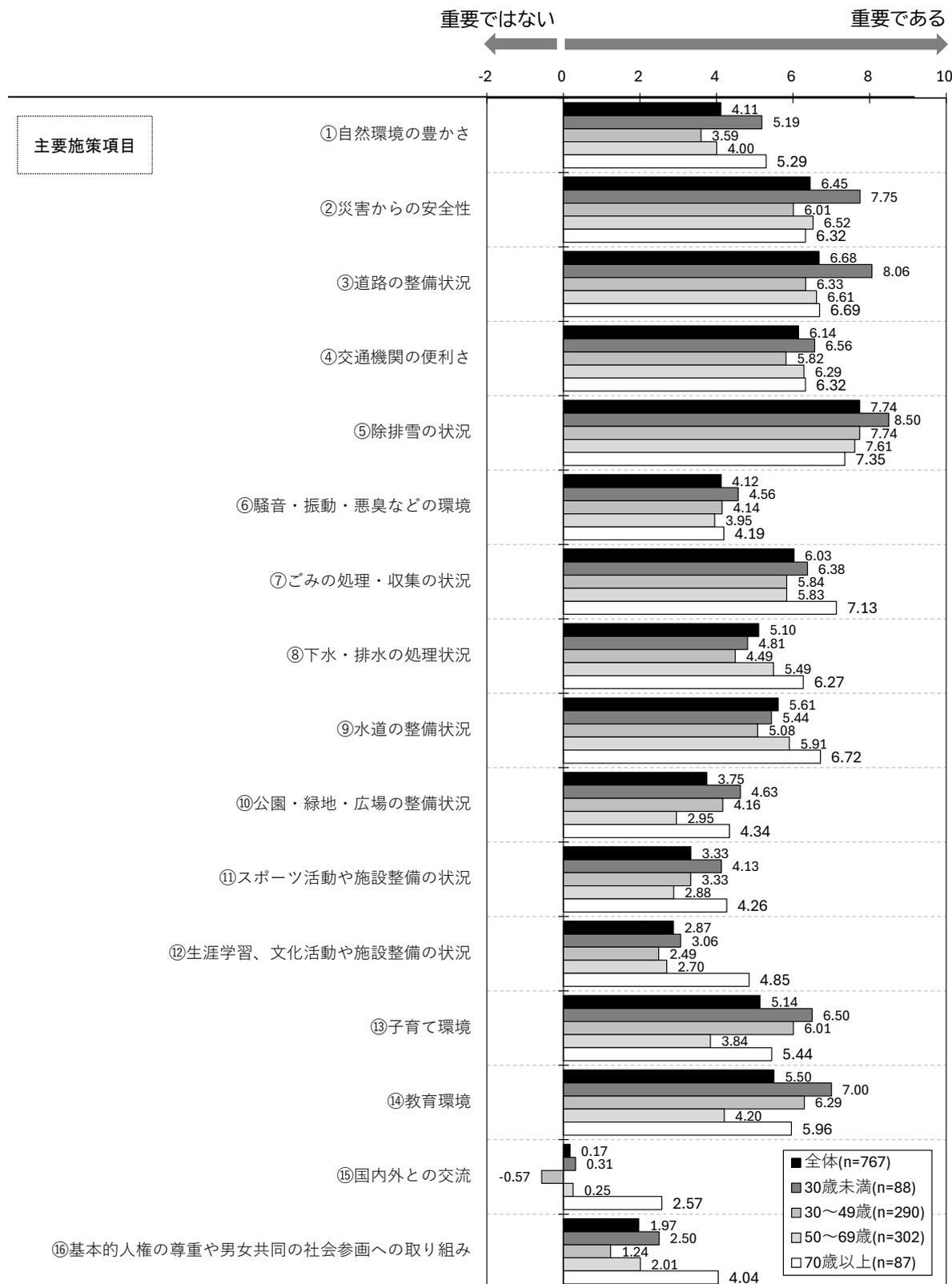
全体との差異をみると、30歳未満は「③日常の買い物の便利さ」特に低くなっています。50～69歳は「③道路の整備状況」「⑩商業振興への取り組み」が全体に比べてやや低く、70歳以上は「⑦コンパクトシティに向けた取り組み」が全体に比べてやや低くなっています。

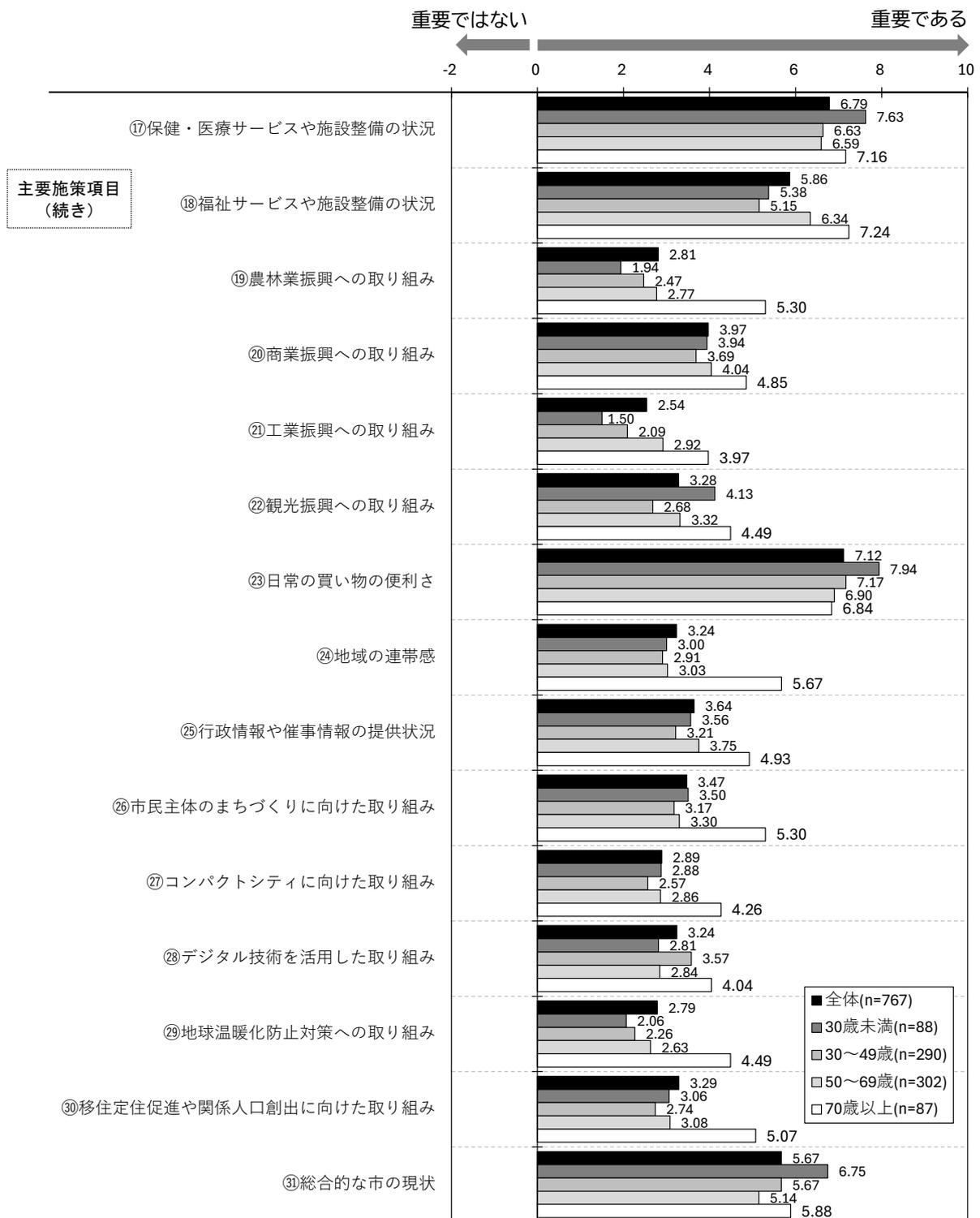
≪満足度が低い5項目≫

年代	順位	下位 5項目	評価点	全体との差異
全 体	1	④交通機関の便利さ	-2.59	/
	2	③道路の整備状況	-1.61	
	3	②観光振興への取り組み	-1.05	
	4	⑩移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	-0.76	
	5	⑤除排雪の状況	-0.62	
30歳未満	1	④交通機関の便利さ	-2.44	0.15
	2	③道路の整備状況	0.12	1.73
	3	⑩総合的な市の現状	0.12	0.53
	4	②観光振興への取り組み	0.30	1.35
	5	③日常の買い物の便利さ	0.67	-1.44
30～49歳	1	④交通機関の便利さ	-2.61	-0.02
	2	③道路の整備状況	-1.31	0.30
	3	⑤除排雪の状況	-0.86	-0.24
	4	②観光振興への取り組み	-0.58	0.47
	5	⑩総合的な市の現状	-0.52	-0.11
50～69歳	1	④交通機関の便利さ	-3.01	-0.42
	2	③道路の整備状況	-2.31	-0.70
	3	②観光振興への取り組み	-1.88	-0.83
	4	⑩移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	-1.47	-0.71
	5	⑩商業振興への取り組み	-1.40	-0.83
70歳以上	1	③道路の整備状況	-1.97	-0.36
	2	⑦コンパクトシティに向けた取り組み	-1.27	-0.93
	3	⑩商業振興への取り組み	-1.20	-0.63
	4	②観光振興への取り組み	-1.13	-0.08
	5	⑩移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	-1.13	-0.37

③ 重要度評価

重要度の評価点を年齢階級別で見ると、いずれの年齢階級も主要施策項目別の重要度の傾向は似ていますが、「⑮国内外との交流」及び「⑯農林業振興への取り組み」は年齢階級ごとの最大値と最小値の差異が3.0を超えており、重要度の世代間格差が特に大きい項目となっています。





④ 重要度評価の上位・下位項目

重要度の高い項目を年代別にみると、いずれの年代でも「⑤除排雪の状況」が最も高く、生活基盤を安定させるサービスへの関心の強さがうかがえます。また、「⑰保健・医療サービスや施設整備の状況」「㉓日常の買い物の便利さ」など日常生活を支える項目も共通して上位に挙がっています。

全体との差異をみると、30歳未満では「②災害からの安全性」「③道路の整備状況」が特に高く、交通インフラや防災面への意識が他の年代より強い点が特徴です。

一方、70歳以上では「⑦ごみの処理・収集の状況」「⑱福祉サービスや施設整備の状況」が全体より高く、高齢期の暮らしを支えるサービスを重視する傾向がみられます。

《重要度が高い5項目》

年代	順位	上位 5項目	評価点	全体との差異
全 体	1	⑤除排雪の状況	7.74	
	2	㉓日常の買い物の便利さ	7.12	
	3	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	6.79	
	4	③道路の整備状況	6.68	
	5	②災害からの安全性	6.45	
30歳未満	1	⑤除排雪の状況	8.50	0.76
	2	③道路の整備状況	8.06	1.38
	3	㉓日常の買い物の便利さ	7.94	0.82
	4	②災害からの安全性	7.75	1.30
	5	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	7.63	0.84
30～49歳	1	⑤除排雪の状況	7.74	0.00
	2	㉓日常の買い物の便利さ	7.17	0.05
	3	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	6.63	-0.16
	4	③道路の整備状況	6.33	-0.35
	5	⑭教育環境	6.29	0.79
50～69歳	1	⑤除排雪の状況	7.61	-0.13
	2	㉓日常の買い物の便利さ	6.90	-0.22
	3	③道路の整備状況	6.61	-0.07
	4	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	6.59	-0.20
	5	②災害からの安全性	6.52	0.07
70歳以上	1	⑤除排雪の状況	7.35	-0.39
	2	⑱福祉サービスや施設整備の状況	7.24	1.38
	3	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	7.16	0.37
	4	⑦ごみの処理・収集の状況	7.13	1.10
	5	㉓日常の買い物の便利さ	6.84	-0.28

評価点による重要度の低い項目をみると、いずれの年代でも「⑮国内外との交流」と「⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み」が共通して下位に位置しています。

全体との差異をみると、30歳未満では「⑳工業振興への取り組み」が特に低くなっています。

そのほか、30歳未満の「㉑農林業振興への取り組み」、30～49歳の「⑮国内外との交流」、「⑯基本的人権の尊重や男女共同参画」が全体より低く評価されています。

《重要度が低い5項目》

年代	順位	下位 5項目	評価点	全体との差異
全 体	1	㉑地球温暖化防止対策への取り組み	-1.51	/
	2	㉒移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	-1.26	
	3	⑮国内外との交流	0.17	
	4	㉓総合的な市の現状	0.79	
	5	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	1.97	
30歳未満	1	⑮国内外との交流	0.31	0.14
	2	㉑工業振興への取り組み	1.50	-1.04
	3	㉑農林業振興への取り組み	1.94	-0.87
	4	㉑地球温暖化防止対策への取り組み	2.06	3.57
	5	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	2.50	0.53
30～49歳	1	⑮国内外との交流	-0.57	-0.74
	2	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	1.24	-0.73
	3	㉑工業振興への取り組み	2.09	-0.45
	4	㉑地球温暖化防止対策への取り組み	2.26	3.77
	5	㉑農林業振興への取り組み	2.47	-0.34
50～69歳	1	⑮国内外との交流	0.25	0.08
	2	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	2.01	0.04
	3	㉑地球温暖化防止対策への取り組み	2.63	4.14
	4	㉒生涯学習、文化活動や施設整備の状況	2.70	-0.17
	5	㉑農林業振興への取り組み	2.77	-0.04
70歳以上	1	⑮国内外との交流	2.57	2.40
	2	㉑工業振興への取り組み	3.97	1.43
	3	㉒デジタル技術を活用した取り組み	4.04	0.80
	4	⑯基本的人権の尊重や男女共同の社会参画への取り組み	4.04	2.07
	5	㉓騒音・振動・悪臭などの環境	4.19	0.07

⑤ 今後力を入れるべき施策項目

施策項目の満足度と重要度を基に算出した改善度を年代別に分析したところ、いずれも「③道路の整備状況」「④交通機関の便利さ」「⑤除排雪の状況」の改善度が高い結果となっています。

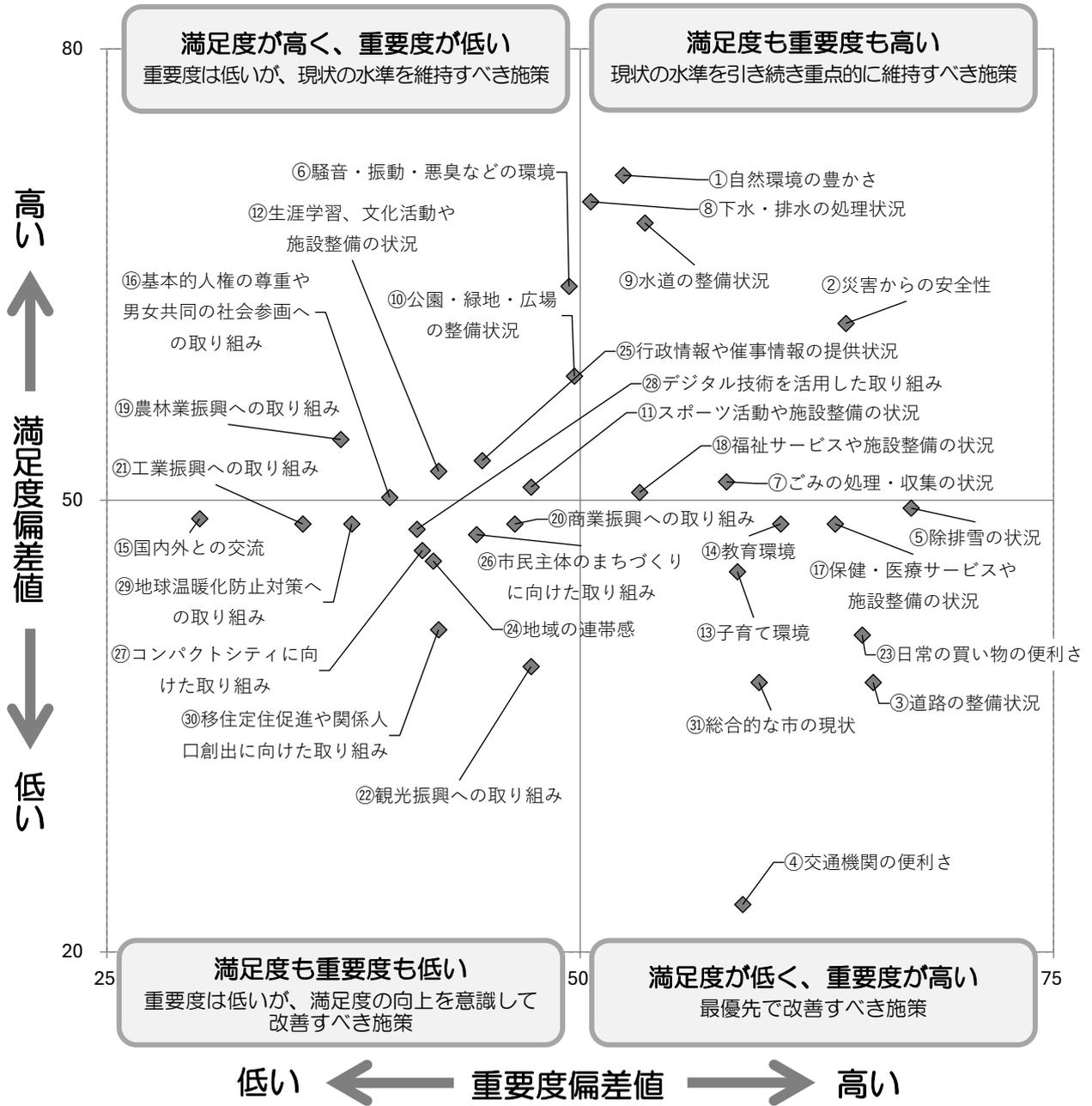
全体との差異をみると、30歳未満は「②日常の買い物の便利さ」「③総合的な市の現状」、30～49歳は「③総合的な市の現状」、70歳以上は「⑩移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み」の改善度が非常に高くなっています。

《改善の優先度が高い項目（改善度が高い上位5項目）》

年代	順位	改善の優先度が非常に高い項目	改善度	全体との差異
全体	1	④交通機関の便利さ	20.68	
	2	③道路の整備状況	18.45	
	3	⑤除排雪の状況	17.80	
	4	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	8.27	
	5	⑱福祉サービスや施設整備の状況	6.85	
30歳未満	1	④交通機関の便利さ	25.05	4.37
	2	③道路の整備状況	19.50	1.05
	3	②日常の買い物の便利さ	16.86	11.70
	4	③総合的な市の現状	15.24	19.58
	5	⑤除排雪の状況	12.73	-5.07
30～49歳	1	⑤除排雪の状況	20.28	2.48
	2	④交通機関の便利さ	19.95	-0.73
	3	③道路の整備状況	16.81	-1.64
	4	⑭教育環境	12.71	5.94
	5	③総合的な市の現状	11.33	15.67
50～69歳	1	④交通機関の便利さ	21.63	0.95
	2	⑤除排雪の状況	20.34	2.54
	3	③道路の整備状況	20.31	1.86
	4	⑱福祉サービスや施設整備の状況	9.47	2.62
	5	⑰保健・医療サービスや施設整備の状況	9.21	0.94
70歳以上	1	③道路の整備状況	19.35	0.90
	2	⑤除排雪の状況	16.19	-1.61
	3	④交通機関の便利さ	14.44	-6.24
	4	⑱福祉サービスや施設整備の状況	10.39	3.54
	5	⑩移住定住促進や関係人口創出に向けた取り組み	9.70	18.92

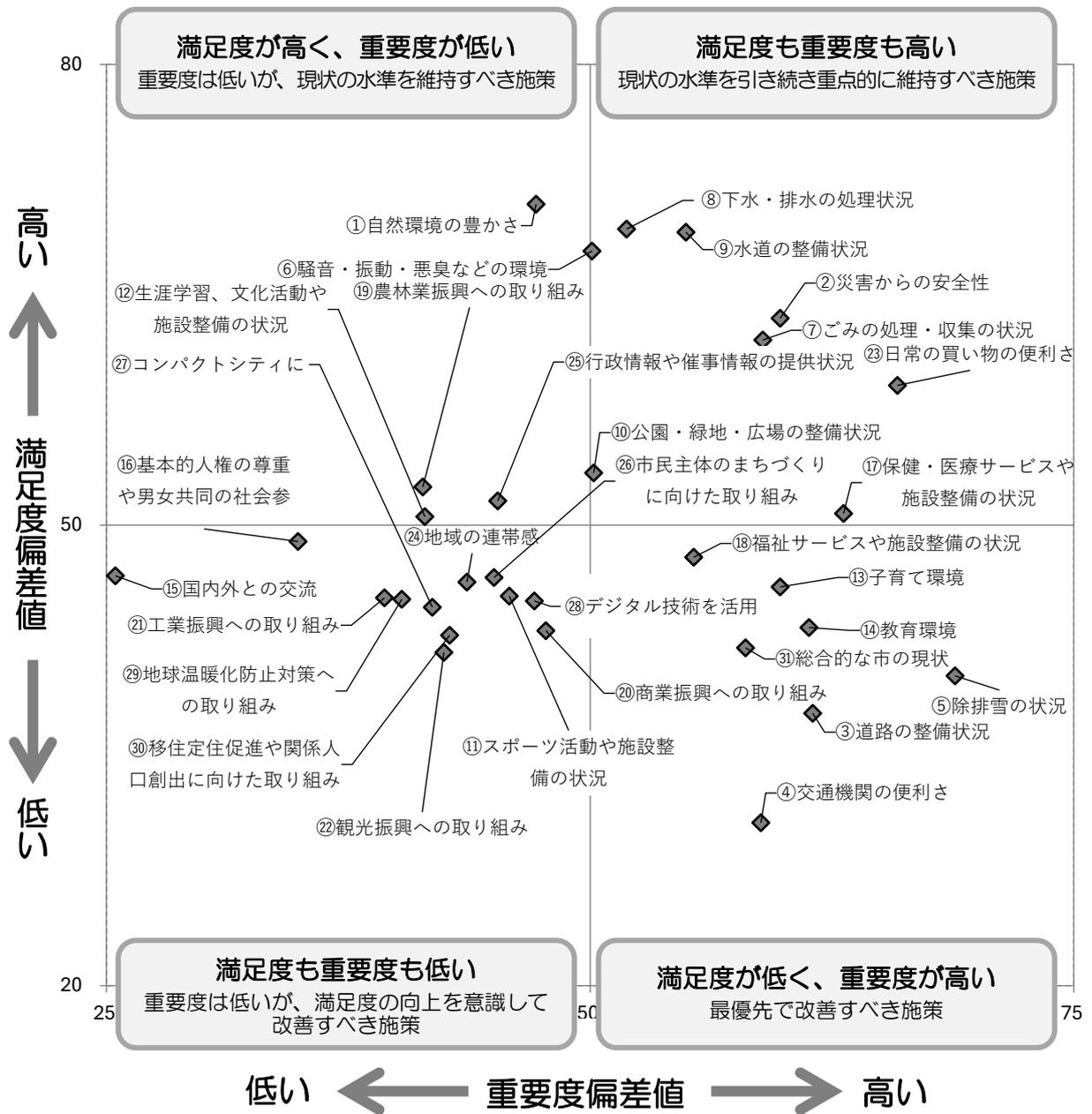
《 年齢階級別 満足度偏差値と重要度偏差値の相関 》

【30歳未満】



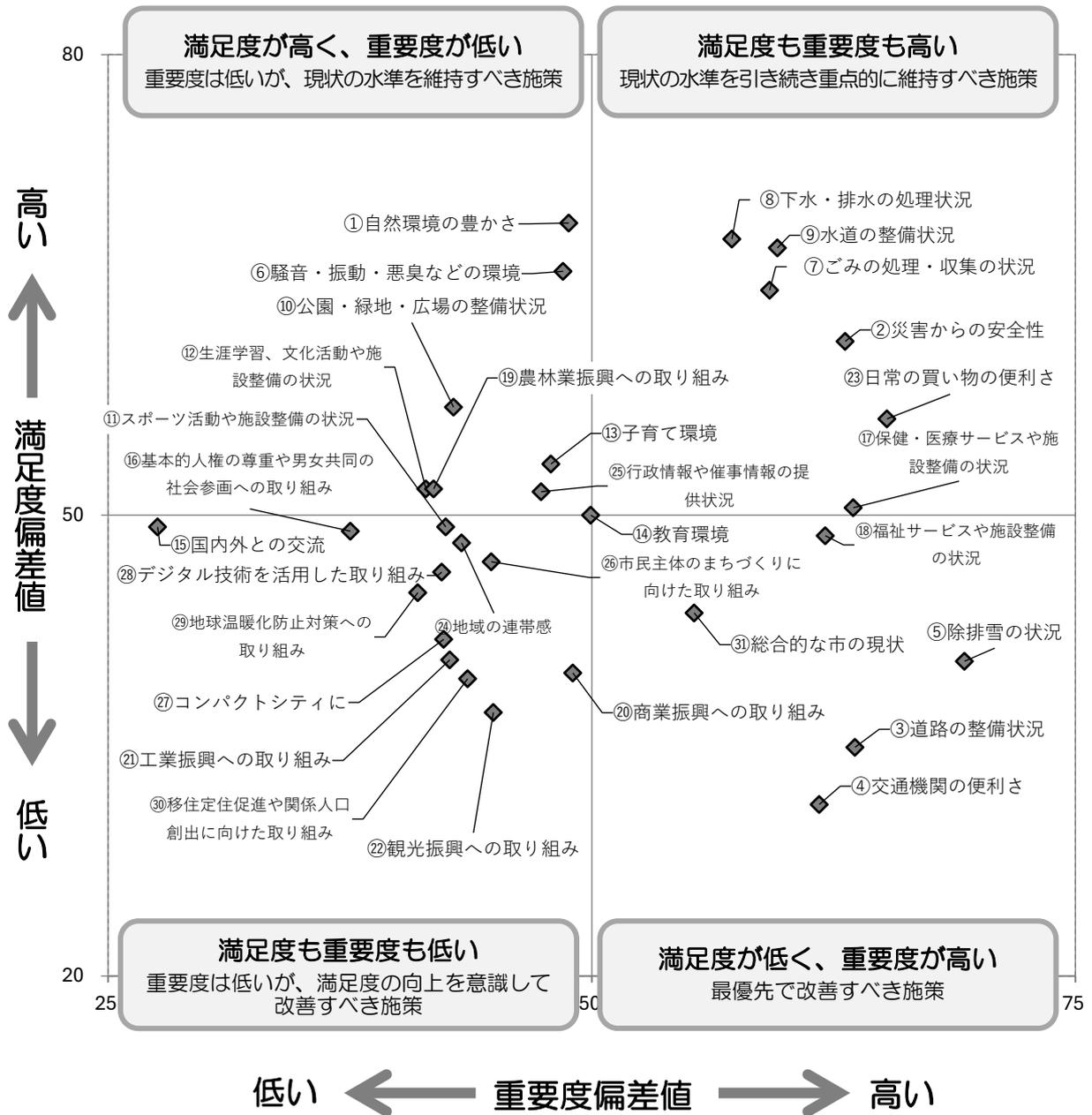
《 年齢階級別 満足度偏差値と重要度偏差値の相関 》

【30～49歳】



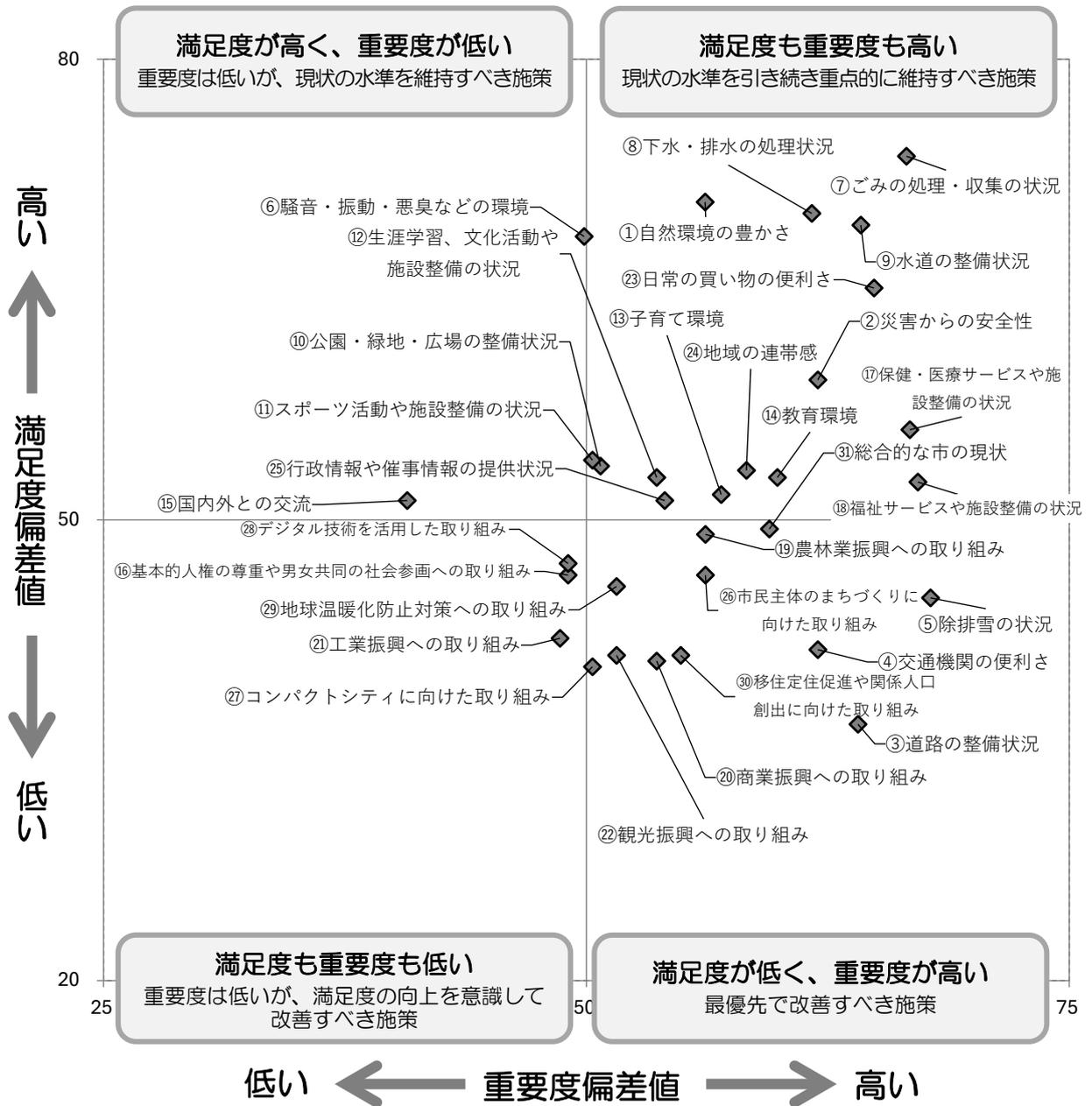
《 年齢階級別 満足度偏差値と重要度偏差値の相関 》

【50～69歳】



《 年齢階級別 満足度偏差値と重要度偏差値の相関 》

【70歳以上】



6. 市が進めるべき施策について

(1) 今後力を注ぐべき取組【複数回答】

① 全体の集計結果

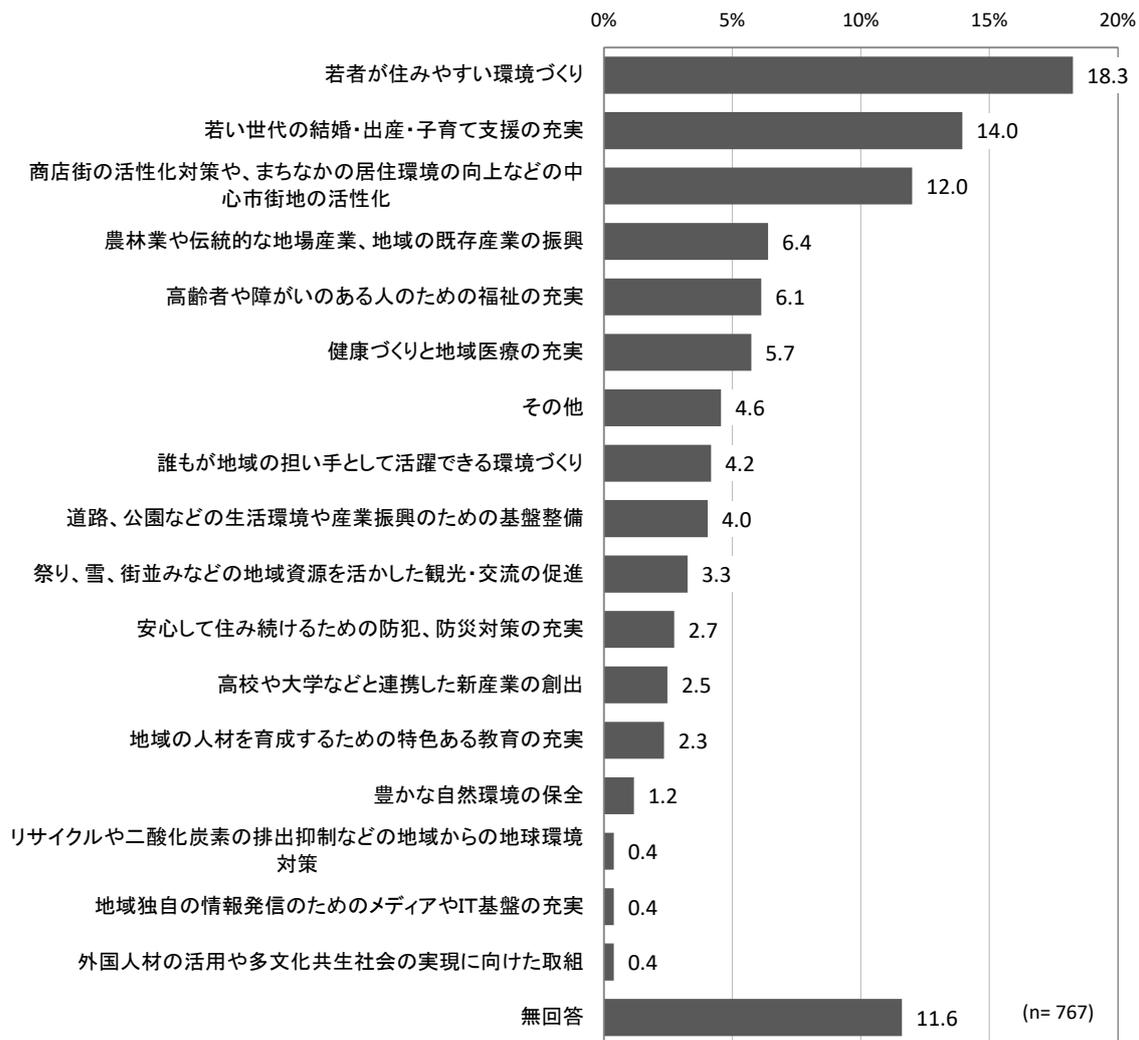
まちづくりを進めるために今後力を注ぐべき取組について、重要度1位の項目は「若者が住みやすい環境づくり」(18.3%)が最も多く、次いで「若い世代の結婚・出産・子育て支援の充実」(14.0%)、「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(12.0%)が続いています。

重要度2位は「若者が住みやすい環境づくり」(15.0%)、「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(12.4%)が多くなっています。

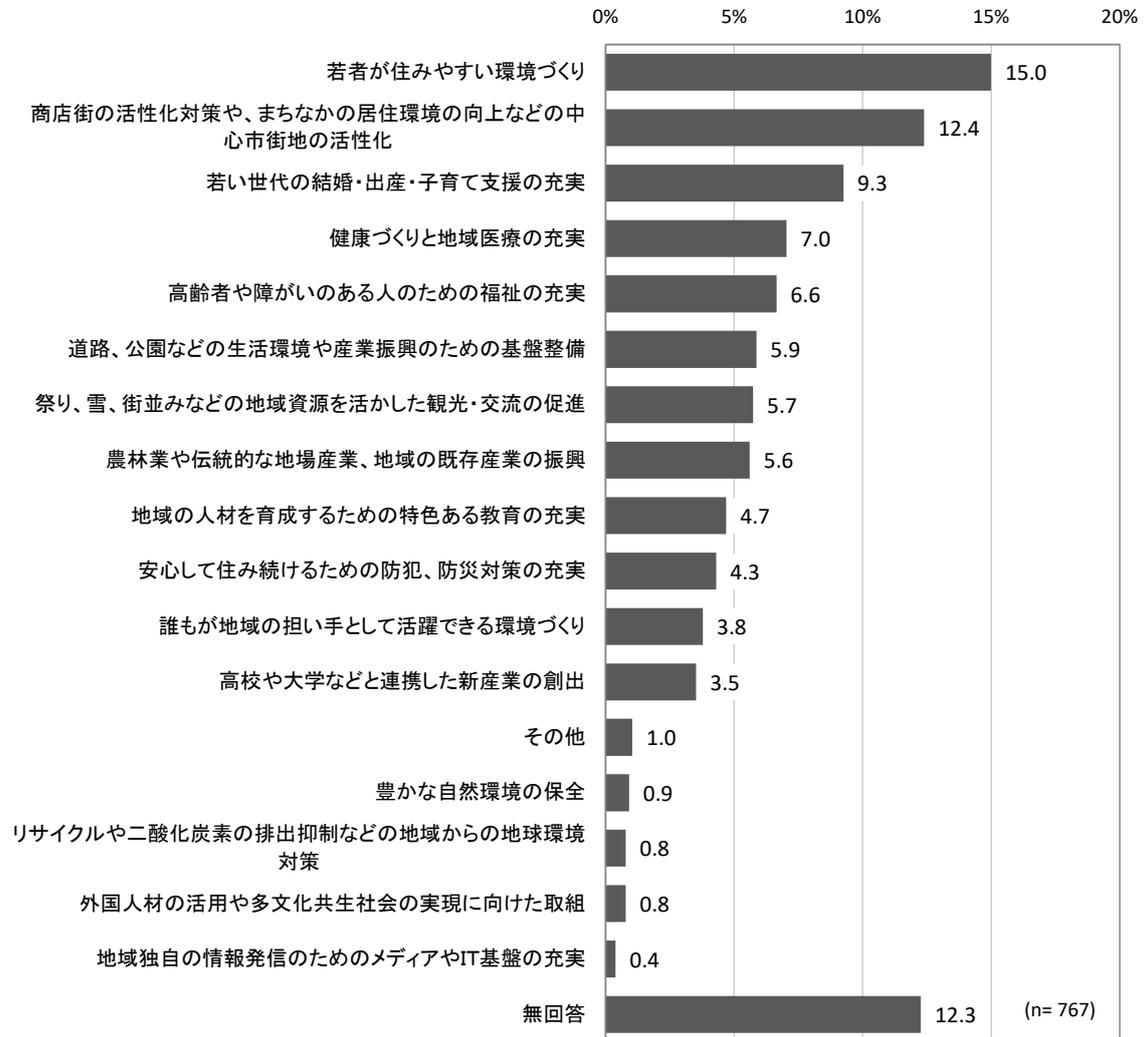
重要度3位は「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(10.4%)、「若者が住みやすい環境づくり」(9.1%)が多くなっています。

問18 名寄市に住み続けたい、移り住みたいと思えるような、特色を活かしたまちづくりを進めるためには、今後どのようなことに力を注ぐべきと考えますか。あてはまる取組を重要度が高い順に3つまで選んでください。

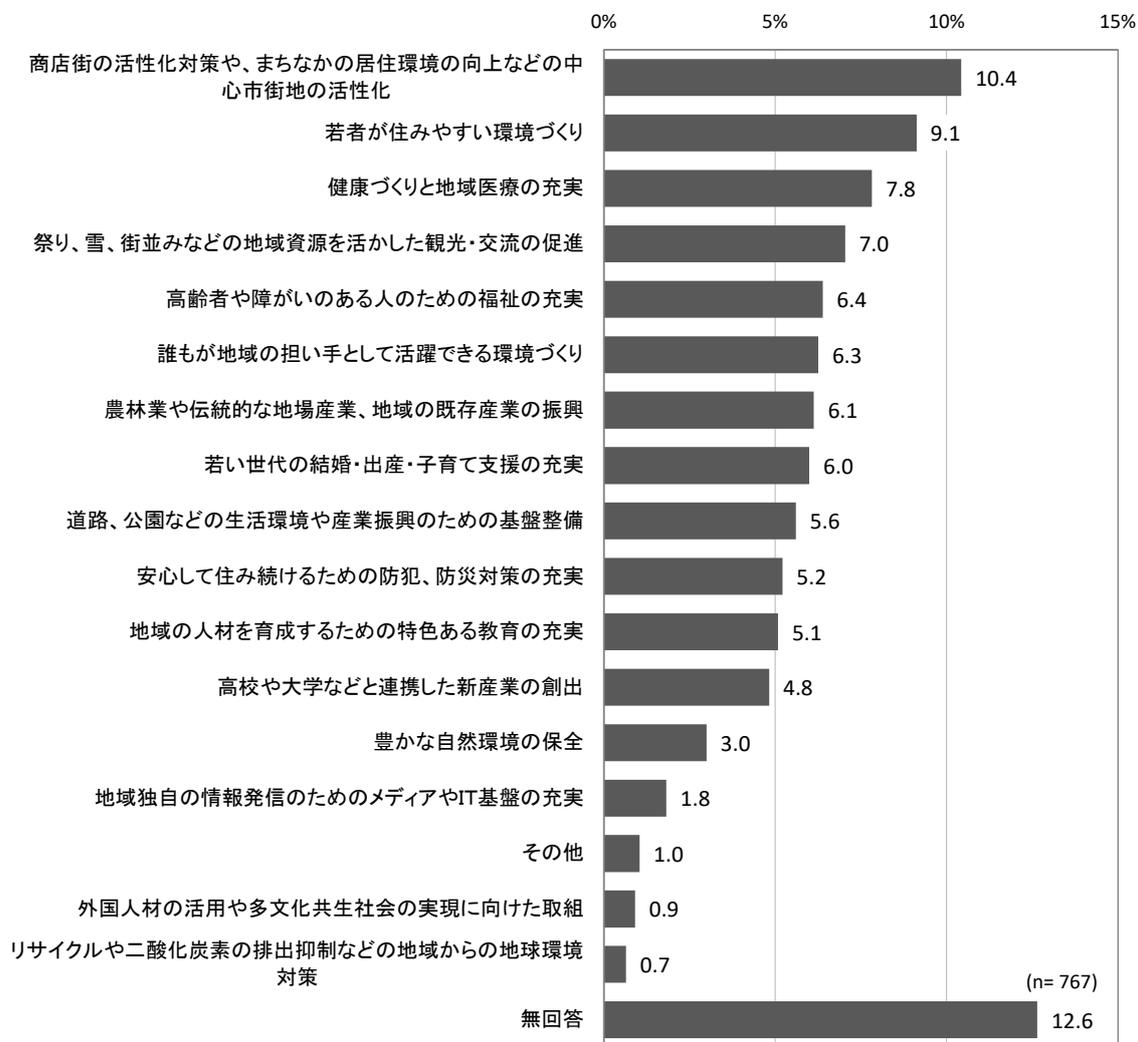
《 重要度1位 》



《 重要度2位 》



《 重要度3位 》



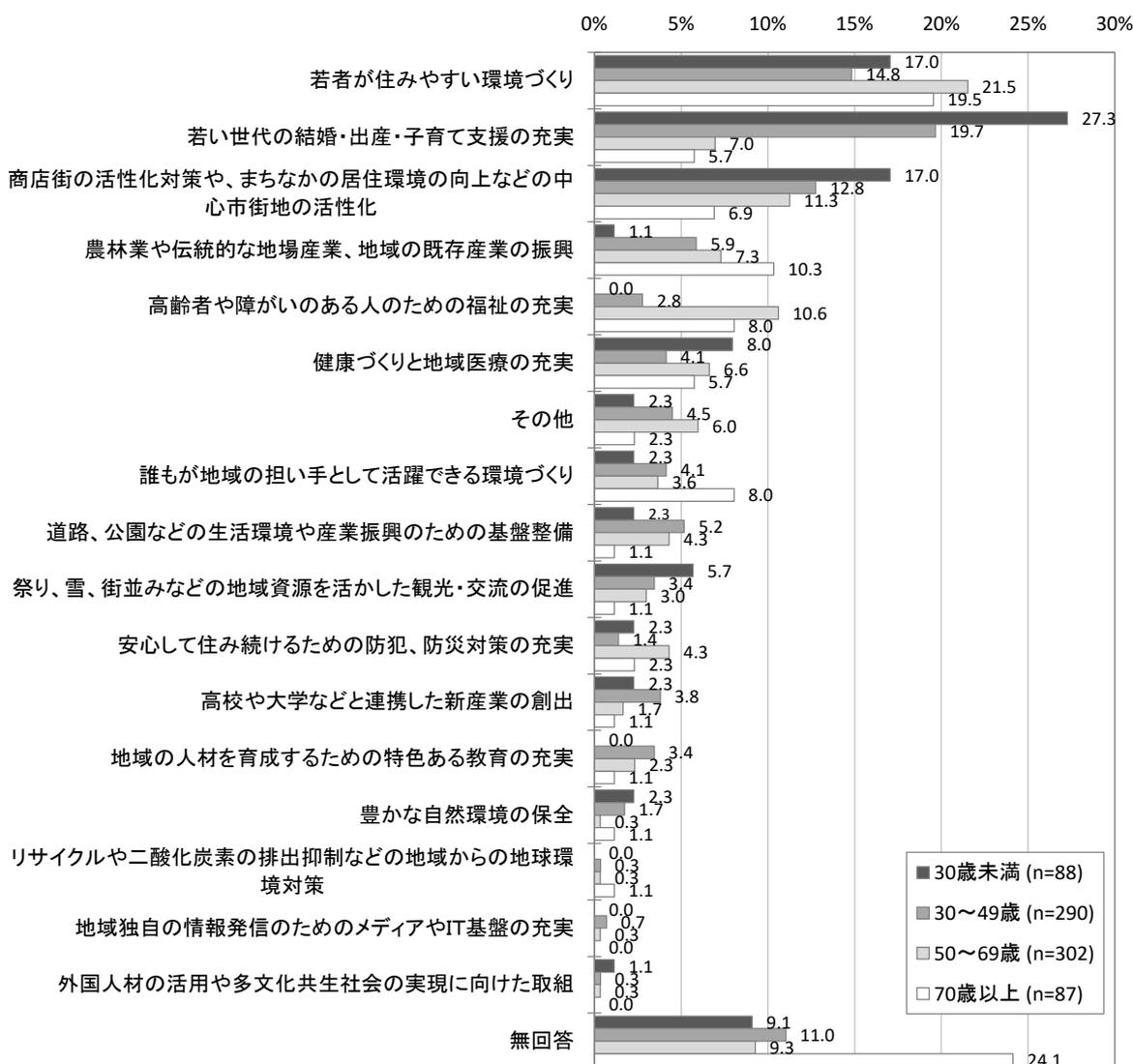
② 年齢階級別の集計結果

年齢階級別に重要度1位をみると、30歳未満、30～49歳は「若い世代の結婚・出産・子育て支援の充実」が最も多く、次いで「若者が住みやすい環境づくり」が続いています。また、「若い世代の結婚・出産・子育て支援の充実」は30歳未満(27.3%)が他の年齢と比べて多くなっています。

50～69歳は「若者が住みやすい環境づくり」(21.5%)が最も多く、次いで「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(11.3%)が続いています。

70歳以上は「若者が住みやすい環境づくり」(19.5%)が最も多く、次いで「農林業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興」(10.3%)が続いています。

《 重要度1位 》

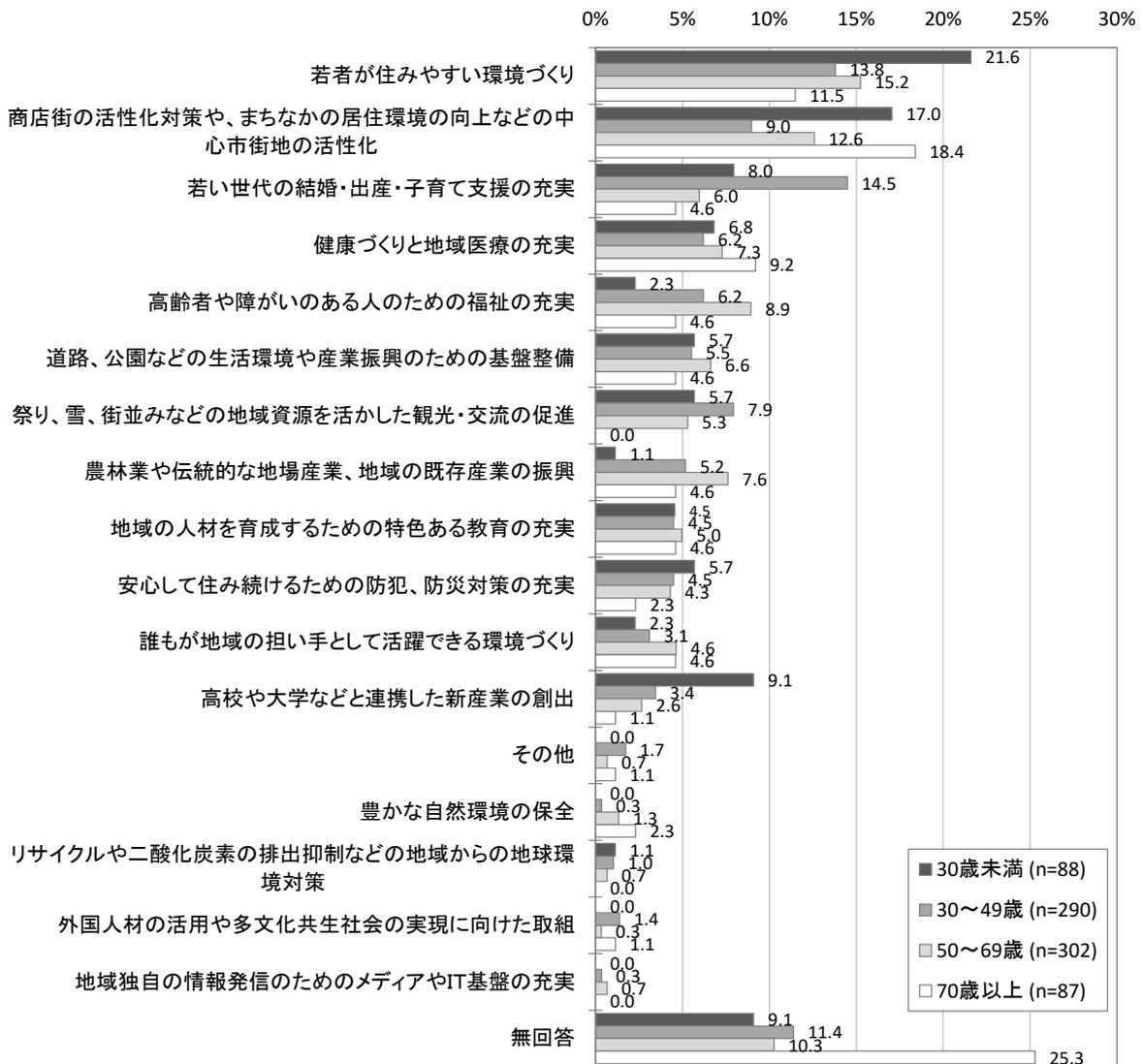


年齢階級別に重要度2位をみると、30歳未満、50～69歳は「若者が住みやすい環境づくり」が最も多く、次いで「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」が続いています。また、「若者が住みやすい環境づくり」は30歳未満(21.6%)が他の年齢と比べて多くなっています。

30～49歳は「若い世代の結婚・出産・子育て支援の充実」(14.5%)が最も多く、次いで「若者が住みやすい環境づくり」(13.8%)が続いています。

70歳以上は「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(18.4%)が最も多く、次いで「若者が住みやすい環境づくり」(11.5%)が続いています。

《 重要度2位 》

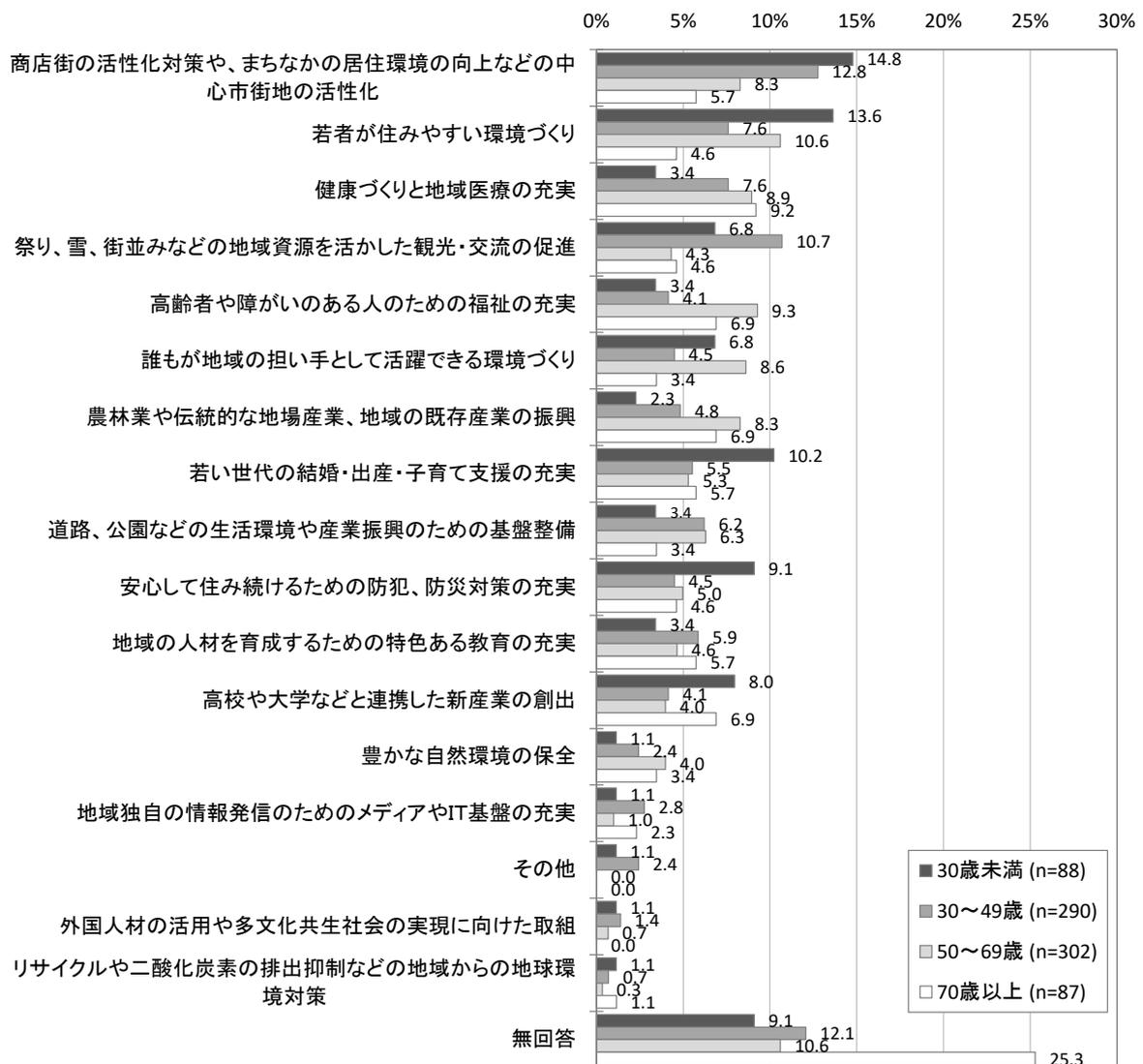


年齢階級別に重要度3位をみると、30歳未満、30～49歳は「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」が最も多くなっています。次いで30歳未満は「若者が住みやすい環境づくり」(13.6%)、30～49歳は「祭り、雪、街並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進」(10.7%)が続いています。

50～69歳は「若者が住みやすい環境づくり」(10.6%)が最も多く、次いで「高齢者や障がいのある人のための福祉の充実」(9.3%)が続いています。

70歳以上は「健康づくりと地域医療の充実」(9.2%)が最も多くなっています。

《 重要度3位 》

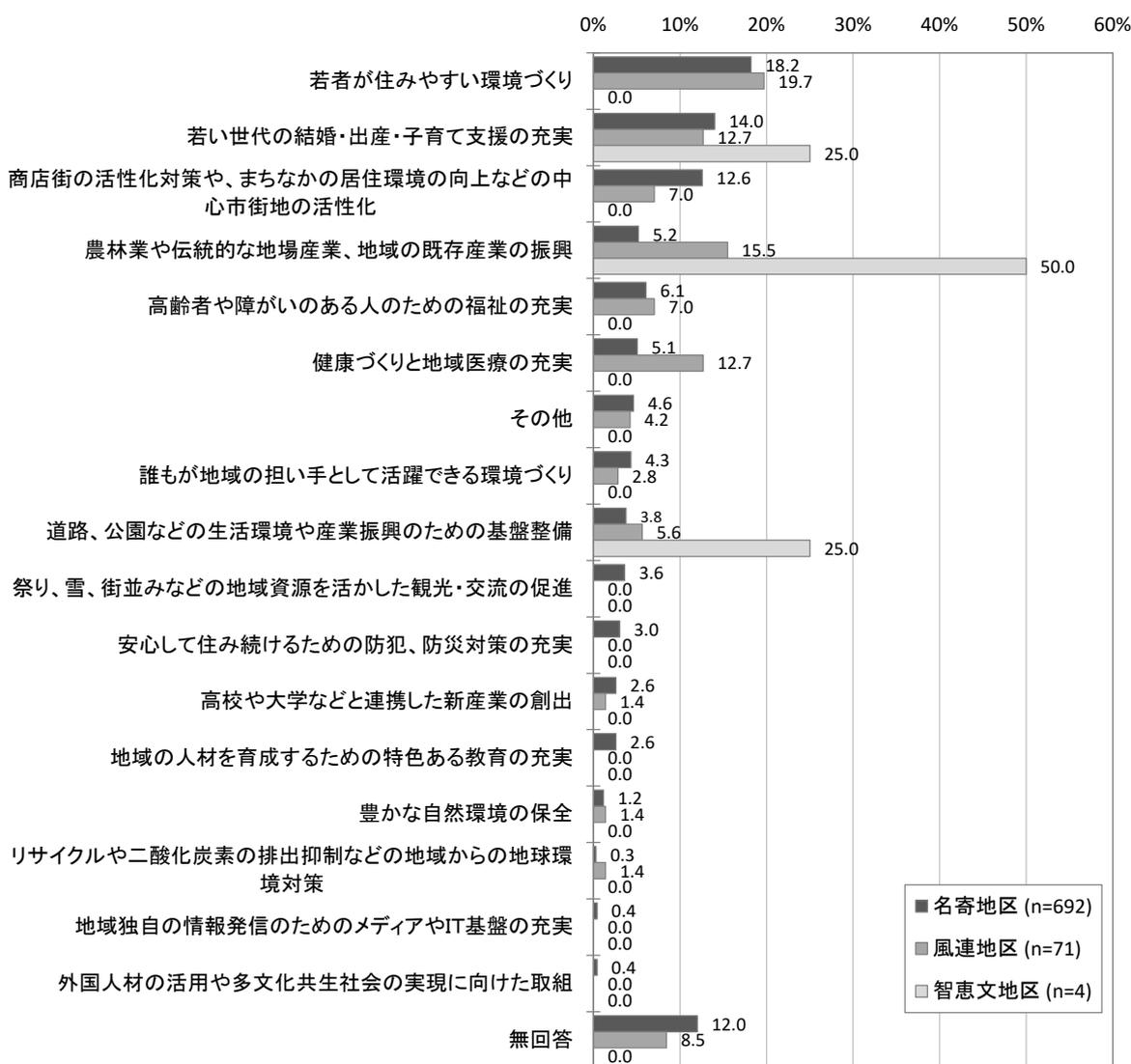


③ 居住地区別の集計結果

居住地区別に重要度1位をみると、名寄地区、風連地区ともに「若者が住みやすい環境づくり」が約20%で最も多くなっています。

次いで名寄地区は「若い世代の結婚・出産・子育て支援の充実」(14.0%)、「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(12.6%)が続いています。風連地区は「農林業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興」(15.5%)、「若い世代の結婚・出産・子育て支援の充実」「健康づくりと地域医療の充実」(ともに12.7%)が続いています。

◀ 重要度1 ▶

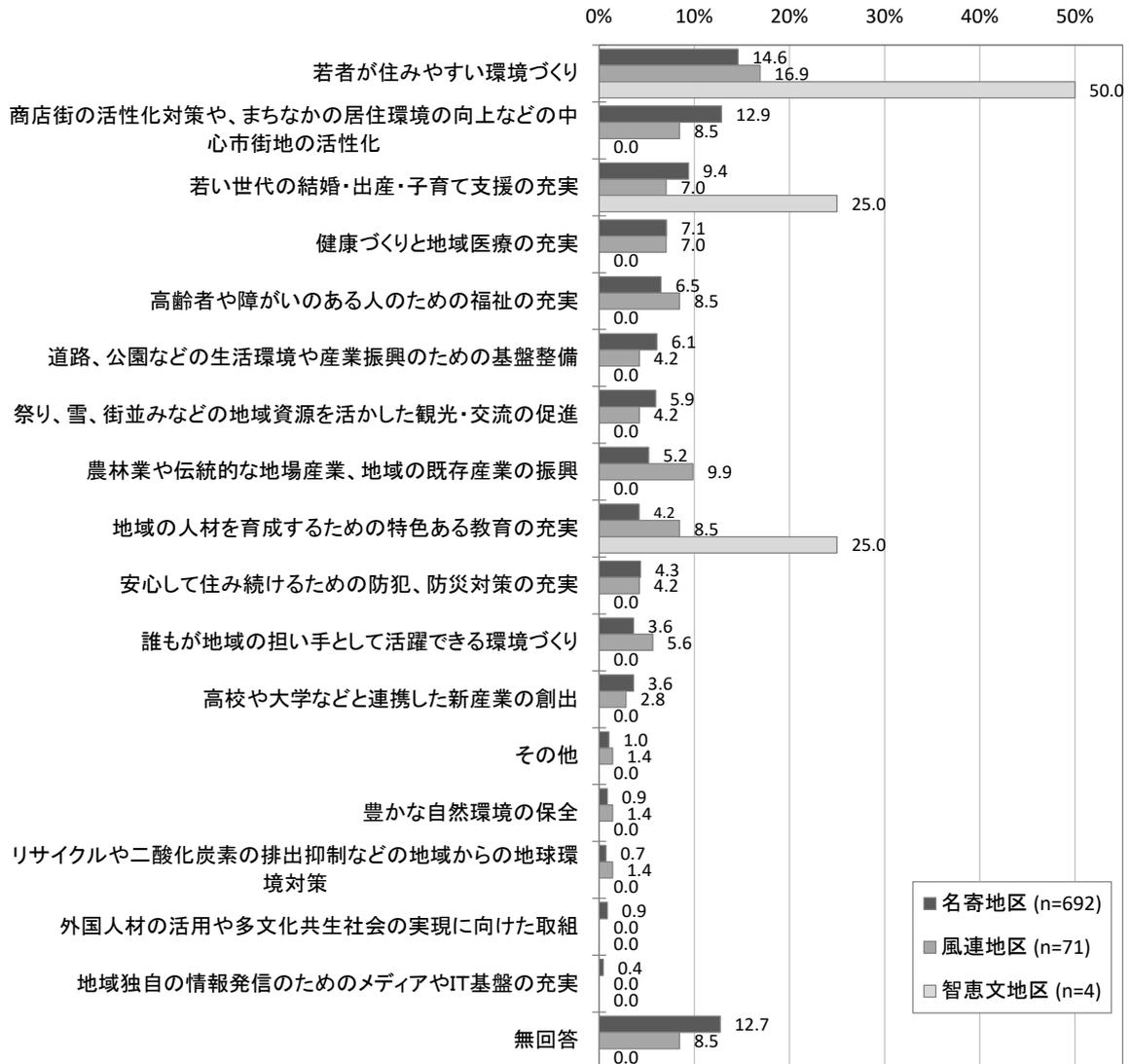


※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

居住地区別に重要度2位をみると、名寄地区、風連地区ともに「若者が住みやすい環境づくり」が最も多く、それぞれ14.6%、16.9%となっています。

次いで名寄地区は「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(12.9%)、風連地区は「農林業や伝統的な地場産業、地域の既存産業の振興」(9.9%)が続いています。

《 重要度2 》

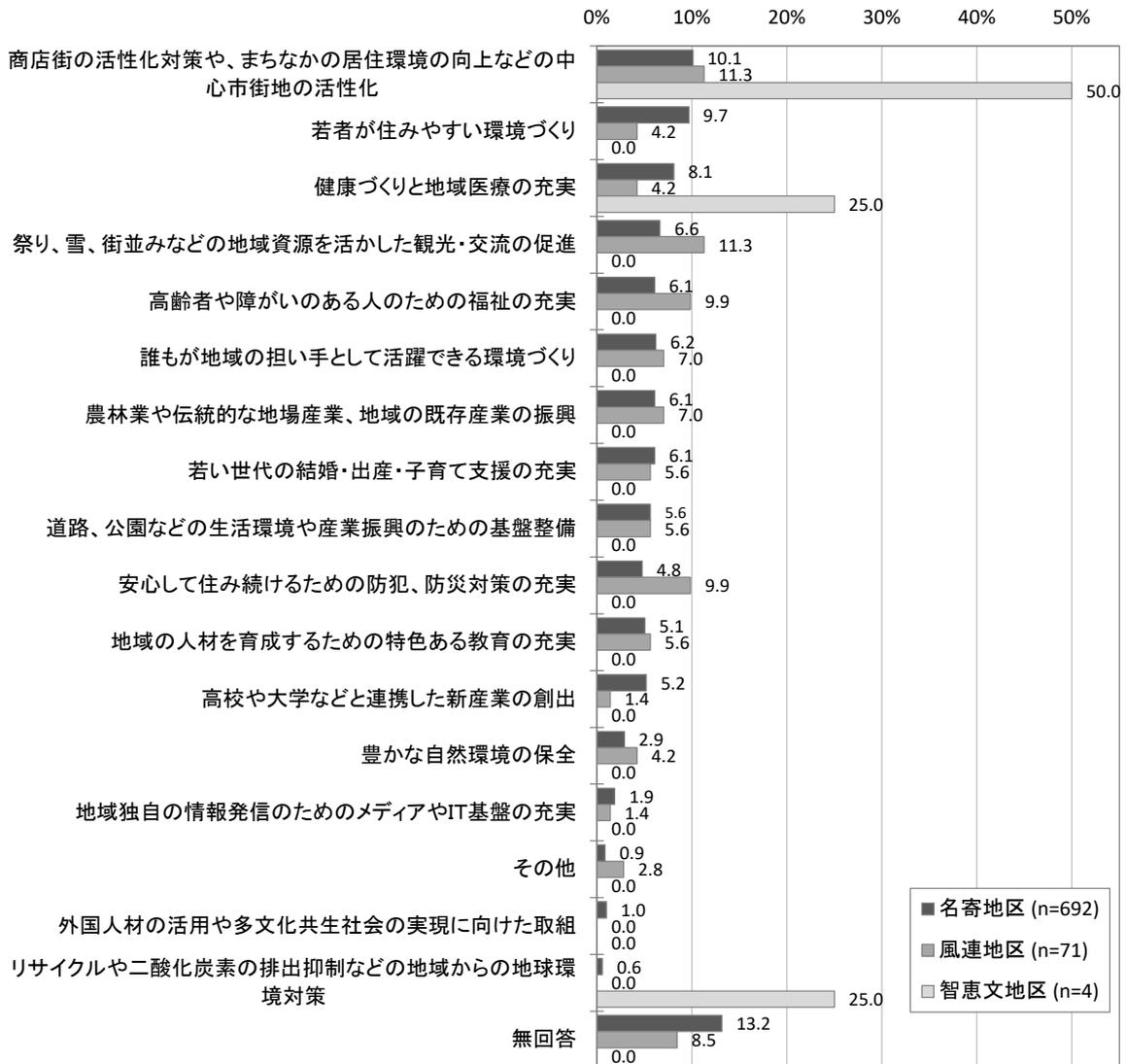


※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。

居住地区別に重要度3位をみると、名寄地区は「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」(10.1%)が最も多く、次いで「若者が住みやすい環境づくり」(9.7%)が続いています。

風連地区は「商店街の活性化対策や、まちなかの居住環境の向上などの中心市街地の活性化」「祭り、雪、街並みなどの地域資源を活かした観光・交流の促進」(ともに11.3%)が最も多くなっています。

《 重要度3 》



※智恵文地区は回答者数が少ない(n=4)ため、コメントの記載を省略しています。